

43

明治二十四年度

(禁販)

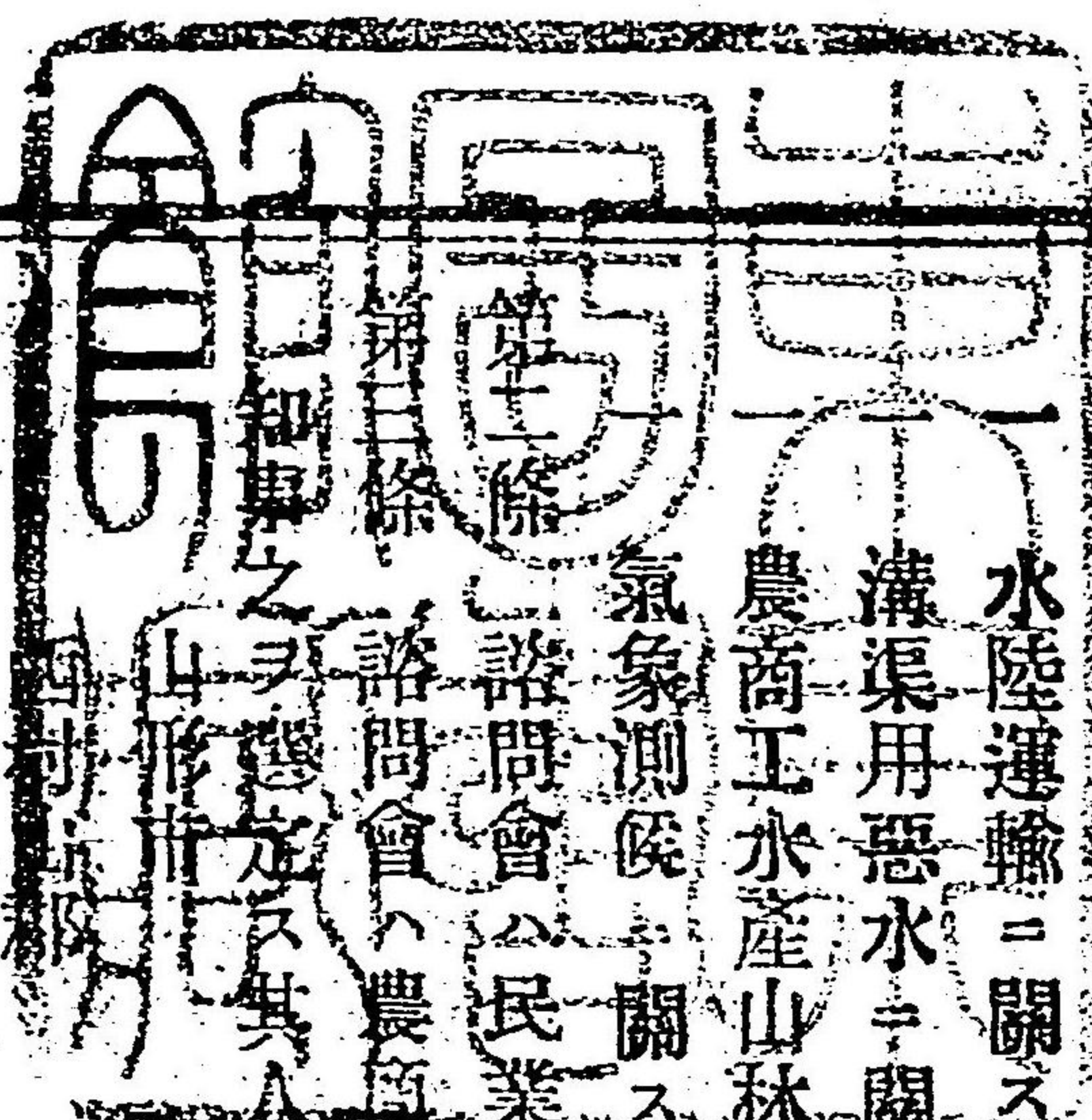
山形縣勸業諮問會日誌

山形縣內務部  
第二課

特 28

410





縣令第貳拾九號

勸業諮問會規則左ノ通相定ム

明治二十四年四月七日

山形縣知事 長谷部辰運

勸業諮問會規則

第一條 勸業諮問會ハ左ノ事項ヲ諮問ス

水陸運輸ニ關スル事

溝渠用惡水ニ關スル事

農商工水産山林及ヒ鑛業ニ關スル事

氣象測候ニ關スル事

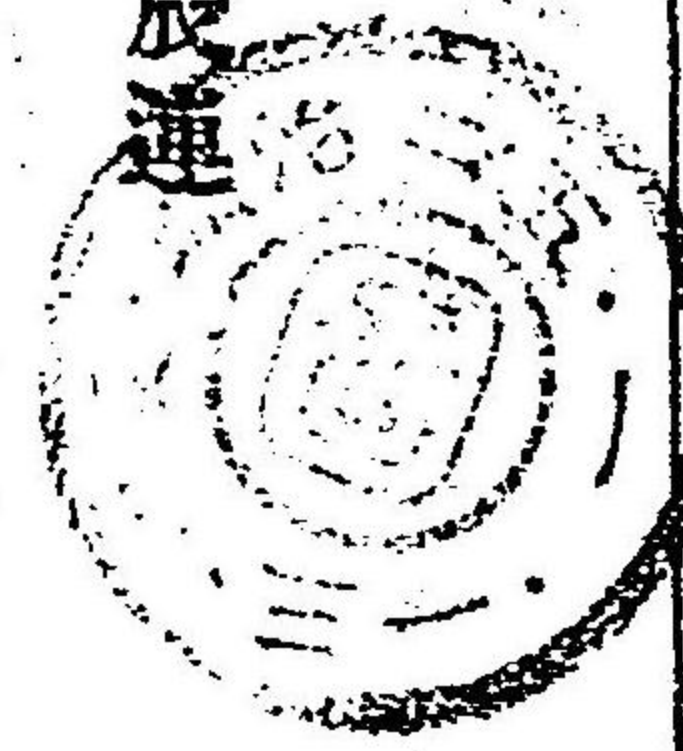
第二條 諮問會ハ民業上公益ノ件ニ付會員ノ一致ヲ以テ知事ニ其意見ヲ具申スルヲ得

第三條 諮問會ハ農商工事ニ名望アルモノ及該業ニ篤志ナル者ノ中ヨリ左ノ割合ヲ以テ

知事之ヲ選定ス其人員ハ三十五名トス

山形市	二名	東村山郡	三名	南村山郡	二名
西置賜郡	三名	北村山郡	三名	最上郡	三名
飽海郡	三名	東田川郡	三名	西田川郡	三名
米澤市	二名	東置賜郡	三名	南置賜郡	二名

第四條 諮問會員ノ任期ハ定限ナシ但シ臨時其一部又ハ全部ヲ改撰スルコトアルヘシ





第五條 農商務省官吏又ハ知事ノ特ニ許可シタルモノハ會場ニ列シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第六條 諮問會ノ會頭ハ知事又ハ知事ノ委任ヲ受ケタルモノ之ニ任ス

第七條 説明委員及書記ハ知事其屬官中ヨリ之ヲ命ス

第八條 諮問會ハ總テ談話ノ体ヲ用ヒ諸説ノ採擇ハ會頭ノ意見ニ依ル但會員ノ意見ヲ識別スル爲メ可否ヲ表セシムル事アルヘシ

第九條 諮問會ハ毎一年一度之ヲ開キ其開閉ハ知事ヨリ之ヲ命シ會期ハ十五日以内トス

但臨時諮問ヲ要スル事件アルトキハ知事ハ臨時諮問會ヲ開クコトアルヘシ其會期ハ七日以内トス

第十條 第二條ニ據リ意見ヲ具申セントスルトキハ知事ノ許可ヲ得テ會期內ニ於テ會議ヲ開クコトヲ得

#### 勸業諮問會々場規則

第一條 本會ハ午前第九時ニ始メ午後第四時ニ終フ但時宜ニヨリ會頭之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第二條 會員着席ノ順序ハ每會期抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 會員ノ出席過半数ニ充タサルモ會頭ノ意見ニ依リ開會スルコトアルヘシ

第四條 發言者ハ起立シテ陳述スヘシ二名以上同時ニ發言セントスルトキハ會頭ノ指定スル所ニ依ル

第五條 會員中互ニ雜話スルヲ許サス

第六條 會員疾病其他ノ事故ニ依リ欠席シ又ハ出席中退場セントスルトキハ會頭ニ届出ヘシ

第七條 會員到着歸郷ハ總テ會頭ニ届出ヘシ

第八條 傍聽ハ會頭之ヲ許否ス



山形縣勸業諮問會日誌

明治二十四年勸業諮問會ハ九月二十四日西田川郡議事堂ニ於テ開會シ同月三十日閉會ス

勸業諮問會員

- 一 番 南置賜郡窪田村中田 九月廿三日參着 加藏元右衛門
- 二 番 北村山郡戸澤村大楨 九月廿五日參着 高橋 勝兵衛
- 三 番 西置賜郡長井町 九月廿三日參着 加藤 治兵衛
- 四 番 東田川郡余目村余目 全 齋藤 良輔
- 五 番 南村山郡柏倉門傳村上柏倉 九月廿四日參着 齋藤理右衛門
- 六 番 米澤市山上通町 不參 廣居 忠良
- 七 番 西村山郡左澤村 全 菊地 倉吉
- 八 番 南村山郡東澤村小白川 九月廿三日參着 佐藤 勘次郎
- 九 番 最上部郡舟村松本 全 大泉 理助
- 十 番 西村山郡谷地村 全 柴田 大三郎
- 十一 番 東村山郡天童町 全 工藤 六兵衛
- 十二 番 飽海郡松嶺町 九月廿六日參着 林 信義
- 十三 番 東田川郡横山村横山 九月廿三日參着 本間多右衛門
- 十四 番 最上郡鮭川村中渡 全 荒木伊左衛門

- 十五 番 東置賜郡屋代村竹森 九月廿六日參着 長谷川 平内
- 十六 番 西田川郡大山町大山 九月廿三日參着 加藤 長三郎
- 十七 番 飽海郡酒田町傳馬町 九月廿三日參着 白崎 善吉
- 十八 番 西田川郡鶴岡町 九月廿三日參着 酒井 調良
- 十九 番 東村山ノ寺津村寺津 全 大木 勘十郎
- 二十 番 山形市香澄町 全 林 兎喜太郎
- 二十一 番 北村山郡長瀨村 全 菊地 庄兵衛
- 二十二 番 南置賜郡三澤村口田澤 全 伊藤 新助
- 二十三 番 西置賜郡豊田村萩生 全 八島 傳内
- 二十四 番 東置賜郡屋代村一本柳 全 金子孫左衛門
- 二十五 番 米澤市下矢來町九月廿三日參着全廿七日歸宅 色摩 慶次
- 二十六 番 最上郡新庄町 不參 武石 速水
- 二十七 番 北村山郡楯岡村 九月廿三日參着 細梅 寛六
- 二十八 番 山形市上町 全 工藤 吉六
- 二十九 番 東田川郡山添村上山添 全 五十嵐九兵衛
- 三十 番 西田川郡東郷村青山 全 小川 又次郎
- 三十一 番 西村山郡東五百川村 全 柴田七郎兵衛
- 三十二 番 飽海郡中平田村熊手島 全 堀 熊太郎



三十三番 東置賜郡大川村小松 不參 江口繁藏  
 三十四番 西置賜郡豊田村時庭 九月廿三日參着 大場成章  
 三十五番 東村山郡出羽村漆山 不參 那須儀八

職 員

會 頭	山形縣參事官	緒 方 道 平
說 明 員	全 屬	竹 尾 忠 男
全	全	木 野 源 六
全	技 手	田 中 邦 孚
書 記	全 備	武 田 源 藏
全	全	塚 田 正 一

問 題

勸業諮問會問題

第一 鮭鱒種場設置ノ件

說明 管内河川漁業ハ鮭鱒ノ二魚ヲ以テ最トシ一ヶ年ノ産額凡金一萬三千餘圓ニ上リ從來季節禁漁及種川等ノ取締法アリト雖ヒ社會ノ進歩ニ伴ヒ魚類ノ需用益多キヲ加ヘ漁者モ亦舊時ニ倍從シ隨テ捕漁ノ酷ナルヲ免カレス今ニシテ益蕃殖ノ方法ヲ設ケサレ

ハ愈漁獲ノ減耗ヲ來シ終ノニ魚種絶滅ヲ見ルニ至ランモ得テ計リ知ルヘカラス故ニ該二魚ノ浜遊スル河川沿岸漁業者ヲ種場ヲ設置セシメントス其可否及着手ノ順序如何種場設置要領

一 鮭鱒ノ放卵スル諸川沿岸ノ漁業者申合種場ヲ設置シ認可ヲ受クルコト  
 一 種場設置申合ハ河川沿岸ヲ以テ一區域トス  
 但數郡ヲ貫流スル河川ハ二區域已上トナスコトヲ得

第二 農事改良組合設置ノ件

說明 農事ノ狀況ヲ察スルニ田圃ノ耕耘種苗ノ選擇蟲病ノ驅除耕地ノ區劃其他排水灌漑水ノ方法等舊慣中ノ不利ナルモノヲ捨テ、有益ノ改進ヲ圖リ衆人共同ノ力ヲ聯合シテ村落ノ福利ヲ増スヘキノ點甚タ多シトス近來農家其必要ヲ感シ同志會合シテ協會ヲ設ケ組合ヲ爲スモノアリト雖ヒ其目的タル區々ニシテ一ナラス且其會員タルモノ各地ニ点在スルヲ以テ未タ隣保共同ノ利益ヲ收メ改進ノ目的ヲ達スルコト能ハサルナリ故ニ左ノ要領ニ依リ準則ヲ布キ組合ノ設置ヲ勸誘セント欲ス其可否及ヒ着手ノ順序如何農事改良組合設置要領

一 農事改良組合ハ市町村若クハ市町村内部落ヲ以テ一區域トス  
 一 組合ヲ設ケントスルトキハ發起者ヨリ區域内ノ同業者ニ通知シテ集會ヲ開キ同業者四分三以上ノ同意ヲ以テ規約ヲ設クルモノトス



- 一 組合區域内ニアル同業者ハ其組合ニ加入スヘキモノトス
  - 一 同業者トハ組合ニ於テ改良ヲ要スル農産物ヲ耕作スルモノヲ云フ
  - 一 組合ニ於テ其土地ノ狀況ニ應ジ緩急ヲ計リ實施スヘキ事項ハ大略左ノ如シ
    - (一) 病蟲害驅除豫防ノ事
    - (二) 耕作物ノ種類擇定ノ事
    - (三) 米穀乾燥法ノ事
    - (四) 耕地區畫改正ノ事
    - (五) 灌溉及排水ノ便ヲ計ル事
    - (六) 年中行事ヲ定ムル事
  - 一 組合ノ經費ハ組合員中ヨリ徵收スルモノトス
  - 一 組合ニテハ組合員名簿ヲ調製スルモノトス
  - 一 組合委員ハ組合員中ヨリ互撰スルモノトス
  - 一 組合ノ實施スル事項中組合區域外ニ關係ヲ有スルモノアルトキハ甲乙組合聯合會ヲ開キ其協議ニ依ルヘキモノトス
  - 一 組合規約及甲乙組合聯合會ノ規約ハ知事ノ認可ヲ受クルモノトス
- 第三 各郡ニ農事試驗地ヲ設置スルノ件

説明 農事ハ元ト土質地形氣候ニ應ジ其趣ヲ異ニスルモノナレハ其改良進歩ヲ圖ラントスルニハ可成甲乙各地ニ於テ之ヲ試驗シ以テ其成績ヲ實地ニ施行スルコトヲ期セサルヘカラス從來管内各郡ニ種苗試作人ヲ置キ各種ノ有益ナル種苗ヲ試作セシメント雖トモ今ヤ農學ノ進歩ニ伴ヒ實地ノ試驗ノ事項亦從テ増加シ稻作ノ一事ニ於テスラ猶種々ノ試驗ヲ要スルニ至レリ然テハ則試驗ノ規模ヲ擴張シ各郡内公衆ノ參觀ニ便ナル場所ニ郡立試驗地ヲ設ケシメ以テ郡内農事改良ノ資ニ供セントス其可否及設置ノ順序如何

- 一 試驗地ノ廣狹ハ郡ノ適宜ニ任スト雖トモ田畑各三反歩以上トス
- 一 郡内重要作物ノ改良ニ關シ耕耘培養墾種播殖除害等ニ就キ實地試驗ヲ爲ス
- 一 巡回教師ノ講授セル改良法ハ必ス之ヲ實施シ郡内ノ摸範ト爲ス
- 一 各郡試驗ノ成迹ハ内務部第二課ニ於テ取纏メ廣ク管内ニ報告スル

第四 米國シカゴ府世界博覽會出品物代者渡航補助ノ件

説明 來ル明治廿六年五月北米合衆國イリノイ州シカゴ府ニ於テ世界博覽會開設ノ學アルニ付我政府ハ本邦物産ノ興隆ヲ圖リ之ニ參同スルヲ約セラレタリ抑今回ノ世界博覽會ノ如キハ自國ノ物産ヲ興シ農工商ヲ勸誘スルノ目的ニ止マラス廣ク萬國ノ物産ヲ蒐集シ其優劣ヲ比較シ以テ五州ノ殖産ヲ謀リ世界ノ貿易ヲ盛ニセントスルニアリ其出品ノ盛大ニシテ來會者ノ夥多ナルヘキハ蓋シ豫想ノ外ナラン此時機ニ際シ本縣出品者中彼地ニ渡航シ其實況ヲ調査シ管内物産改良ノ資トナサハ裨益ノ至大ナルヘキ疑ヲ



容レサルナリ然レモ目下ノ状態ヲ以テ考フルニ旅費ノ全額ヲ自辨シテ渡航スルハ頗ル容易ノコトニアラサルヘシ故ニ會場ニ就キ彼我ノ實況ヲ調査セシメント爲メ渡航希望者中適任者ヲ撰ヒ出品惣代者トシ地方費ヲ以テ相當ノ補助ヲ加ヘ管内重要物産ノ出品ニ關シ該會場ニ就キ實況調査ヲナシメントス其可否如何

一 繭生系織物ニ付

一人

一 農作物ニ付

一人

一 補助金額金千三百四拾六圓

二人分

○九月廿四日午前九時三十五分開會

出席員廿六名

會員説明員書記一同着席スルヤ緒方參事官會場ノ中央ニ進ミ演説ス

本會々頭山形縣知事長谷部長連代理トシテ小官出席本日ヨリ勸業諮問會ヲ開設ス各員其意ヲ諒セラレンコトヲ偕テ本縣農工商ノ事業ヲ概見スルニ今ヤ進歩シツ、アルモノアリ又否ラサルモノアリ其進歩シツ、アルモノハ現在如何ナル度合ニアリテ將來如何ナル方針ヲ以テ其完備ヲ圖ルヘキカ又其進歩セサルモノニ關シテハ方法ヲ以テ發達開進ノ途ニ就カシムヘキカノ点ニ就キ實際ノ狀況ニヨリ各員充分ノ意見ヲ陳述セラレンコトヲ希望ス又本會ハ規則ニアル如ク談話ノ体ヲ用フルコトナレハ余リ窮屈ニナラサル様致シタシ併シナカラ多人數ノコナレハ發言ノ前後ナト混雜セヌ様或ハ會議ノ体ニ倣ヒ會頭ニ於テ整理致スヘキニヨリ此旨豫メ御承知アリタシ

二十九番五十嵐 只今會場規則ト諮問會規則トヲ配付セラレタルカ此規則ニ依テ開會セラル、ヤ

會頭 此規則ニ依ルナリ就テハ問題ノ順ニヨリ第一問題鮭鱒種場設置ノ件ヨリ初メ

○第一問 鮭鱒種場設置ノ件

九番(大泉) 説明員ニ質問ス(第一)本員ノ調ル處ニヨレハ鮭ノ價ハ普通一貫目卅五錢ニシテ北村山最上ノ二郡ニテ壹萬五千圓ノ産額アル見込ナリ然ルニ縣廳ノ調ニハ全縣ニテ壹萬三千圓トアリ何ニ依リテ取調セラレタルヤ郡別ニ調ヘアルナラハ承リタシ(第二)鮭ト鱒トハ産卵孵化ノ期節ニ相違アリ鱒ハ八月初メヨリ九月中旬迄ニ卵ヲ持チ九月後十月中旬迄ニ卵ヲ持チ十二月末ニ卵ヲ持チ其孵化スルハ翌年三四月頃ナリ然ルニ鱒ト鱒トハ産卵孵化ノ期節恰モ全一ナルカ如ク其禁漁期節ヲ全一ニシタルハ如何ナル譯ナルヤ(第三)種川ニハ如何ナル場所ヲ許可セララル、ヤ

說(木野) 九番ノ質問ニ答フ説明ニアル鮭鱒ノ産額壹萬三千圓トアルハ廿二年ノ統計調査ナリ尙十六年以降ノ統計ヲ郡別ニセシモノアレハ一言以テ參考ニ供セン十六年ニ鱒ノ産額西村山郡ハ九百七十二尾北村山郡ハ百五尾最上郡ハ千八百六十三尾東田川郡ハ千五百三十五尾西田川郡ハ二千六百二十尾鮑海郡ハ二百四十尾ナリ鮭ハ西村山郡ハ六百三十七尾北村山郡ハ百二十七尾最上郡ハ七千八百四十七尾東田川郡ハ七千六百七尾西田川郡ハ一萬九千五百八十一尾鮑海郡ハ七千三百三十七尾之レ十六年ノ捕獲高ナリ十七年ハ鱒ニテ西村山郡七百一十一尾北村山郡百五十尾最上郡二千四百十二尾東田川郡二千八百五十尾西田川郡二千六百二十尾鮑海郡三百六十六尾之レ鱒ノ捕獲高ナリ鮭ハ



西村山郡五百十三尾北村山郡千五百五尾最上郡千二百四十九尾東田川郡一萬七百尾西田川郡二萬八千七百二十九尾飽海郡八千五百四十八尾之レ十七年ノ捕獲高ナリ

九番(大泉) 一々記憶モ出來サレハ廿二年ノ調査ケニテ可ナリ  
說(木野) 廿二年ノ調査ハ尾數ニアラスレテ目方ニテ課ヘアレハ目方ニテ答フヘシ鮭ニテハ西村山郡四百五十六貫目北村山郡二千六十二貫目最上郡千三百八十五貫目東田川郡一萬三百五十五貫目西田川郡二萬四千四百四十三貫目飽海郡二萬二千四百五十一貫目ナリ鱒ニテハ西村山郡七百八十三貫目北村山郡三十貫目最上郡六百卅七貫目東田川郡四百四貫目西田川飽海ノ二郡ハ淡水鹹水ノ合計産額ヲ擧ケタレハ郡別ニハ明了ナラサルモ何レモ東田川郡ヨリハ多額ナリト推測ス

九番(大泉) 只今ノ報告ニヨレハ飽海郡ハ二万二千四百五十一貫目トアリ最上郡ハ千三百八十五貫目トアリ飽海郡ハ淡水鹹水ノ産額ヲ合シタルモノトナスモ最上郡ノ産額ハ少ナキニ過クル様考ヘラル、ニヨリ取調ノ確カナルモノアラハ開置キタシ

說(木野) 此調ハ郡役所ノ報告ニヨリテ調ヘタルナリ統計ノ不完全ナル處アルハ免カレサル處ナレハ諸君ノ確メタルコアラハ承リタシ又第二季節ノコニ付九番ヨリ質問アリタルカ鱒ノ上ルハ春土用ヨリニ秋ノ彼岸過キ十月ニ入り産卵ス尤モ川上ト川下トニテハ相違アレハ大体十月ナリ孵化ハ大体年内ナレハ遅キハ翌年ニ涉リ水ノ暖キ處ハ概シ早キモ水ノ冷ナル處ハ稍々遅シ又鮭モ十月頃ハ未ダ産卵セス村山地方ニ上リ産卵スルハ十一月下旬ヨリ翌年ニ至ルアリ又孵化スルモ水ノ暖キ處ハ早ク荷口川ノ如キ水ノ

暖キ故産卵最早ク孵化モ産卵后三十日位ナリト云フ之レ實驗家及ヒ學說上ノ說ナリ又鮭ノ孵化シテ下ルモノハ四五月頃ナリ故コ十月一日ヨリ翌年四月三十日迄チ相當ノ季節ト思考ス第三産卵ノ場所ニ至ツテハ瀬ノ荒キ處流ノ強キ處或ハ余リ水ノ深キ處ニ産卵セス小砂利アリテ瀬ノ急ナラサル場所チ好ム故ニ漁獲チ禁スル場所ハ能ク吟味セサルヘカラス依テ願出ツルモノアルハ見分ノ上許可スル積ナリ故コ今ヨリ一定シ難シ併シ從來ノ漁業者糊口ノ道ヲ失フ如キコニナラス故斟酌シテ許可スル積ナリ

九番(大泉) 鱒ノ孵化スル季節ノ冬ヨリ春ノ間ナリト左モアルヘシ然レハ十月頃鱒ヲ採ルコトハ實際甚ダ稀レナルニエ七月八月頃其漁獲チ禁スルハヨキモ問題ノ如キ禁漁期ハ其効ナキモノナルヘシ然ルニ尙ホ鮭鱒トモ矢張同一ノ季節トスル考ナルヤ

說(竹尾) 九番ニ答ヘシ此案ハ種場ノ區域内ニ於テ十月以後ヨリ翌年四月卅一日頃迄總テノ漁業ヲ禁止スルモノニシテ鱒ノ禁漁季節ハ矢張現行取締規則ニヨリ變更セサルナリ即チ河川漁業取締規則中ニアル鮭鱒禁漁季節ノ外ニ種場區域内ハ此七ヶ月間一切ノ漁業ヲ禁シ種場内ノ卵仔チ保護スル精神ナリ又大日本水産會報告ニヨレハ鮭鱒トモ産卵期ハ十月十一月十二月ノ三ヶ月ナリ尤モ此說チ確守スル譯ケニハアラサレハ大体之ヲ標準トシテ本案チ調成セシモノナリ

二十番(林) 本員ハ元來水産ノコトハ不案内ナレハ一休水産物ノ内ニハ生活スル場所ノ一定レタルモノアリト云フカ鮭鱒ハ寒地ノ産コト殊ニ鮭ハ北海道秋田等ニ多クシテ暖地ニ少ナシト聞ケリ燕ノ如キハ毎年最初ノ地ニ戻ルモノナルカ鮭鱒モ果シテ其ノ産地ニ戻



ルモノナルヤ若シ然ラハ最上川ニ孵卵シテ海ニ下ルモノハ又全川ニ戻ルニヨリ種場ヲ設ケテ益アルモ成長后ニ至リ他ノ場所ニ至リ再ヒ戻ルコトナキモノナルハ種場ヲ設クモ益ナキガ如シ學理上又ハ實際上ノ經驗如何

說(木野) 成程鮭ノ如キハ南海ニ少ナシ鮭ノ群カレル地方ハ北海道青森宮城岩手秋田新潟富山石川福井神奈川ノ諸縣ナリ神奈川縣ノ如キ從來ヨリ産シタルコトアラス明治八九年頃移植シタルナリ其成蹟今日ニ至リ始テ著ハレタリト云フ鮭ノ成質トシテ其生レタル場所ニ來リテ産卵スルコトハ歐洲ニテモ近年ニ至リ確メタル所トナレリ或人(ブラチナ)ノ金線ヲ鮭ノ尾ニ付ケテ放チ又尾端ヲ切リテ之ヲ放チタル次年ニ至リ再ヒ其魚ノ戻リ來リシヲ見タリト又本邦ニ於テモ其一例ヲ掲ケレハ越后三面川(鮭ノ有名ナル場所)ニテ寶歷年度ヨリ種場ヲ設ケタル所アリ其土地ハ漁者或時鮭ヲ爲シ鉛ヲ折ラレタルコトアリシカ其翌年漁獲セシ魚ヲ見ルニ其折ラレタル鉛ヲ魚ノ体中ヨリ得タリト云フ又先刻話シタル神奈川縣ニ相模川ニ農商務省ニテ種川ヲ設ケ六十七萬余ノ魚仔ヲ放チタリシカ八年目迄年々二百尾ヲ得タリ此ノ割合ニ少數ナルカ如キモ元來鮭ハ前年ニ産卵孵化セシモノ二千尾ノ内翌年戻ルモノ一尾ノ割合ニシテ雌一尾ノ卵ヲ七千トシテ翌年戻ルモノ二尾ナリト此ノ如ク成育ノ割合少ナキ所以ハ産卵后ヨリ孵化成長ニ至ルマテノ間種々ノ妨害ヲ受クルカ爲メニシテ神奈川縣相模川ノ如キハ歐洲ニ比シテハ頗ル好結果ヲ得タリト云フ

川四番(大場) 本員ハ出席遲クシテ或ハ諸君ノ質問ト重複スルコトアルヤモ斗リ難シト雖

先刻ノ調ハ何年度ノ調ナルヤ又淡水産ト鹹水産トノ別ナキヤ又何郡ヨリ何郡ニ亘ルヤ又舊來ニ比シテ確シタル表ニテモアルヤ

會頭 産額明細表ヲレハ後ニ一閱セラレダシ

說(木野) 産地ハ東村山西村山北村山最上東田川西田川飽海ノ七郡ニシテ西置賜郡ハ少々アルモ掲ケル程ノコトナシ從來ヨリノ漁業ノ盛衰比較ハ統計上ニ據リテ知ルヲ得ヘシ近年ニ至リ漁者ハ非常ニ増加シテ最近廿二年ノ調ニ依レハ四百四十三名廿三年ハ七百六十名ノ増加ナリ尙ホ以前ノ事ハ明カナラサルモ十二年ニハ十三名ニシテ二十年ハ四十名ナリ又近年ハ漁具漁法モ改良進歩シタルハ漁者ノ増加ト甚ニ勢ヒ魚數ノ不足ヲ告ケサルヲ得ス

十一番(工藤) 相模川ハ年々二百尾ヲ得タリト云フカ何年目ヨリ取リシカ本縣ニ於テモ曾テ人工繁殖ヲ謀リタルコトアリシカ其成蹟ハ如何

說(木野) 相模川ハ六年目ヨリ採リシト云フ又本縣人工孵卵ノコトハ今日ニ於テ確ムル能ハサルモ元來七千尾ニ二尾ノ割合ヲ爲ス位ノコトナレハ目ニ見ユル程ノ數量ヲ増セシトハ云ヒ難カルヘシ併シ漁獲高ヲ増加セシ点ニ於テハ成績アリシコト疑ヒナシ二十三番(堀) 海ニテ鮭ヲ採ルハ吹浦其他數ヶ所アリト聞ク然ラハ切角種川ヲ設置スルモ海ニテ漁獲セラル、ユニ最上川沿岸地方ニテハ義務トシテ種川ヲ設クルモ無益ノ費用ヲ掛ケルノミニ止マリ利益ナシト考フ

說(水野) 海ニテ鮭ヲ採ルコト付テハ制限ヲ設ケシコトアリ漁業禁止即チ日曜日禁漁ノ規



則アリシカ農商務省ノ意見ニ據ルニ海ノ如キ渺茫タル所ニテハ建網ヲ以テ漁獲スルヲ制限スル必要アラズ川ノ如キ場所コソ漁獲ノ制限緊要ナリト依テ海面ハ其制限ヲ解キタリ併シ種川ヲ設置シテ繁殖ヲ企ツレハ川ニ上ル鱈鱒ノ數モ増シ從テ其地方ニモ利益ヲ増スナリ

九番(大泉) 種川ヲ設置スルハ有益ト考フルカ説明員二番ノ述フルカ如クナレハ却テ不必要ナルヤノ感ヲ生セシム何トナレハ七千尾ノ内舊川ニ戻ルモノ僅カニ尾ノ割合ナラハ種川ヲ設クルモ本縣下ノ如キハ鱈鱒ノ種類絶滅スルニ至ラン又銛ノ折レテ鱈ノ腹内ヨリ得タリトノ話モ信難シ本員ノ考ニハ鱈ハ性來冷水ヲ好ムモノニテ大海ニ入ルモ二三百里ト遠ク游泳スルモノニアラサルヘシ故ニ期節ニ從テ其產地即チ冷水ニ戻ルモノ産ナルヘシ又鱈ノ頭ノ恰好モ村上川ニ産スルモノト最上川ニ産スルモノト差異アリ又卵后ノモノハ尾鱈ナキアリ併シ銛カ腹内ニアリテ生活シ居タリトハ妄説ナルヘシ又果シテ一尾ニ尾位ノ生育ニ止マルモノカ取調アリタシ

説(竹尾) 説明員二番ノ七千ニ付二尾ト云ヒシハ學理上ノ推測ヲ述ヘシモノニシテ繁殖ヲ謀ルノ急務ナル證左ニ過キス又銛ノ話モ學者ノ記セシ所ヲ述ヘシモノニテ信スルト信セサルトハ聞ク人ノ取捨ニ任サンノ必要スルニ鱈ハ淡水ト鹹水トニ生活スルモノニシテ淡水ニテ孵化生育シ鹹水ニ下リ復タ淡水ニ戻ルコト、其鹹水ニ下リシモノモ沖合遠ク游泳シ行キテ歸リ來ルイナキモノニアラサルトハ確タル實驗アリテ何人モ疑ハサル所ナルヘシ

三十二番(堀) 本員ハ漁者ニテナキモ居住村ニハ澤山漁者アリテ聞及ヒタル處ニ據レハ鮭ハ十月廿四日頃ヨリ翌年一月五日(小寒)頃迄ヲ産卵期トシ鱈ハ四月廿日頃ヨリ七月七日頃迄ヲ産卵期トシ故ニ問題ニ掲ケタル期節ハ鱈ニ適セサルコト思フ尤モ川々ヨリ其期節ニ差異アルヘケレハ是等ノ点ハ能ク斟酌セラレタシ

二十四番(金子) 本問題ハ漁者ノ増加ト漁具ノ改良トニ伴ヒ種川必要ヲ感スルニヨリ發セラレシモノナルヘシ然レニ其目的ハ川下ニ於テ多ク取レル様ニセントスルニアルカ最上川一般ニ漁獲ヲ増ス様ニスルニアルカ又松川糠ノ目川等ニテハ從來漁獲アリシト云フコト聞カサルカ是等ノ川ニ於テモ採レル様ニセントスルニアルカ又在來ノ種川ハ何處々々ナルヤ尙之ニ増加スル積リナルヤ或ハ又適當ノ場所ヲ本會ニ諮問セラル、モノナルカ

説(木野) 御承知ノ如ク本縣ハ沿海僅ニ二十里ニシテ飽海西田川ノ二郡ノミナレハ海魚ハ固ヨリ各郡内ニ浴シ供給スルコト能ハス庄内三郡ヲ除キ其他ハ大低仙臺ヨリ生魚ノ供給ヲ仰キ確タル統計ハナキモ其價ハ一ヶ年拾萬圓内外ナルヘシ加之ノミナラズ遠路ヨリ運搬スルニヨリ味モ惡クナリ甚ダシキハ腐敗ヲ來セルコトアリ故ニ經濟上ヨリ考フルモ衛生上ヨリ考フルモ鱈鱒ノ繁殖ヲ謀リ一般ニ此二漁ノ新鮮ナルモノ、供給ヲ豊ニシ需用者漁業者共ニ利益ヲ得セシメントスルニアリ又在來ノ種川ハ北村山郡ノ荷口川東村山郡ノ今町川高木川西村山郡ノ朝日川ナリ本案ハ廣ク種場ヲ設ケシメントスルニアリ又諸君ニ於テ適當ト認メラル、場所アラハ固ヨリ陳述セラレシコトヲ望ム



十三番(本間) 明治十六七年頃ナルハ種川取締ニハ相當ノ費用ヲ要スルニヨリ地方稅ヨリ支出セシメテ又酒田地方ハ漁者多クハ漁獲禁止日ヲ定メ置カサレハ鮭鱒ノ上ラサルコトアリテ日曜日禁漁ノ制ヲ設ケラレタリ本案モ是等ノ振合ニ倣フモノカ

說(竹尾) 河川漁業取締規則ヲ定メタルトキ種川ヲ設ケ又地方稅ヨリ費用ヲ出シ種川取締人ヲ置キシハ十七年ヲ其後二ヶ年經テ取締人ノ費用ハ否決シタレハ種川所在地ニハ名譽職ノ取締人アリテ夫々取締ヲ爲セリ又最上川筋日曜禁漁ハ現行ノ規則ニヨリ實行セリ尤モ本案ハ現行規則ノ外ニ於テ種場ヲ設ケシメントスルニアレハ實施上ノ結果ニヨリ現行規則ヲ變更スヘキ必要生スルトキハ改正ヲ加フルヤモ測リ難キ

二十四番(金子) 繁殖方ハ種川ニアリトスルモ其場所ハ適當ノ位置ヲ撰フコト必要ナルヘシ種川ハ澤山設ケレハ夫レニテ宜シト云フ譯ニハアラサルヘシ北村山郡ノ荷川西村山郡ノ朝日川東村山郡ノ今町川等ハ適當ノ場所ナリセ又種川設置ノ目的ヲ達シタリトスルモ川下ニテ悉ク捕獲スルキハ種川ヲ設ケテ繁殖ヲ圖リ需用ト供給ノ釣り合ヲ取ルト云フモ管内各地ニ浴ク鮮魚ヲ得ルコト能ハサルヘシ東西村山郡ニ種川ヲ設ケテ繁殖ヲ謀リ其邊ニテ漁獲アルモ置賜地方マテ魚カ上ラサルキハ置賜地方ハ鮮魚ヲ食スル能ハス故ニ川上ニ上セルノ手段アリトスレハ可ナルモ否ラサレハ浴ク裨益ヲ被フリ難シ先刻九番ヨリ取締檢査種場撰定調査ノ方法云々ニ付キ質問セラレシヤウサリシカ説明員ノ答ナカリシト思フ如何

九番(大泉) 別ニ方案ヲ實地ニ就キ選定調査スルノ外ナシトノ答ナカリキ

十一番(工藤) 本案ノ種場設置要領ニ據レハ沿岸一區域云々トアリテ此申合ハ縣下一般ニ施行セシムル様ニモ見ユ又種場ノ性質ヨリ考フレハ必要ノ河川ニノミ施行セシムル様ニモ見ユ又此問題ハ本會ニテ可決スルキハ縣令ヲ以テ實施セラレ積リナルカ若シ

之ヲ實行スル手段定ラサレハ本會ニテ可決スルモ畫餅ニ屬ス可シ左レハトテ地方費ヲ以テ之ヲ設ケル等ハ行ハルヘキコトニアラス故ニ實施上至難ノ事ナリト考テ立案者ノ見込如何實施ノ手續ヲ委ク承リタシ

說(竹尾) 御質問ノ点ハ即チ問題説明中ニアル實施着手ノ順序ニ屬スルモノニシテ諸君ノ充分ナル考案ト討議トヲ要スル所ナラカ先ツ立案者ノ考ニテハ此要領ニ掲ケタル主旨ヲ以テ準則ヲ定メテ發布シ郡長ハ固ヨリ町村長ニ於テモ充分當業者ヲ誘導シ利害得失ノアル所ヲ明ニシテ申合規約ヲ結ハシメ其申合規約ノ成リテ種場ノ定マリシモノハ河川漁業取締規則ニ據リテ取締ノ立ツヤウ保護ヲ加ウル積リナリ種場ハ假令ハ大字何ヨリ何迄河筋若干間ト定ムルカ如キハ其地當業者ノ申合ニ任セ縣廳ニ於テハ其場所ノ適否ヲ調査シテ認可スル積リナリ

三十番(小川) 本員ハ諮問會ニハ今回始メテ列席スルコトナルカ普通ノ會議ニテハ一次會ニ次會ニ次會ト云フ如ク順序ニ據リ議スレハ本會ハ如何ナルコトニセラル、ヤ又本日ハ不參ノ議員モアレハ之ニテ休會セラレシコトヲ建議ス

會頭(緒方) 會頭モ初メテノコトナルカ先例ヲ見ルニ一次會二次會杯ト云フコトナシ尤モ時宜ニ據リ可否ノ表決ヲナスコトアル可シ



廿四番(金子) 三十番ノ建議ヲ可トス種川設置ニ付孵卵期節等ニ付異説モアレハ充分取調テ考案ヲ定メンカ爲メ今日ハ休會セラレタシ

十三番(本間) 種場設置ノ件ハ充分質問ヲナセシ後可否ノ意見ヲ定ムル考ナリ置賜地方ノ爲メ進テ繁殖ヲ圖ラント思フコニヨリ午後ヨリ休會シテ取調タシ

十一番(工藤) 説明員ニ注文ス一休本會即チ勸業諮問會ノ興廢ニハ種々ノ原因アルコナルカ第一本會ニ諮問セラル、規則案ノ諮問ニシテ本會ノ價值ハ規則上ノ適否ヲ討議シ管内實業上ノ程度ニ應セシムルニアリ然レニ規則ヲノミ議スルモノトナレハ實業上ノ諮問チ欠クニ至ル傾キアリ故ニ本會會員ハ縣會議員及ヒ實業家中ヨリ撰任セラレ一方ニ偏セサルチ主眼トセリ然ルコ今回ノ問題ハ準則トナシテ發布セラレヘキモノアルコモ拘ハラス準則案ヲ付セラレサルハ不充分ノ問題ナリ此ノ如キ類ハ準則案チモ取調ヘテ添ヒラレタシ規則ニ關スル諮問ト實業ニ關スル諮問ト二者併立スルヤウ希望ス

十番(柴田) 種場ハ北村山郡荷口川東村山郡今町川等ノ如キ場所ハ魚ノ上ルコト少クシテ其効チシト思フ説明員ハ何川ニ設クル積リナルヤ

説(木野) 最上川ニ落合フ川々コハ鮭ノ浜ルコト多キ場別少カラス故ニ可成各所ニ設ケシメタキ考ナリ

會頭(緒方) 三十番ノ建議モアリ未着ノ會員モアレハ本日ハ之ニテ休會スヘシ

時ニ正午十二時休會ス

○九月廿五日午前九時四十分開會

出席會員廿八名

會頭(緒方) 昨日ノ續キヲ會話スルコト致サン

四番(齋藤) 昨日某會員ノ説モアリシカ本會ハ通常ノ會議トハ違ヒ二次會モ二次會モナシ故ニ第一問ノ質問ハ是迄トシ考案ノ時間チ與ヘ第二問ノ質問ニ移ラレンコトヲ希望ス

會頭(緒方) 四番ノ建議モアレハ一應第一問ヨリ最終問題迄ノ質問會ヲ了リ然ル后各問題ニ付一々得失ヲ論スルコトセン

廿四番(金子) 諮問ノ順序ハ四番ト同意ナリ併シ第一問題ニ付未ダ質問スヘキコトアリ

十八番(酒井) 本員モ廿四番ト同感ナリ

會頭(緒方) 然ラハ廿四番ノ説ニ從ヒ次ニ四番ノ説ノ通り次ノ問題ニ移ルコトセン

廿九番(五十嵐) 酒田ノ水戸口ハ先年五百間禁漁ノ制限ナリシカ明治十九年頃之チ百五十間ニ減シタリ是ハ縣廳ニテ差支ニテモアリタルコトカ又ハ他ニ理由アルコトカ承リタシ

説(木野) 當時ニ在テハ禁漁場チ廣クスレハ從テ夫レ丈ケノ効アリトシテ五百間トナセシモ其後他ニ事情アリテ川口ヲノミ嚴重ニシタレハトテ川上ニ取締ナケレハ其効ナク又未流ト川上ト權衡ヲ得サルコトアル等ニヨリ百五十間ニ減セシナラン併シ委シキコトハ書類チ持參セサルコトニ述ヘ難シ

廿四番(金子) 廿九番ハ五百間チ百五十間ニ減シタルハ十九年ナリト云ヒシモ本員ノ調ヘタル處ニテハ廿一年ノコトナリ此五百間ノ場所ヲ百五十間ニ減シタルニ就テハ百五十間ノ場所ニハニ鮭カ群ガルトスレハ宜シキモ否ラサレハ鮭ノ漁獲場チ増シタルコトハ



禁止ノ効力ヲ減シタルモノナリ又日曜日禁漁ノコトモ繁殖ヲ圖ル爲ナランカナレモ鮮ハ一日一里位ヨリ外ハ上ラサルトノコトナリ海ヨリ段々浜リ清川古口ノ邊ニ至ルニハ數日ヲ費スヘク又其間ニハ鮮ノタマリ居ル瀬モアル由ナレハ日曜ニ禁止シタレハトテ次日其タマリ居ル場所ニテ採ルニヨリ更ニ其効ナシ併シ一日禁スレハ一日丈ケノ効アリト云フ譯カ本員モ咄嗟ノ考ナレハ或ハ誤リアルヤモ知レサレモ一日位禁シタレハトテ別ニ効アリトモ思ハレス本員抔幼少ノ頃ハ糠ノ目邊ニテ鱒等ノ取レシコトアリシカ近來ハ少シモ是等ノコトナシ此レノ口ニテ漁獲スルコトカ盛ニナリシ爲ナラン

廿九番(五十嵐) 網場ハ幾ヶ所アリテ其名稱ハ何々ナリヤ分リ居ラハ承リダシ

說(木野) 網場ノ書類ハ當地ニ持參セス調査ノ上ナラテハ答ヘ難シ

四番(齋藤) 廿四番廿九番ノ參考マテニ本員ノ知ル處チ一言セン網場ハ建網流シ網大網居線網等ヲ用フル場所ナラン其箇所ハ年々郡役所ニ願出ツルコトナレハ本年モ亦願出シヤ否ヤハ熟知セサレモ昨年迄ノ處ハ下瀬ニテ赤川ト藤島川最上川ニ出合フ處ナリ此邊ハ水流常ニ漫々トシテ魚類ノ上ル處ナリ其僅カ下ニアル處ハ即チ下瀬ナリ鵜渡川原ノ專源寺浦チ中瀬ト云ヒ鶴岡ヨリ酒田ニ通スル處ヲ廣瀬ト云フ此場處ハ網チ引キ得サル所ニシテ元ハ大網二ツ掛チ用ヒシ處ナリ飽海郡大宮ヨリ東田川郡新堀ニ至ルヲ落瀬ト云フ新堀ニ架橋セントスル處即チ是レナリ先ニハ新堀ヨリ百五十間程上ハ引セシカ今ハ藤山ニ引ク是レ舊酒井家ノ許可セシ場所ナリ五ヶ所トハ榎木砂越飛鳥竹田松嶺ノ間之レナリ税金ノ出方ハ下瀬ヨリ中瀬ハ元多クシテ三拾圓ナリシカ今ハ下瀬ハ多ク取レ

ル爲ニ二場所五拾圓ナリ併シ榎木松嶺等拾圓ナリ序ニ尙參考ノ爲メ廿四番ノ話ニ付テ答辨セン禁漁場五百間ヲ百五十間ニセシハ漁業者ノ出願ニ出テタルモノニテ組合ハ鵜渡川原ヨリ竹田迄一ト組合ニテ事務所ハ飛鳥ニアリ然カセサレハ鵜渡川原ト宮ノ浦ニハ漁場ノナクナルコトナリテ鵜渡川原ハ土族ノ多ク居ル處ニテ漁業ニテ生計ヲ營ミ宮ノ浦ハ漁業者計ニテ漁業ニテ矢張生計ヲ營ミ居ル故困難スルナリ又日曜禁止ノコト付テハ大網流シ網等ヲ引ク人ハ大ニ嫌忌スル處ナリ何トナレハ其日ハ三十人余ノ人チ空シク休マセサルヲ得スナレモ水上警察ノ取締嚴重ナレハ涎ヲ流シテ見テ居ナケレハナラス實業家ヨリ聞クニ一日位ノ禁止ハ左程効ナシト云フ又榎木ハ鮮鱒ノ下休場清川ハ上休場ノ様ニ言ハレタレモ此魚ハ水ノ深キ處ニアラサレハ休マス故ニ實際ノ休場ハ落ノ目ナリ此處ハ深サハ七八尋モアリテ魚類ニハ適當ノ休場ニシテ一日ノ禁止ハ効ナシト云フモ矢張一日禁スレハ全ク一日丈ケノ効ハ實際ニアルナリ

廿九番(五十嵐) 只今四番ノ說ニテ譯カリタルモ下瀬ノ下ニ尙三ヶ所ノ網場アリト云フカ如何

四番(齋藤) 下瀬ノ下ニハナシ又實際引據チキナリ何トナレハ下瀬ノ下ハ舟場町ナリ舊藩ノ頃モ三ヶ所ニテ其後モ三ヶ所ナリ榎木竹田清川是レナリ

十三番(本間) 網場ノコト付テ縣會ニモ說アリシカ一體網場ハ場所ニ限リアルコトナリ中瀬ノ下海先ナル酒田ノ新町ハ一町戸數僅カ百戸ニシテ此新町先キニ網ヲ下ス場所アリ又宮ノ浦ハ十町計リニシテ漁業ヲ禁止サレテハ困難ナリ故ニ禁漁場ヲ百五十間ニセテ



レシナリ當時本員ハ最上川取締ヲ命セラレ居リタレハ此邊ノコニ付テハ頗ル困難セリ  
廿四番ノ説トハ違フモ赤川ノ例ヲ引カンニ禁止場ヲ百五十間トナセシ後モ赤川ハ田澤  
ノ邊迄ハ鮭魚ハ上リ來ルナリ

廿九番(五十嵐) 質問盡キタレハ第二問ニ移リタリ

十八番 酒井 只今迄諸君ノ質問ハ多ク最上川ニ付テノコナリ西田川郡ハ尤モ漁業ニ關  
係アレハ參考ノ爲メ鼠ケ關川温海川三瀬川岩川ノ種場ニ付テ充分ニ行ハレ居ルコト陳  
ン各員何レモ其管理六ヶ敷下言フ感ヲ持タル、ヤニ見受ケラル、様ナレモ實際ニハ能  
ク行ハレ居ルナリ倍是等ノ川々ニハ適當ノ所ニ仕切ヲ設ケ海ヨリ上リ來ル鮭ヲシテ仕  
切々々ニテ喰留メ種場ニ産卵セシメ日ヲ定メテ浚ヒト稱シ産卵後ノ鮭ヲ漁獲シ之ヲ種  
場ノ費用ニ充テ尙本郡漁業組合ヨリモ建網一箇ニ付若干金ヲ徴収シ其内ヨリ種場費用  
ノ補助金ヲ出セリ此ノ如クニシテ種川ヲ設ケシヨリ以來川々沿岸ニテハ魚仔ノ多ク游  
泳スルヲ見ルニ至リ當初種川設置ヲ不可トセシモノモ其實効アルヲ覺リタリ故ニ最上  
川ニ付テハ別ニ差支ノ有無ハ熟知セサルモ種場設置ノ方法ヲ講究セラレンコトハ本員ノ  
希望スル處ナリ尙鮭鱒捕獲高ノ明細表ヲ參考迄ニ陳シニ三瀬川ハ廿二年ニハ五十尾廿  
三年ハ四十尾五十尾ハ廿二年ハ四十五尾廿三年ハ百四十尾温海川ハ廿二年ハ百三十尾  
廿三年ハ百六十尾岩川ハ廿二年ハ百五十尾廿三年ハ八百尾鼠ケ關川ハ廿二年ハ百五十  
尾廿三年ハ百九十尾ナリ

會頭 緒方 三十番ヨリ本會員ニ勸農會ノ摸範田及馬耕ヲ明日一見セラレタシトノ請求

アリ俄ニ此事ヲ相談セラレン爲メ午前ノ會ハ是迄ト致ス可シ  
午前十一時十分休憩ス

午後一時三十分開會

會頭(緒方) 是ヨリ午後ノ會ヲ開ク第二問題ニ付質問セラレタリ

○第二問 農事改良組合設置ノ件

廿番(林) 本員農業ニ付テハ不熟知ナルカ此頃新聞ヲ見ルニ此第二問題ハ後廻レニセラ  
レタシト思フアリ各員モ御承知ノコトナランカ我政府ニテハ農會條例ヲ設ケントスル  
ハ議アリト其主意ハ元來日本ハ農ヲ以テ國ヲ維持スルコトハ普ク許ス處ナルユハ農商務省  
ニ於テ日本全國五百五十二郡ニ農會ヲ起サシメ之ニ拾五萬圓即チ一郡會ニ三百圓ツ、  
ヲ補助シ之ニ依テ農事改良ヲ謀リ從來ヨリ其收穫二割ヲ増サハ五百萬石ノ増収ニシテ  
其利重大ナリ此條例案ハ既ニ農商務省ニ於テ調査ヲ了リ法制局ヘ廻リタリト果シテ政  
府ニ於テ之ヲ執行スルトキハ本問題ノ如キ規約的ヲ以テ苦ンテ設クルノ必要ナカルヘ  
農會條例ノ出ルヤ否ハ保シ難ケレモ時事新報ハ慥カナル新聞ナレハ其案ノ法制局ヘ  
廻ハサレタルコトハ信スヘキコトナラント思フ

會頭 廿番ノ説ハ是ヨリ先キ國會ノ終ルヲ待ツト云フ意ナルヤ

廿番(林) 然リ尙各員ノ説ヲ聞テ意見ヲ定メン



廿四番(金子) 只今廿番ノ説アリシカ本員モ聞キ事アリ然レ此事ハ將來ニ屬シ未タ確  
カナル事ニテモナシ第二問題ハ目下ノ事ナレハ矢張討議スル方可ナラン

十一番(工藤) 問題事項中ニ耕地區畫改正ノ事トアルハ一俵場ノ田地チ六俵場ニスルト  
チ云フ如ク改正スル積リナルヤ漠然トシテ譯ラス若クハ一町村ニ第一區第二區ト耕地  
區畫ヲ改正スル積リカ

説(田中) 第一區第二區杯ト順チ追フテナスニアラス現在ノ耕地ニシテ妨ケナキ處チ改  
ムル積リ則チ田ナレハ畦畔チ取除ケルトカ云フ如シ

三十番(小川) 只今十一番ノ質問ニ對スル答辨ニテハ未タ解シ難キ所アリ區畫改正ハ仮  
ハ甲乙ノ地入り交リ居ル所ハ之チ交換改正セシムルノ意ナランカ如何

説(田中) 矢張其事モ含蓄ス則チ甲乙相談シテ分合スル等ノ事ナリ  
四番(齋藤) 段々質問ニナリシカ大概農家ハ心得居ル條項ナリ是等ハ必至ノ質問チ費ス  
程ノモノニアラス然シ本問題ニ就テ何處ノ邊マテ立入ラル、モノナルヤ一ト通り説明  
アリダシ

説(竹尾) 四番ノ請求モアリシカ永々ト辨スルモ時間チ費ヤス故大畧ノ所チ述ン問題ノ  
一項ヨリ六項迄ハ元此問題チ調査スルキ主任ニ於テ現行農業上必要ト認メタルモノチ  
列記セシナリ假令ハ病虫害驅除豫防法ノ如キ蟻チ採ルニ當リ甲ノ家ニテ火チ焚キ驅除  
セントスルニ近隣ノ者カ捨置クハ蛾カ之ニ集リ來ルノ憂アリ故ニ甲乙丙相約シテ同  
時ニ焚火チ以テ驅除スルコト等ニナスノ意ナリ

又米ノ種類モ區々植ルトズレハ賣品トシテ持出スニ當リ一定ノ品ナラサルカ故ニ隨テ  
其價モ割合ニ低クカラサルチ得ス故ニ可成其地ニ適スル種類チ撰定シ一定ナラシムル  
様ニシ米穀乾燥法ノ如キモ然リ乾燥法ノ如何ニ依テハ其品チ害フコアリ乾燥ノ行届キ  
タルモノナラハ其必要ナキモ然ラサルキハ共同シテ之チ改良セサルヘカラス第四項第  
五項矢張是等ノ考ヨリ立案セシモノニ何處ノ邊迄立入ルカト云フニ管内同一ニハ行  
ヒ難ギコナレハ其地方ノ狀況ニ應シテ適當ノ方法チ定メ規約ニ規定セシムルノ外ナシ  
又第六項年中行事ノ事ハ假令ハ耕作ハ何日ヨリ始メ收穫ハ何日ヨリ着手スルト言フカ  
如ク年中ノ仕事ニ付大体ノ順序チ定メ約束スルコトナリ凡テ此等ノ各要領ハ規約ニ定メ  
テ實行シ縣廳ニ於テモ其効ノ如何ニ注意シ組合ノ効能チ現シ他ノ摸範トナスニ足ル物  
ハ之チ稱揚シ他ヲ獎勵スルヤウ勉ム可シ又本問題ニ揚ケタル要領ハ即チ準則ノ骨子ナ  
レハ條文ニ編成セサル準則案ト見做シテ討議アリタシ

卅二番(堀) 米作改良法ハ乾燥充分ナラサレハ必ス腐敗チ生スルモノアリ茲ニ米穀トノ  
ミアルカ他ノ穀類ニハ必要ナキヤ又組合ニテ他ノ穀類ニ預ラサル積ナルヤ

説(田中) 茲ニ揚ケタルハ縣下一般チ目的トシ置キダレハ假令ハ麥ナキ地方ハ麥ノ乾燥  
ハ揚ケスシテ他ノ必要ナル作物ニ付規約ニ揚ケル等適宜ニテ差支ナシ

十八番(酒井) 第二ノ案ニ付能ク文意チ味フニ米麥等凡テ縣下在來ノ普通農作物ニ組合  
チ設置スル事ナリト思フカ蚕糸業モ矢張農業ノ一部ナリト思フ然レニ縣下一般トスレ  
ハ已レ本郡ニモ蚕糸業組合アリ之ニ依テ見ルト蚕糸業組合ハ關係ナキヨウナルカ如何



ナル積リナルヤ

說(田中) 本案中同業者結合シテ協同云々トハ養産物ヲ耕作スルモノニシテ蚕糸業ニハ關係ナシ

十一番(工藤) 米穀乾燥法トハ至極良キナランカ其良法ヲ示サ、レハ無益ナリト思フ九洲ニテハ何々ノ方法ヲ用ヒ秋田ニテハ如何ナル方法ヲ用ヒ又何レノ地方ニテハ如何ニシテ如何ナル点迄品位ヲ高メシヤ等説明員ニ於テハ各縣ノ改良ヲ圖リ進歩セシ所ヲ夫ヲ取調ラレシテ其方法ノ完全ナルモノニシテ組合ニ行ハシムヘシト思量セラレ、方法ヲ承リタシ

說(田中) 茲ニ掲ケシモノハ事項ノ題目ニシテ其方法ハ地方ノ情況ニ據リテ斟酌スル外ナカル可シ農業ハ土地ノ異ナルニ從テ其趣チ同フセサルニ依リ何レノ地方ニモ同一ノ事ヲ押シ及ホサントスルハ能ハサルナリ甲ニ適スル方法モ乙ニハ適セザルヨリ故ニ本案ニ於テハ乾燥法ハ此方法ニ據ルヘシト云フカ如キ一定ノ法則ヲ設ケサルナリ  
十番(柴田) 此問題ハ實ニ本會ヲ開シノ骨子ナリト思フカ其趣旨ハ説明ニ依テ略ホ了解セシモ其組立方ニ付解セサル所アリ組合委員ハ組合員中ヨリ何名ヲ互撰スルカ又問題中組合ハ市町村若クハ市町村内部落チ一區域トストアルカ是レハ一區域内ニ於テ議員何名ヲ撰出シテ組合ヲ組織スルカ又ハ組合組織ノ事ハ都テ委員ニ任セル積リナルヤ細カニ説明アル様致シタシ

說(竹尾) 組合委員ト云ヘハ隨分立派ノ様ナレト組合ノ世話人ト云フ位ノモノニテ其人

數ハ組合區域ノ大小ニ依リ或ハ一人トシ或ハ二人三人トスルモ差支ナシ準則ニテハ人員ヲ限ラサル積リナリ又組合ヲ組織スルコトハ其區域内ノ當業者相會ノ規約ヲ定メ相談ヲ纏メルヤウニ爲シ別ニ議員杯ト云フハ釜釜シキ名稱ヲ附スルコトハナササル考ヘナリ今日迄ノ經歷ニ據ルト組合組織ノ如キモ兎角第一主義ヲ執リ何レノ地方ニ於テモ細密ノ点マテ同一ニナサントスルカ爲メ實際ニ於テ利益ヲ収メ難ク甲ニ便ナレハ乙ニ不便ヲ感スル等ノコトアリ殊ニ農事上ニ就テハ各地古來ノ習慣モアリテ其趣甚タ異ナレリ故ニ此準則ハ只大綱ヲ掲ケ細目ハ各地當業者ノ便宜ニ任セタキ考ナリ又經費等ノ事モ其通リニテ成ヘク手ノ掛ラサルヤウニナサントシ希望スルナリ

十番(柴田) 御親切ノ御考ナルカ漠トスルト却テ差支ユル事アルヘシ同業者ノ相談上ヨリ設クル等ノ事ハ一應尤ナルカ目今ノ一村又ハ一大字チ一區域トスレハ隨分多人數ナリ然ラハ到底相談ハ纏ラサル可シ又成ルヘク手ノ掛ラヌヤウトノコトナルカ組合員ノ名簿ヲ訂正スルカ如キハ隨分八釜數ノ様ニ思ハル又先ニモ承リシカ年中行事ヲ定ムルト云フハ稻刈ノ期日チ一様ニスルナトノ類ノ事ナルヤ

十三番(本間) 假令ハ組合ヲ設ケテ肥料ハ斯々スレハ宜敷トカ其地方々々ノ適宜ニ任スト聞キシカ其地方ノ習慣見込ニ依テ組合ヲ設クルトスレハ縣廳ニテハ之ヲ巡回セラレ其熱心ニシテ好キ成績ヲ現セシモノハ賞與セラレ、等ノ御運ニナル者乎

說(竹尾) 先ニ十番ノ質問ハ一區内ノ當業者カ集リテ相談ヲナシ規約ヲ定メ組合ヲ設クルコト同業者四分ノ三以上同意ヲ要スルコトニシテ即百人ニ付七十五人同意スレハ組合ヲ



組織スルヲ得ルナリ百人カ悉皆同意スルヲ必要トナスコモアラズ然レモ如何ニ良キ  
コナレハトテ三分一以上ノモカ望マサルキハ實際ニ行ハレ難シ故ニ同業組合ニ於テ  
モ亦是制限アルナリ又十三番ノ質問ノ事ハ縣廳ニテハ出來得ル丈ケ獎勵スル積リナリ  
尙併セテ一言セン元來此組合ヲ設クルノ必要アリト認メシ理由ハ假令ハ巡回教師カ講  
話セシ事項モ耳ニ留マリシ人カ行フノミニシテ其村落ニ廣ク行ハル、ニ至ラス共同シ  
テ改良ヲ要スルコトノ如キハ遂ニ行ハル、道ナシ故ニ組合ヲ設ケ置キ良キ事ハ互ニ勸メ  
合フテ行フヤウニセハ村落ノ福利ヲ増ス事ヲ得ルナリ

廿九番(五十嵐) 本問題ノ第四項ニ耕地區畫ノ改正云々トアルカ假令ハ自己ノ田地ニモ  
セヨ畦畔ヲ除キタルキハ其所ハ熟田ニナル迄三年ヤ五年ハ掛ルナリ然ルニ熟田同様ニ  
見ラレテハ却テ勞シテ効ナキカ如何

四番(齋藤) 廿九番ノ心配ハ尤ノ様ナレモ畦畔ヲ除去スレハトテ直チニ地租ヲ改ムルニ  
アラス五ケ年間ハ舊ノ儘ニ据ヘ置カル、故差支ナカラン序ニ聞キ置クカ聯合組合規約  
ハ認可ヲ受クヘシトアルカ組合會モ矢張認可ヲ受クルヤ

廿三番(八嶋) 準則トシテ布カル、以上ハ別ニ制裁モナケレハ縣廳ハ町村長ヘ向ケ狀況  
ヲ報告セヨト命シ町村長ニ於テ組合組織ノ同意者ナシト報告スルキハ其儘ニナシ置ク  
ヤ如此ナラハ準則ヲ布クモ更ニ益ナシ併シ町村長ニ於テ成丈ケ勸誘スルヤウ仕向ケラ  
ル、コトナルカ

說(竹尾) 四番ノ質問ニ答ヘン組合規則并ニ聯合組合規約トモ皆認可ヲ受クルナリ又廿

三番ノ質問ノ如ク別ニ制裁ヲ設クヘキモノニアラサレハ同業者ニ於テ組合ヲ設クルコ  
ト望マサレハ致シ方ナキヤウナレモ本會ニ於テ必要ヲ認メタルコトナランニハ縣廳ハ  
勿論郡長町村長ニ於テモ充分勸誘ノ手段ヲ盡スヘシ

廿七番(細梅) 組合ヲ設クルキハ何レノ人ヲ發起者トスルヤ

說(竹尾) 實際發起スル人即チ町村長ノ發起ナルキハ町村長廿七番カ發起者ナルキハ廿

七番ナル如ク其地ノ有志家ニテ人ヲ限ラサルナリ

十番(柴田) 問題第一項ニ虫害驅除豫防ノ事トアルカ本縣ニハ虫害豫防規則アリタル筈  
ナリ今御所持ナレハ一見シヨシ又曾テ勸業大會小會ト云フモノアリシカ是等ノ規則ハ  
目今報行シ居ルヤ

說(田中) 虫害驅除豫防規則アルニモ拘ハラズ爰ニ之ヲ掲ケタルハ彼レト是レト相待テ  
併行ヒシムル積ナリ此規則ハ手元ニナケレハ後刻御廻ヒスヘシ又勸業大會小會ノ規則  
ハ消滅シタルモノト思考ス

十一番(工藤) 畦畔ヲ削シテ二枚或ハ三枚ノ田チ一枚ニスルト云フカ畑ニ於テハ兎モ角  
田ニ於テハ水ノ保チ方宜シカラス又日光ノ透射モ惡シクシテ收穫モ劣ルト云フ說アリ  
實際ノ利益ヲ調ヘラレタルヘシ又馬耕ニテモ行ハシムル積リナルカ

說(田中) 然リ漸々ニ田面ヲ擴張セシメテ馬耕ヲ行フニ至ランコト望メトモ是等ハ土地  
ノ狀況ニ依ラサル可カラス

十一番(工藤) 土地ノ狀況ニ依ルハ勿論ナル可ケレモ實際田面ヲ擴張ケルハ惡シト云フ



カ如何

説(田中) 決シテ惡シキニアラス實効ヲ奏シタルハ石川茨城ノ諸縣ニアリテ利益アルヲ  
ヲ確メタリ

十六番(加藤) 番外ノ云フ所ハ至極尤ナルモ實効ヲ奏スルニ至テハ甚ダ難レト思フ何ト  
ナレハ本員ハ酒造家ナルカ酒造組合ハ是非設ケテ予ハナラヌヤウナリヲルモ此農事組合  
ハ完全ナル制裁モナケレハ實効ヲ奏スルヲ難シトスルナリ又畦畔ヲ作ス等ハ土地ノ  
狀況ニ依テ施セハ至極宜シキコナリ

廿五番(色摩) 組合設置ノ件ハ至極宜シキモ元來農事トハ廣キ言語ナルカ本問題ハ米麥  
ニ制限シタル譯カ

説(田中) 否ナ決シテ米作麥作ニ限リタルニアラス農事上ノ同業組合ト云フ譯ナリ

一番(加藤) 第二問題第五項ニ灌溉ノコアルカ此灌溉ノ事ニ付テハ中々紛擾ノ起ルコト  
リテ水利ニ關シテハ舊來ヨリ組合トモ云フヘキ關係アリ故ニ弊害モ充分改良スルヲ難  
シト思フカ如何

説(竹尾) 夫等ノコハ素ヨリ農事改良組合ノ規約ニテ定メ置キ規約ハテ爲シ得ル丈ケノ  
コトナシ組合ノ力コト爲シ難キ事ハ夫々手續ヲ經テ處分スル外ナシ  
一番(加藤) 今ノ説明ニテ譯リタルモ尙ホ疑團起レリ若シ甲乙丙ニ涉リタルコトハ如何ニ  
スルヤ

説(竹尾) 甲乙丙ニ涉リタルコトハ聯合組合會ニテ極ル外ナシ

三十二番(堀) 組合委員ニハ給料ヲ與フルコトナル乎

説(竹尾) 委員ニ給料ヲ與フルト否トハ組合ノ規約ニヨルナリ併シ立案者ノ精神ハ成丈  
ケ費用ノ少ナキヲ希望スレハ先ツ無給トシ度キ考ナリ

二十番(林) 耕地區畫改正ノ事ニ付質問スルカ先刻説明員三番ノ話ニヨレハ漸々馬耕器  
ヲ用フルト云フカ米國ノ如キハ富ノ度日本トハ大ニ異ニシテ高キ肥料ヲ使フモ收入多  
ク生活ノ度モ隨テ高ク日本農家生活ノ度低クキハ本員等ノ常ニ遺憾トスル所ナリ斯カ  
ル相逢ノアルニモ拘ハラヌ馬耕器ヲ日本ニ襲用セント云フカ細梅氏杯ハ既ニ之ヲ用ヒ  
又明日實施ヲ見セルト云フカ之ヲ用非テ果シテ夫レ丈ケノ收入ヲ増ス事ナルカ

説(田中) 馬耕ノ事ハ以前日本ニ米國ヨリ持來リテ試験セシカ農業ノ有様彼是異ナルヨ  
リ器械大ニ過キテ實用ニ適セス故ニ福岡縣杯ニテハ之ヲ折衷シテ至極便利ノ器械ヲ製  
造セリ故ニ米國ノモノヲ其儘ニ襲用セント云フニアラス費用ヲ省キテ益アルモノヲ用  
フルヤウニナルヲ望ムナリ

三番(加藤) 本會ニテ之ヲ可ト決スルキハ何時ヨリ實施スル積リナル乎

説(竹尾) 今茲ニテ明言シ難キモ夫々手續ヲナシ成ルヘク早ク實施スル積リナリ

十四番(荒木) 農事改良組合委員ハ一字ヨリ一人トカ大字ヨリ二人トカ又ハ三人トカ出  
ス積リナルヤ

説(竹尾) 農事改良組合設置要領第三項及第四項ニアル如ク同業者ヨリ組織スル組合ナ  
レハ委員ハ組合員中ヨリ互選スルナリ尤其人員ハ組合ノ定ムル所ニ任スルナリ



八番(佐藤) 第二問題第五項ニ灌溉及排水ノ便ヲ計ルコトアリ各項トモ田畑ニ通スル事柄ナリト云ハレシカ矢張畑ノ灌溉ニ付便ヲ計ルコトモ含マレシカ

説(竹尾) 灌溉ノ便ヲ計ルハ田ニ付テ云フナリ

會頭(緒方) 第二問題ニ付テハ質問モ盡キタル様見ユレハ今日ハ少シ早クモ愛コテ休會セン尙明日ハ郡内ノ摸範田及ヒ馬耕見分ノ事ニ御相談ナリタル由ナレハ明日午前八時ニ午後二時三十五分

○九月二十七日休會

○全二十八日開會

會頭 本日ハ第三問題ニ付テハ質問ヨリ初メ

○第二問

各郡ニ農事試驗地ヲ設置スルノ件

三十二番(堀) 農事試驗場ノ費用ハ郡費ナルカ町村費ナルカ或ハ地方稅ヨリ支出スル見込ナルヤ

説(竹尾) 試驗地ノ費用ハ郡費ノ積リナリ各郡ニ試驗地ヲ置キ巡廻教師等ノ爲シタル講話等ヲ實施シ度キ考ナリ郡立ノモノハ現ニ南置賜郡ニアリ

十八番(酒井) 各郡ニ試驗地ヲ置キ巡廻教師ノ爲シタル講話ノコトヲ實地ニ行フト云フカ

之ヲ行フ擔任者ハ郡吏員ナリヤ或ハ郡吏員中ヨリ特ニ擔任者ヲ撰テ之ヲ行ハシムルヤ

説(竹尾) 御質問ノコトハ各郡必ス同一ニスルト云フ譯ニハ爲シ難クラン故郡役所ニテ管理スルモ實地試驗ノコトヲ擔任スル者ハ郡吏員トナスモ又ハ實業者ヨリ選テタルモ其郡ノ適宜トナス積リナリ

二十二番(菊地庄) 試驗地ヲ置ク以上ハ從來ノ試作人ハ廢スルヤ

説(竹尾) 各郡ニ試驗地ヲ置ク以上ハ現在セル試作人ヲ設ケ置クノ必要ナキニ至ルベシ

故ニ試驗地設置後ハ廢スルニ至ルベシ

二十番(林兎喜) 各郡ニ試驗地ヲ置クト云フカ本縣ニモ市ニツアリ山形市米澤市之レナ本員ハ山形市モソナルカ農事ニ關スルコトナレハ市ハ除ク積リカ又ニ市ハ郡中ニ

籠ル積リナルヤ本員ツ考ニテハ市ハ市ニテ郡トハ分立シテ試驗地モ獨立サセ度考ナリ是迄ハ市會ノ議決モナケレハ本年ハ必ス是等ノコトモ市ノ會議ニ上ルベシ或ハ問題ニ市ノ一字ヲ誤脱セシモノカ

説(竹尾) 市ノ字ハ落サタルニアラス市ハ元來郡程ニ費用ヲ費シテ試驗地ヲ置クノ必要ナカレハシト考ヒタリ且郡市ノ土地ハ犬牙錯雜シ居レハ郡ト合併スルモ利益ハ充分得ラルベシ

二十三番(八嶋) 巡廻教師ヲ講話等ヲ實地ニ行ハシムルト云フカ巡廻教師トハ本年來リタルモノハ如キモノニテ今後五年々巡廻スルモノナリヤ

説(田中) 巡廻教師ハ本年マテ二回呼ヒタレハ今後モ招聘スルコトアリト考ヒニテ問



題ニ掲ケタリ

九番(大泉) 試験地ハ田畑各三反歩以上トアリ田方畑方經費各何程ナルヤ

說(田中) 各三反歩ノ耕作ノ費用カ或ハ土地買上ケ代等ノヲナルヤ

九番(大泉) 土地買上代ニアラス年々試作ノ費用ナリ田ノ方ハ調フルニ及ハス畑ニハ甲

乙丙ノ等級モアリテ田トハ違ヒ費用ノ掛ケ次第ト云フモノナレハナリ

說(竹尾) 借地料モアルヘケレ郡吏員ヲシテ試作ノヲ擔當セシメシハ極メテ費用

モ掛ケサルヘシ尤試験費ノ如キハ各郡同一ノ見積ヲ立テ難キヲナレハ調置カサルナリ

一般ノ計算ヲ見ダシトナラハ調成シテ差出スヘシ

九番(大泉)調カナケレハ殊更御調ヘニモ及ハス

會頭 第三問題ニ付テノ質議モ最早盡キタル様見ユレハ次ノ第四問題ノ質問ニ移ルヲト

セン

○第四問 米國シカゴ府世界博覽會出品惣代者渡航補助ノ件

九番(大泉) 補助金額千三百四十六圓ハ二人分ニテ一人ニ付六百七拾三圓トナルカ米國

迄ノ船賃ハ何程ニテ滞在費ハ何程ナルヤ

說(木野) 金千三百四拾六圓ハ二人分ニテ一人分六百七拾三圓ナリ之ハ全ク瀛車瀛船賃

ノミニテ滞在費ハ含マサルナリ而シテ此瀛車瀛船賃ノ内譯クハ米國桑港マテ船賃往復

四百圓桑港ヨリ「シカゴ」マテノ瀛車賃往復二百七拾三圓ノ豫算ナリ此豫算ハ明治二十

年閣令第十二號外國旅費規則中傭員ニ支給スル額ニ依リ調ヘタルナリ

二十番(林) 本問題ハ本員ノ大ニ贊成スル處ナリ故ニ質問スヘキヲ多シ此米國ニ人ヲ派

スルト云フハ先ニ國會ニテモ見ハレ農商務省ニテ色々手ヲ盡サレタルカ農商務省ヨリ

何カ内訓等ニテモナキヤ其邊聞キタシ又本員ハ曾テ調ヘ度思ヒ居リシモ其暇ナク終ニ

調ヘ置カサリシカ第一本縣生産生系ノ高及其内輸出スル高ト織物ニ消費スル高トハ何

程ナルヤ第二全國ニテ製出スル生系ノ高及其内全國ニテ織物ニ消費スル高ハ何程ナル

ヤ第三農作物ニ付一人トアルカ米ハ歐洲ニ輸出スル様ニ聞キシカ米國ニハ輸出セザル

様考ヘタリ其外本縣ヨリ海外ヘ農作物ニテ輸出スルモノアリヤ將來輸出ノ見込アルモ

ソアリヤ

會頭 二十番ニ一言セン一ツノ質問カ余リ長キニ過キ先ノ方ヲ忘ルノ様ノヲアリテ説明

員モ困難スレハ成ルヘク順々ニ一ツカニツツ、質問セラレダシ

二十番(林) 左様ナラハ先ツ之レ丈ケニ致シ置カシ

說(本野) 成程國會ニテ議論モアリタルヲハ聞キ居リシモ農商務省ヨリ縣廳ヘ内訓等ハ

ナシ第一第二ノ本縣及全國ノ製絲ノ高並ニ其輸出高及織物ニ消費スル高何程ナルヤハ

暗記セス併シ書類モアレハ後刻マテ報告スヘシ第三問本縣ノ農作物ニテ輸出シ居ルモ

ノハ是マテ聞及ハス多分ナカルヘシト思フ

說(竹尾) 農作物ニテ是マテ特別ニ本縣ノ産出ナリトシテ輸出シタルモノハナカルヘシ

後來ノ「」ニ付テハ一部分ノモノナカク薄荷苧麻ノ類ハ多少見込ナキニアラサルヘシ昨

年内國勸業博覽會ノ時某外國人ハ各府縣ノ産出物ニ付苧麻ノ見本ヲ集メ居リタルヲ



リ又輸出米ハ重ニ關西ノ産ナルカ其輸出先キハ歐洲大陸次ニ米國ナリサテ本問題補助ノ旨趣ハ繭生糸織物ニ付一人農作物ニ付一人トナシタルカ是ハ單ニ管内物産ノ現ニ輸出シツ、アルモノ、販路ヲ擴張スルノ目的ノミナラス農作物ニ於テモ支那ノモノ印度ノモノ歐洲ノモノ等一場ニ陳列スル博覽會場ニ付キ彼ト是トヲ比較シ如何ナルモノカ良好ニシテ需用多キヤ又如何ナル物ハ從來我山形管内ニモ産出シアルヤ又何々ハ如何ニ改良セハ利益アルヤ等ヲ調査シ以テ國産改良増進ノ智識ヲ買ハントスルニアルナリ

三十四番(大場) 漆ノ如キモ輸出セサルカ近頃ノ景況如何ナルヤ

說(竹尾) 漆ハ少シク輸出スル趣ナレト是ハ彼國ニテモ試驗用ニ充ツル位ノ由シナリ思フニ原料ノ輸出ハ我國漆器製造ノ爲メ不利益ノコナリ

三十四番(大場) 本縣下ニテハ何程ノ産額ナルヤ

說(木野) 明治廿三年ハ五百九十六貫二百九十六匁ナリ

二十番(林) 本員ノ第四ニ質問スヘキハ米國ハ日本生糸ノ第一ノ花主ナルカ如シ併シ以大利ニ壓倒セラレントスル由之レハ他ノコナレハ陳ヘサルモ米國ノ織屋ハ何レノ邊ナルヤ「シカゴ」府ハ桑港ヨリ何程ノ里程ナルヤ又織物ノ盛大ナル地ハ彼ノ國ニテ何ト云フ處ナルヤ此場所ハ「シカゴ」府ニ遠キヤ近キヤ其邊承知シタシ

說(竹尾) 「シカゴ」府ハ先ツコウヨク府ニ近ニ方ニテ桑港ニ遠キ方ナリ里程ハ今暗記セス又織物ハ紐育ナルヘシ「シカゴ」府ニハ織屋ノコトニ就キ別段聞及ヒレコナレ此ニ問題ニ出シタルハ織屋ニ就テ調査ヲナスニアラス博覽會ニテ大体ノ摸樣ヲ調フルニアリ

八番(佐藤) 日本ヨリ外國ヘ輸出スル物ヲ承知シタシ其譯ハ博覽會ニ付テ必要ナレハナ

說(竹尾) 出品ノ名ヲ悉ク述フルハ煩ハシキコナレハ其重ナル物ノ一二ヲ云ハンニ第一ハ生糸第二ハ茶第三ハ米其次ハハンカチウーフ其他絹織物等ナリ絹織物ハ琥珀羽二重等ナリ又陶器漆器海産物ノ類アレト本縣ニ直接間接ノ關係アルモノヲ舉クレハ生糸羽二重米位ナルヘシ

十六番(加藤) 米國ニ渡航スル往復旅費ハ何程ニテ滞在ハ何日位日當ハ何程ナルヤ

說(木野) 横濱ヨリ桑港迄船賃往復四百圓桑港ヨリ「シカゴ」府迄瀛車賃往復二百七拾三圓ト見積リ日當ハ見積ラス米國ニテ下等ノ宿泊料ハ一日二圓位ナリト云フ滞在日限ハ凡ソ十四ヶ月間ト見込メリ何トナレハ陳列期限ハ明治二十五年十一月一日ヨリ二十六年四月十日迄ニテ開期ハ廿六年五月一日ヨリ全十月三十日迄ナレハ前後通レテ十四ヶ月ヲ要ス左スレハ宿泊料ハ八百四拾圓余ヲ要スヘシ

三十四番(大場) 出品惣代者ト云フ肩書ヲ帶ヒテ行シ人ニ船賃ノミ給シテ相當ノ人ヲ得ラル、ヤ一二月ヶ月位ナレハ免モ角モ一年有余ノ長日月ヲ要スルニ宿泊料ヲ給セサルハ甚ク酷ナルカ如シ其人ヲ得ルニ難シト思フカ如何

說(竹尾) 成程人ヲ特派スルト思ヘハ左モアルヘキカ左ハアラス自カラ奮ツテ行カシト欲スル者ヲ補助スルハナリ人ヲ得ルニ難シト云フハ一應尤ナレト實業家中奮ツテ行カシト欲スルモノナラハ可ナラント思フ併シ人ノ見込迄付テ本案ヲ提出シタ



ルニアラス定メテ本年ノ國會ニハ出品ニ關スル補助保護ノ一抔モ議場ニ出ツルナラン  
ト思フカ夫レハ夫レトシテ二人丈ケハ特別ニ渡航費ヲ補助シタキ考ヒナリ  
三十四番(大場) 然ラハ出品者ノ内ニテ相當ノ者ニシテ行クモノアレハ補助スルモ無理  
ニ行カシムル譯ケニハ行カス若シ相當ノ人ナケレハ費用ハ只置ク譯ケカ

說(竹尾) 尤モノナナルカ此度ノ博覽會ハ世人ノ特ニ注目シ居ル處ナレハ當縣下ノ當業  
者中ニモ自費ニテ憤發スル人アルヘシト思フ

說(木野) 先刻三十番ヨリノ質問ニ生糸ノ産額ハ後刻報スヘシト答ヒ置キタルカ全國ノ  
産出高ハ八千万貫ニテ本縣ノ分ハ五萬貫内外其内織物ニ消費スル高ハ一萬貫ナリ本邦  
ヨリ輸出スル生糸ノ總額ハ二千萬圓内外ニテ本縣ノ分百萬圓内外ナリ

二番(高橋) 三十四番ヘノ答辨ニ據レハ人ヲ誘導シテモ相當ノ人ナキキハ止メニスルノ  
カ其レニテハ甚ダ薄弱ノナリ

說(竹尾) 若シ人カナキキハ致シ方ナシ併シ社會ノ現狀ヨリ考ヒ又當縣物産上ノ關係ヨ  
リ見ルモ本縣内ニ於テ此好機會ニ際シ彼國ノ實況ヲ目撃シ將來ノ裨益ヲ謀ラント憤發  
スル者アルヘシト思フ

十六番(加藤) 製糸織物ニ付テハ相當ノ人アリト思フカ農作物ニ付テハ其人ヲ得ル甚ダ  
難シト思フ故ニ此金ヲ一人ニ興フルコトニハナラサルヤ

說(竹尾) 農作物ニ付テハ其人ナレトノ考ヒハ左モアルヘキカ立案者ハ確カニ其人アリ  
トノ確タル目的ハナキモアルヘシト思フナリ又二人分テ一人ニ興ヘルコトハナラサル

ヤトノ質問ナレトモ之ハ六ヶ敷ト思フ  
十五番(長谷川) 二人トシダレハ若シ一人ヨリ外其人ナキキハ如何スル考ナルヤ製糸トテ  
モ農業ニ密接ノ關係モアレハ一人ニテ是等ノコトヲ兼テタル人ナルキハ如何スルカ元來  
本問題ノ目的ハ人數ヲ限ルニアラスシテ事柄ニアリ故ニ一人ニテモ兼テ得タル人ナレ  
ハ差支ナキ様ナリ又三人テナクテハ間ニ合ハヌコトモアルヘシ然ルキハ三人ニ二人分テ  
給シテモ可ナリ併シ此等ハ縣會ノ輿論モアルヘケレトモ立案者ノ精神ハ如何

說(竹尾) 立案者ノ精神ハ一人テモ多ク人ヲ遣リタキ考ナレトモ併シ費用モ多クレハ斟酌  
セサルヲ得ス

十五番(長谷川) 若シ一人ヨリ外其人ナク其一人カ双方ヲ兼テ得タル人ナルキハ二人分  
テ興フルト云フ事ニナルカ

說(竹尾) 先キニモ云フ如ク三人アリテモ三人ニ分ツト云フ考ヘハナシ故ニ一人ノミナ  
レハ此金ノ一半ヲ興フルノミ

十五番(長谷川) 前ニモ述タル通縣會ノ意向モアルナランカ縣會ニテ可決シタルキハ如  
何

說(竹尾) 素ヨリ二人ト限リタルニアラス只費用ハ融通セスト云フ迄ニテ人數二人ト云  
フコト堅ク取ル譯ケニハアラス

十五番(長谷川) 然ラハ二人ト云フノカ其事柄ヨリモ主眼トナリ居ルナリ若シ相當ノ人  
五人モアリタルキハ如何縣廳ノ見込次第ナルヤ



說(竹尾) 若シ三人アルキハ其内ニテ適當ノ人ヲ撰フ考ナリ

三十四番(犬場) 十五番十六番ハ農作物ノ人ニ付テ種々心配ノ様子ナルカ本員ノ考ニテハ却テ農作物ニ付テハ其人アリテ製絲家ニハ其人ナキ考ナリ何トナレハ十四ヶ月モ家ヲ留守ニスルコトナレバ養蚕家杯ハ迎モ此間時日ノ融通付カサルヘシ又一人ヨリモ二人遣リ度ハ本員ノ考ナリ何トナレハ人ニハ病氣等種々ノ障碍モアリ又外ニ色々ノコモアル丁アレハナリ又人ノ撰任ニ付テハ參事會員等モアレハ其邊ハ心配ニ及ブマツ

十一番(工藤) 本會ノ意見コテ可決スルモ縣會等モアレハ如何ナルヘキカ譯カラサレモ縣會ニテ可決スルモノトシ其補助ヲ受ケタル人カ縣下ニ歸リテハ如何ナル方法ニヨリテ縣下ニ利益ヲ與ヘ物産ノ隆盛ヲ計ル積リナルヤ

說(竹尾) 補助ヲ受ケタル二人ノ人カ歸朝ノ後縣下ニ利益ヲ與フル其手段ハ種々アルヘシ譬ヘハ生糸ノ一コ付テ云ヘハ是レ々々丈ノ事ハ惡シケレハ斯ク々々ニ改良シタルヘカ斯クスルカ輸出ニ適スルトカ其品物ノ蕃殖改良ヲ獎勵シ或ハ巡廻講話ヲ爲シ又ハ塲所ニ依テハ方法ヲ設ケテ獎勵スルトガ云フ如キ種々ノ手段アルヘシ

十一番(工藤) 然ラハ歸朝後ハ何々ノ義務ヲ盡スヘシト云フ如キ契約テモ結ヒ置ケガ  
說(竹尾) 質問ノ主意ハ大學校杯ノ貸費生ノ如キ條件附キノ契約ニテモ爲スガト云フノ意カ

十二番(工藤) 然リ  
說(竹尾) 左様ノコトハ爲サ、ル考ナリ何トナレバ其人ハ素ヨリ有志家ナルヘケレハ歸國

ノ上ハ必ス管内ノ爲メニ利益アル働キヲ爲スト信スルナリ必ス直接間接ニ縣下一般ノ裨益ヲナスコトアリト信スルナリ

會頭 質問モ盡キタル様ナレハ午前ハ是ニテ休會スヘシ  
時ニ午前十一時

○廿八日午後十二時五十分開會 出席廿六人

會頭 是ヨリ午後ノ會ヲ開カン第一問題ニ付意見ヲ陳ヘラレタシ

○第一問 鮭鱒種塲設置ノ件

九番(大泉) 本員ハ第一諮問案ヲ實施スルコトハ不可ナリトノ意見ヲ抱ケリ素ヨリ種川ヲ設置スルコト不可トスルニアラヌ本年ヨリ本案ヲ實施スルコト不可トスルナリ尙ホ一ケ年之ヲ延期シ其利害得失ノアル所ヲ充分調査ヲ遂ケタル上ニ實施ノ事ヒニ致シタシ否ラサレハ官漁業者ノ利害スルニ止ルノ結果トナルヘシ何トナレハ本問題未項ニ種塲區域内ニ於テハ毎年十月一日ヨリ翌年四月三十日迄一切ノ漁業ヲ禁ストアレモ元來鮭ト鱒トニハ産卵孵化ノ期節大ニ異ナルモノアリテ本問題ノ禁漁期節ハ鮭ニハ其効アルモ鱒ニハ其効ナク畢竟荷口川高木川ノ如キ枝川ナレハ差シタル害ナク又飽海東西田川ノ如キ海ニ接近ノ塲所ハ格別ノ害ナキモ小國川鮭川ノ如キニ至テハ鮭ニ適スル塲所アリ鱒ニ適スル塲所アリ故ニ其川々ニヨリテ禁漁季節ヲ異ニセサルヘカラス又其村々



ニヨリテ取締法ヲモ異ニセザルヘカラス然ルニ之ヲ區別セスノ同一様ニナシタルハ未  
 ダ調査ノ届カサル所以ニシテ本案ヲ實施スレハ最上川赤川沿岸ノ十三四ヶ村漁業者ノ  
 利ヲ害スルニ至ルヘシ之レ只害ヲ與フルニ止ルト云フ所以ナリ故ニ尙ホ一ヶ年延期シ  
 テ其間ニ充分ノ調査ヲ遂ケ來年度ノ本會ニ提出シテ之ヲ決スルモ遲キニアラス又顧ミ  
 テ種場設置ノ緩急如何ト云フニ元來是等ノ事柄ハ永遠的ノ計ニ屬シ朝ニ創メテ夕ニ終  
 ルモノニアラス新瀨三面川ノ如キ今日ニ始マリタルニアラス余程舊年ヨリ行ヒ來リタ  
 ルモノナリト云フ左スレハ今種場ヲ設置スルニ日一日ヲ爭フ程急務ニテモアラス之レ  
 急ニ之ヲ實施スルノ必要ナシト云フ所以ナリ本員ハ尙ホ歸村ノ上關係ノ村々ニ問合セ  
 其村々ノ意向ヲ當局者ニ報道ス可シ一善ヲ爲スハ一害ヲ除クニ如カスト云フコトモアレ  
 ハ本案ヲ不可トスルノ意見ナリ

十一番(工藤) 本員モ九番ト同感ナリ此事ハ縣會ニ於テモ議論アリシカ之ヲ實施スルニ  
 ハ甚ダ至難ナリ場合ニヨリテハ漁業者ノ穩カナラサルコト起ルコトモ覺悟セサル可カラ  
 ス故ニ之ヲ行ハントスルニハ漁業者ノ迷惑モ顧ミス隨分壓制モ爲サ、ル可カラス新瀨  
 縣信濃川ノ如キハ一直線海ニ注ク處ナルヲ以テ赤川最上川トハ其趣ヲ異ニセリ或ハ川  
 ニ由テ之ヲ施スヘシト云フ人モアルヘケレモ十八番ノ云フ處ニヨレハ鼠ヶ關川三瀬川  
 ノ如キモ規約モアリト聞ク種川ヲ設クル以上ハ隨分壓制モシテ干涉ヲモ爲サ、ル可カ  
 ラス若シ十分ニ干涉ノ取締ヲ嚴重ニスルコトヲ得ストセハ始メヨリ爲サ、ルノ優レルニ  
 如カス故ニ本員ノ如キハ徹頭徹尾行ハレサル者ト考フ故ニ本案ハ之ヲ不可トスルナリ

會頭 此事ハ善キコトナルモ方法カ悪シト云フノ意ナルカ

十一番(工藤) 進テ爲スカ退テ爲サ、ルカノ二点ヨリ外ナシ目下漁民困難ノ際ナレハ之  
 チ行フニハ地方費ヨリ一萬圓モ補助ヲ爲サ、ルヘカラス故ニ行レ難シトナス所以ナリ

十五番(長谷川) 九番ノ說ハヨキコトナルモ充分調ヘカ付キ居ラサレハ尙ホ調査ノ上之ヲ  
 實施スヘシトナス又十一番ノ說ハヨキコトナルモ行ハレ難キコトナレハ爲サ、ルヘシト云  
 フ本員ノ考ニテハ元來ヨキコトナラハ爲スニ躊躇スヘカラス又明年迄取調ント云フカ明  
 年迄待チタリトテ充分調査ノ付クヘキモノニアラス定メテ説明ノ充分ナラサルヨリ九  
 番ニハ了解シ兼チタルナラン又明年迄待チ居リテ尙ホ充分ノ説明ナキハ如何スルヤ  
 又取調ハ縣廳ノミ取調ルヤ或ハ近傍ノ會員義務トシテ取調フルヤ

九番(大泉) 十五番ノ質問ハ尤モナリ縣廳ニ於テハ大体ハ取調ヘタルナラン併シ先キニ  
 陳ヘタル通沿岸十四ヶ村ニ涉レハ種場ニスル場所ハ二二字通シテ一ヶ所ノ處モアラン  
 或ハ一字中ニ二ヶ所アル處モアラン又其間數モ適宜ニ從ハサル可カラス未タ之等ニ付  
 テ充分ノ調査付キ居ラサルナリ又本員ノ如キハ小國川維川丈ヶハ充分調ヘテ當局者ニ  
 報道スヘキ積リナルモ會員ニ向テ義務トシテ強ユルコトハ望マサルナリ

十五番(長谷川) 説明員ニ質問ス種川ヲ取締ルニ申合セ規則ニ由テ責メチハナラヌト云  
 フハ縣廳ニ於テ準則様ノモノヲ拵ヘ許可スルト云フコトナルコトナルヘシ之ヲ勸誘シ  
 教導シテ從ハサルハ制裁ハ如何假令ハ規約ヲ犯シタルモノハ若干圓ノ罰金ヲ科スト  
 カ云フ處分法ハ如何



説(竹尾) 準則ニシテ行フヨリ外ナカル可シトハ先日十一番ニモ答ヘ置キタリ準則ヲ發シテ種場ニ適當ナル場所ハ申合規約ニヨリ其土地ノ漁業者ニ一任シタキ考ナリ尤モ縣廳郡役所等ハ勸誘スルハ勿論ナレモ本問末項禁漁期節中警察官ヲ特ニ派出スルト云フ譯テニモ行カサル故土地ノ漁業者カ取締ヲ爲サ、ル可カラス尙ホ河川漁業取締規則アリハ之ニ付加ヘテ保護スル考ナリ

十五番(長谷川) 十一番ニ質問ス説明員ノ云フ所ニ據レハ取締ハ各自ニ一任スト而シテ十一番ノ謂フ所ハ凡テ利害テフ者ハ密着ノ關係アル者ナルカ此事ハ寧ロ害多クシ利鮮シト云フ成程之ヲ執行セシムル迄ハ困難ナルヘキモ其利ヨリ害多キトハ何レノ点ナルヤ

十一番(王藤) 一方ニ利アルモ一方ニ害アリト云フハ最上川ノ如キハ數十里ニ涉リテ取締頗ル困難ナリ規則テアレハ制裁アル故之ヲ從ハシムルヲ得ルモ準則ノ如キハ是非守ラテハナラヌト云フ義務モナケレハ其人ニ利ナキヲハ強テ之ヲ行ハシムルコトモ行カス故ニ取締ヲ嚴ニスルニハ準則ニテハ行ハレサルナリ人々利アルコトハ勝手ニ之ヲ行フモ利ナキコトハ行ハストスレハ取締ヲ設クルノ効ナシ之レ一方ニ利アリテ一方ニ害アリト云フ所以ナリ

十五番(長谷川) 十一番ノ云フ所ハ害ト云フモ之ヲ行フニ難シト云フニ過キス故ニ善キコト見認メナカラ一概ニ之ヲ廢棄セントスルハ甚タ酷ト云ハサルヲ得ス矢張明年迄取調ヘタル上實施スルコト爲レタシ

廿四番(金子)

本員ハ九番トハ反對ニテ十一番トハ大ニ反對ナリ九番ハ明年ニ讓ルト云

テモ善キコト見認メタル上ハ一日モ早く實施シタシ十一番ノ害トハ如何ナル点ナク云フニ實施ノ上ナラテハ其利害ヲ確メ難ク當局者ニ於テモ此問題ヲ第一ニ擧ゲラレタルハ第一ノ利益アルモノトノ意志ナラン

十八番(酒井) 種場設置ノ件ニ付テハ九番ノ説ヲ賛成ス諸君ノ參考旁々本員ノ實見ニ於テ所ヲ陳ヘシニ鮭鱒ハ飽海東西田川ノ三郡カ最ニ關係アレハ調ヘ置キタリ本員ノ地方ナドニテハ種場ハ先ツ利益ノ無キ方ナリ併シ此種場ヲ設クルハ魚ノ殖ルコトハ信スルモ關係ノ薄キ地方ハ篤ト調ヘタル上ニ施行シタシト云フコトナレハ先ツ此事ニ致シタシ今試ニ西田川五ヶ川ノ漁獲ノ調ヲ調ヘシニ三瀬川ハ拾五圓五十用ハ四拾圓温海川ハ五拾圓岩用ハ五拾五圓鼠ヶ關川ハ七拾圓ナリ而シテ種場ヲ設ケシヨリ沿岸ノ村々ハ喜ビ居レリ何トナレハ魚ノ一旦下リテ上ルルハ取ルコト得レハナリ

四番(齋藤) 本員ハ廿四番ト同感ナリ決シテ猶豫スヘキコトニアラスト思フ故ニ反對説ヲ駁セサル可カラス九番ハ凡テ事ヲ鄭重ニセラルルニハ延期説ヲ唱フルモ尤モノコトナガテ此事ハ明年迄待テタリトテ満足ノ結果ヲ得ヘキモノニアラス又準則ヲ持ヘテ之ヲ實施セントスルモ當局者ニ於テモ本年度ハ逆モ其抄ヒ至ラサル可シ彼ノ保安條例ノ如ク即日其日ヨリ報行スル譯ニハ行カサルナリ又漁業者モ害ノ無キコト充分認メタリ上テラテハ規約ヲ結ハス當局者モ認可セス彼レ是レ日ヲ費サハ何程急キタリトモ來年度ノ初期ニ至ルヘシ又此調ハ一人ニテハ調フルコト得サルモノナレハ縣廳郡役所等ノ調ニ一任スルノ外ナシ故ニ延期セサルモ差支ナシ



三十四番(大場) 先刻ヨリ各員ノ陳フル所チ聞クニ九番ト四番トノ説ハ結極一年ノ相違  
ニ過キス四番ノ説モアレハ九番ノ説ハ調ヘタル上ニ着手シタシト云フナレハ九番ノ  
説ニ賛成ス

十五番(長谷川) 本員ハ九番ノ説チ賛成シタシ今ヤ之ヲ取消シテ原案チ賛成ス何トナレ  
ハ九番ノ説ニハ沿岸村ニハ迷惑スルト云ヒシカ十八番ノ説ニヨレハ却テ沿岸村々ノ喜  
ヒナリト云ヘハナリ

廿四番(金子) 只今三十四番ハ反對ト云ヒタルカ千變萬化ノ世ノ中ニ善キト是認シタ  
ルナラハ少シモ早ク之ヲ行フハ勸業上ノ要旨ナリ併シ日進ノ中ナレハ惡キ時ハ之ヲ改  
ムル何ノ不可アラシ

九番(大泉) 十五番ハ十八番ノ説チ聞キテ本員ノ賛成チ取消シタルカ十八番カ云フ喜マ  
トハ恐クハ誤リナラン一村限リノ事カ又西田川郡ノ如キ補助チ得ル處ハ喜ヒモセン他  
ノ處ハ決シテ然ラス又一度之ヲ實施スルコト決セハ二十人三十人ノ漁民ノ不平アリト  
テ斷行セサル譯ニモ行カス廿四番ノ説モアレハ何百年ト仕來リタル從來ノモノヲ廢シ  
テ急ニ行ハチハナラスト云フ譯モナカル可ク又鱒ノ産卵ハ四五月頃ト云フ譯モナカル  
可ク又鱒ノ産卵ハ四五月頃ト云フ説モアレハ本員ノ考ニテハ七八月頃ナリ此証ハ縣廳  
ノ調モ本會ノ調モ甚タ粗漏ナレハ尙ホ一年ヲ延期シタシ

十八番(酒井) 種川ノ件ニ付先キニ陳ヘタル所ニ不充ナル處アリ故ニ追補セン西田川  
五ヶ川沿岸ノ漁業者ノ喜フト云ヒシハ川口ノ漁業ヲ禁シテ魚類ノ上ル様爲シタレハ喜

フモノニテ最上川ナトハ趣ヲ異ニスルモノナリ故ニ場所ニヨリア利害チ異ニスレハ  
矢張九番ノ説ヲ可トス

三番(加藤) 廿四番及四番ヲ賛成ス九番ノ云フ所縣廳ノ調ハ粗漏ナリト云フモ此上調ヘ  
テ其調ニ間違ナキヲ期シ難シ結極五十歩ニテ格別ノ差異ナシ

四番(齋藤) 説明員ニ質問ス鮭鱒産卵期ハ九月一日頃ト云フカ果シテ然ルモノナラヤ  
説(竹尾) 三十二番ハ春期ナリト云ヒ九番ハ七月頃ト卅三番ハ傳聞ノ由ナレハ駁スルコ  
トモアラサス日本水産會ノ調ニモレハ十月十一月十二月ノ三ヶ月ナリ尙ホ卅二番及九  
番ノ説モアレハ篤ト調フル積リナレハ卅二番ノ説ニ相澤川ノ標柱ノ丁モアレハ或ハ河

川漁業取締規則ニ春土用前十日秋彼岸後七十日トアル禁漁期ノ丁ニハアラサルカト思  
ハル尙此十月ヨリ四月マテトアルハ種場内コテ一切ノ漁業チ爲スチ禁シ産卵セント  
スルキヨリ翌年生長シテ下ルトキマテ種場チ安全ナラシメントスル爲メナリ尤モ期日  
ハ取調ノ上各地適宜ニ爲スモ左支ナシ

四番(齋藤) 先刻九番ハ本員ニ對シテ縣廳及本會ノ調モ甚タ粗漏ナリト云フ故今殊更質  
問シタルナリ苟モ日本水産會等ニ於テ調ヘタルモノナレハ此説チ信シテ誤リナシト思  
フナリ卅二番ノ説モ或ハ實際ナルヘキカナレハ鮭ヨリ鱒ハ早キモノナリ故ニ原案ノ通  
實施シテ可ナリト思フ縱シ多少ノ相違アリトスルモ其際之ヲ變更スルモ差支ナキナリ

明年迄延期シタリトテ其調ハ又間違ナキヤ否ヤハ證シ難シ

廿九番(五十嵐) 本員ハ廿四番ニ賛成ス十一番ハ此事ヲ實施スルハ極メテ困難ナリト云



七十八番ハ只一村ヲ就テノチ陳ヘタリ最上川ノチ開クニ漁業モ余程進ミ漁具モ改良シタレハ此儘經過セハ魚種モ盡キル様ニナレハ是非種場ハ設ケタキヲナリ尙説明員ニ望ミ置キ度ヲアリ舊藩ノ頃ニハ下瀬ノ下ニ立網場三ヶ所アリタルカ此處ハ鮭ノ集ル處ナリト聞ク此場所ノ漁業ヲ禁シ得ルヤ否ヤ又川口ハ百五十間ノ禁漁ナリト云フカ此禁漁モ二百間ニ致シタシ又日曜日ノ禁漁モ順々川上ニ及ホシテ一日送りノ禁漁ノチニ致度モノナリ

卅番(小川) 原案ヲ賛成ス理由ハ廿四番四番ト全一ナリ之ヲ行フ法ハ左程困難ナルモノニアラズ本員ノ居宅ハ赤川沿岸ナルカ大字一二ヶ所ノ種場ヲ設ケ置ケリ種ヲツケルコトハ湧水ノアル處ヲ可ナリトス此等ハ何レノ川ニモアルモノナレハ左程六ヶ敷トニアラス

廿七番(細梅)十年前迄ハ北村山郡荷口川東村山郡高木川ヨリ内川邊迄モ上リタルナリ然ルニ近來ハ此等ノコトヲ聞カス之レモ二魚ノ減少シタル徵候ナレハ原案ヲ賛成ス

三十二番(堀) 廿四番ノ説ニ賛成シ度キモ少數遺憾アリ本問題禁漁季節十月一日ヨリ翌年四月三十日迄トアレモ只大綱ヲ掲クルトシテ産卵季ヨリ孵卵季迄漁業ヲ禁ストシテハ如何

十六番(加藤) 原案ヲ賛成ス理由ハ廿四番ト同一ナリ九番ノ心配スル處ハ季節ナルモノ之レハ場所ニ依テ異ナルモノアリ本員ハ營業ノ爲メ北海道ニ行キタルコトアルカ根室ハ七月中旬厚岸ハ八月中旬函館ハ尙一ヶ月遅シ細カニ調フレハ淡水ト鹹水トニ依テ違フ故

十月一日ヨリ四月三十日迄ト定ム置クヨリモ卅二番ノ説ニ從フタル方可ナラン  
 會頭 本會ノ意向ヲ見シ爲メニ起立ニ問フ可シ但シ十一番ノ説ハ一人ノ賛成者ナク消滅ト見認メリ九番ノ説ハ尙一度來年度ノ本會ノ議ニ掛クヘントノ意ナルカ  
 九番(大泉) 然リ會頭九番ノ説ニ賛成ノ人ハ起立  
 起立三人  
 會頭 起立者少數ニ付本會ノ意向ハ原案ヲ可トスルモノト見認ム就テハ引續キ第二問題ニ移ラン各員ニハ充分ニ意見ヲ吐露セラレンコトヲ望ム

○第二問

農事改良組合設置ノ件

廿四番(金子) 禁漁季節ノコトニ付テハ卅二番ノ説モアリ尙考案セ費サ子ハナラス依テ本日ハ是迄トシ休會セラレタシ會頭最早第二問題ニ移リタレハ第一問題ノコトハ茲ニ止メン尙會員各位ニ一言シ置カン各員ノ承知セラレ、カ如ク急ニ本會ヲ當地ニ開クノ命アリタル次第ナレハ縣廳事務ノ都合モアリテ可成早ク歸廳致シ度考ナリ又問題議了ノ后各員ノ意見ヲ煩シ度事モアリ御相談致シ度事モアリ日數モ僅カノコトナレハ御疲勞モアルコトナランカ勉メテ研究アル様希望ス

三番(加藤) 問題議了ノ后ニ御話シアル趣ナレハ引續キ問題ノミ議セラレテハ倦厭ヲ來セハ只今御話シアル様致シタシ會頭此事ハ未タ考案中ニモアリ又各員ノ心ヲ慰ムルト云フ話ニモアラス故ニ問題議了ノ后トシテ先刻ヨリ隨分長時間ノコトナレハ暫時休憩ノコトニ致サン時ニ午後三時



午後三時十五分會開

一番(高橋) 本問ハ至極賛成ナルカ本員ハ質議會ノ片居ラサリシ故今少ク質問致シタ  
シ之ヲ行フニ如何ナル手段ヲ以テスルヤ改良組合設置要領第四項ニヨレハ同業者トハ  
組合ニ於テ改良ヲ要スル農産物ヲ耕作スルモノヲ云フトアルカ實地耒ヲ取ル小作人  
ノミナラス地主ヲモ組合ニ加盟セスシテハ不都合ト考フルカ如何

說(竹尾) 之ヲ設ケシムル手段ハ主務者即チ縣廳郡長等ノ勸誘ニ外ナラス又町村長等ハ  
利害得失ニ付テハ尤モ注意セラル、人々ナレハ此勸誘ニ依テ必ス出來得ヘシト信スル  
ナリ又改良組合設置要領第四項ハ狹ク解スルキハ然ガ見ユルモ立案ノ主意ハ必ス耒耜  
ヲ採テ自ラ耕耘スルモノ、ミチ云フニアラス地主ヲモ勿論組合ニ入ル、ノ精神ナリ

九番(大泉) 本員ハ原旨ヲ可トス郡町村長等ノ勸誘ナレハ三分ノ二以上ハ必ス組合ニ加  
盟スヘシト信ス併シ設置要領第五項ノ第三ニアル米穀乾燥ノ下ニ(及調整)ノ三字挿入  
シタシ凡テ組合ノ規則等ハ成ルヘシ例示法ニシテ余リ細密ニ涉ラサルヲ緊要トス

十五番(長谷川) 改良組合設置要領第一項ニ組合ハ市町村若クハ市町村内部落ヲ以テ一  
區域トストアリ又其第三項ニ組合域内ニアル同業者ハ其組合ニ於テ改良ヲ要スル農産  
物ヲ耕作スルモノヲ云フトアリ元來此農事改良組合トハ如何ナルモノヲ云フカ蚕糸業  
組合ノ如キモノトセハ其部内ニアリテ此業ニ從來スルモノハ渾テ組合員ニアラサルナ  
シ然レモ此組合ハ改良ニ意アルモノ、ミチヲ以テ組織スルモノカ然ルキハ改良ニ意ナキ  
モノハ如何スルカ又改良ヲ要スル農産物トハ如何ナルモノヲ云フカ是迄細シカリシ大

根ヲ肥料ヲ換ヘテ太クスルモ矢張改良ナル可シ農産物ハ凡テ改良ヲ要スルモノナルカ  
其意ハ如何ノ意味ナルヤ

說(田中) 第一項ノ市町村内一部落ヲ以テ一區域トストアルハ村々ニハ夫々特有ノ物産  
アレハ其特有物産アル村ヲ以テ一區域ト定メ組合ヲ組織スルノ意ナリ

十八番(酒井) 本員モ大体ハ賛成ナルモ自己ノ考テハ疾シヨリ官廳ノ世話ヲ受ケスレ  
テ組合ヲ組織シタキナリト考ヘ居リタリ依テ此度此問題ノ出ツルニ及ンテ種々考案  
ヲ費セシモ原案ヲ賛成スルヨリ外ナキナリ併シ農事ノ改良ハ農談會等ノ方法ニヨリ其  
歩ヲ進メタルノ例モアレハ此農談會ヲ設ケラレタシ又或村ニ於テハ勞働ノ制限ヲ設ケ  
タルヲ聞キシカ之ハ頗ル善良ナルコトテ組合規約ニハ是非勞働ノ制限ヲ立テサルヘ  
カラス

廿四番(金子) 十八番ハ勞働ノ制限ヲ立ツヘシト云フモ農家ノ如キハ夫々分業アリテ茶  
圃ヲ專ラトスルモノアリ藍作ヲ專業トスルモノアリテ此等ハ皆其耕耘ヨリ灌水ニ至ル  
マテ早朝ニ爲スヘキモノアリ日中ニ爲スヘキモノアリ又夕刻ニ爲スヘキモノアレハ迎  
モ其制限ヲ立テタリトテ行ハルヘキモノニアラス

十五番(長谷川) 先刻説明員ノ答辨ニヨレハ米ノ重モナル産出地ハ米ニ付テ改良組合ヲ  
組織スルナリト然ラハ假ニ北村山郡關山村ノ如キ全村百戸アリト假定シ内五十戸ハ改  
良ニ意アルモ他五十戸ハ改良ニ意ナキキハ如何又狡猾ナルモノアリテ組合ニ加盟セサ  
ルモ如何スヘキカ又米モ作リ煙草モ作ルモノアリテ双方トモ其村ノ重モナル産物ナ



ル併ハ双方ノ組合ニ加盟スヘキモノナルヤ

説(竹尾) 米作ヲ爲シ兼テ畑作ヲ爲スモ重ナルモノニ依テ組合ヲ組織スルナリ關山村ノ如キ煙草ノ重ナル處ナレハ煙草ニ付組合ヲ組織スヘシ併シ双方ニ重ナルモノナルハ組合ノ目的ヲ米及煙草トナシ一ノ組合ニテ双方ノコトヲ爲サハ可ナリ二個ノ組合ヲ設クルコト非ス

十五番(長谷川) 一ヶ村ニ百戸アリテ改良ニ意アルモノハ四分ノ三ニ滿タサルハ残りノモノハ如何スルヤ

説(竹尾) 四分ノ三ニ滿タサルハ致シ方ナシ只勸誘スルコアルナリ併百戸ノ内七十五戸同意ナルハ残りノ者ハ加入セサルヘカラス

十五番(長谷川) 一ヶ村百戸ノ内七十五戸ナレハ四分ノ三ナルカ残り二十五戸ヲ加入セシムル方法アリヤ

説(竹尾) 素ヨリ準則ハ法律ノ如キモノニアラス故ニ強制スルコトハ出來サルモ町村長有志者等ノ勸誘ニ依リ多數ノ意ニ依ラシムルコトハ出來ルヘシ

三十二番(堀) 本問題ハ之ヲ實行スルニ困難ナリト考フ譬ヘ一時他ヨリ誘導セラレテ組合ニ加盟スルモ已レニ改良ノ意ナケレハ益ナキコトナルヘシ又今日ハ凡テ費用モ隨分掛ルモノナレハ此等ノ組合ヲ組織スルニ尙早シト思フ十八番ハ三分ノ一位ハ同意スルナラント云フモ本員ハ六ヶ敷トト思考ス

十八番(酒井) 三分ノ一ハ六ヶ敷ト云ハル、カ此事ハ何モ地方稅ヲ煩ハスニモアラス

別ニ費用ヲ要スルコトモアラス蚕糸業ノ如ク無理ニ加盟セシムルコトモアラス是迄モ場所

ニ依テハ行ヒ來リタル處モアリ蓋シ是等コト今日多少ノ進歩ヲ促ス方法ナラント信ス

十五番(長谷川) 本員ハ本案ニ對シテハ涙ヲ振テ馬糞ヲ斬ルト云フ意見ニヨリ卅二番ヲ

賛成シテ本案ノ否決ヲ望ム事業ハ凡テ何事ニヨラス自由ニ放任シ自己ヨリ其善長ナリ

ト見認メテ之ヲ行フ迄ハ放任スルコト策ノ得タルモノナリト信ス其改良ニ意ナキモノ

ヲ強制シテ組合ニ加盟セシムルモ寸効ナシ本案ノ原旨ニ依レハ四分ノ三ハ勸誘ニ依テ

加盟スルモ四分ノ一ハ強制ヲ受クルノ姿ナリ勸誘ニ出テタル者ト強制ニ出タルモノト

ハ大ニ異ナルモノニテ假令ハ過燐酸肥料ノ如キ眞實善長ナル者ト雖モ若シ強テ之ヲ施

サシメテ結果ノ悪シキハ一犬虛ヲ吠ヘテ萬犬實ヲ傳フルカ如ク却テ改良ノ前途ヲ妨

クルコト多シ曾テ廿三番カ秋田縣ヲ遊歴シ彼地ノ桑ノ高刈ヲ實見シ歸テ之ヲ自己ノ桑園

ニ施セシ際ニ近隣誹謗至ラサルナレ然レモ今日ニ至テハ皆其利ヲ覺リテ之ニ倣フノ有

様ナリ曾テ本郡々長タリシ東置賜先郡長ヨリ本員ニ向テ米作改良ノ相談セラレタルコ

トアリシ其方法ヲ問フニ郡費三千圓ヲ以テ教師ヲ聘シ摸範田ヲ起シ郡下農民ニ示レテ之

ニ倣ハレメトンスルコトアリ本員ノ意見トハ相違セシ故ニ之ニ答フルニ先ツ郡下ノ大地

主ヲシテ一人一ヶ年三百圓ノ豫算ニテ各自ノ稻田ニ改良法ヲ施シ衆人ヲシテ其長結果

ヲ見セシメハ自然之ニ倣フコト至ルヘシ之レ却テ勸誘強制ノ道ニヨラスシテ實効ヲ奏ス

ルヲ得ヘント之レ本員ノ持論ニシテ勸誘強制ヨリモ自カラ奮ツテ其道ニ入ラントト求

ムルヲ疾クコト得策ト謂フヘシ故ニ本案ハ否決セラレンコトヲ切望ス



廿四番(金子) 本員の原案ヲ可トス  
 八番(佐藤) 本問題第五項ノ灌溉ノ下(水)ノ一字ヲ挿入シテ此灌溉ノコトニ付テ云ハ  
 シテ分水法ヲ以テ灌溉スルルハ水口二三枚ノ田ノ外ハ水通セス故ニ分水セスレテ番替  
 リニ灌溉スルコトニナレタシ又第三米穀乾燥法ノコトハアレヒ之レハ産物乾燥法トナ  
 シタシ何トナレハ乾燥スルハ米ヲ限ラサルハサリ  
 一番(加藤) 原案ヲ可トス米穀乾燥法以下(及調整)ノ三字挿入セタシ  
 廿三番(八嶋) 文字ノ修正杯種々出来ルカ之ヨリ外ニ加フルコトナラヌト云フコトナラ  
 ハ本員杯ニ澤山望ミアルカ規約ヲ結ワトキニ至テハ他ニ加ヘテモ可ナルモノナルヤ  
 説(竹尾) 其組合ニ於テ必要ノコトニ加フルモ差支ナシ  
 三十四番(大場) 原案ヲ可トス本案ハ尙早キニ過キルトノ論モアレヒ却テ遅キニ過キル  
 位ナリ故ニ一日モ早ク實施シテ是等諸般ノ又十五番ノ高刈杯ノ例ヲ引カレハ主  
 是雖モ未ダ僅少ノモノニテ何程ト歩合ヲ以テ計ラル程ノコトモアラズ人ノ感觸モ大切  
 ナレ共改良ハ少シモ早ク着手セタシ  
 十九番(大木) 原案ヲ可トス  
 二十番(林) 十五番ノ質問モアリタル様覺ヘシカ本問第四項ヲ削除セラレタシ又第五項  
 第一病蟲害云々ハ其病ノ字削除セラレタシ  
 説(竹尾) 廿番ハ同業組合トシ農家ハ何業ニ拘ハラズ組合ニ加盟スルモノトスト爲レ  
 又先意大柄カ  
 廿番(林) 自然

卅二番(柴田) 第二農事改良組合設置ノ件ハ原案ヲ賛成ス然レト深ク當局者ノ注意ヲ望  
 マサルヲ得サルノ件アリ何トナレハ凡ソ共同ノ力ヲ以テ改良ヲ圖ル其法實ニ良シト雖  
 モ其組合タル素ヨリ民設ナレハ只勸誘スヘクシテ法壓スヘキモノニ非レハ假令一二ノ  
 篤志者アルモ多數ノ頑民ニ制セラレテ其志力ヲ展ルコト能ハサルヤ必セリ此法ニシテ徒  
 法ニ屬シ頑民ニ蔑如セラレカ如キアラハ畜ニ目前ニ利益ヲ見ル能ハサルノミナラス  
 他ノ規約上ニモ關係スヘキ惡弊ヲ叢生スルヤモ圖リカタク故ニ往年(年度失念)ノ規則  
 ノ如ク徒法ニ屬セシメス又往年各地ニ施行セシ螟蟲驅除法等ノ如キ兒戲ニ類スル方法  
 等無之樣嚴ニ其手續ヲ設ケ各村長ヲシテ之レヲ管理セシメ縣廳郡役所ニ於テ之レカ實  
 施ヲ監督セラレンコトヲ希望ス若シ官ノ監督ナク精密ナル實施ノ手續ナキ時ハ法ヲ設ケ  
 サルノ勝レルニ如カサルモノト愚考ス  
 會頭 本日ハ是レニテ閉會ス尙先刻本案ニ付意見ヲ明日述へ度旨四人ヨリ申込アリ依テ  
 明日此四人丈々本案ニ付意見ヲ述フルコトシテ直チニ第二問題ニ移ラン  
 午後四時四十分閉會ス

○九月廿九日午前九時三十分開會  
 出席員二十六名  
 會頭(竹尾) 會頭緒方參事官ニハ無止公用ニテ出席致シ兼ルニ付拙者ニ臨時代理ヲ命セ



ラレタレハ各員了セラレタシ昨日閉會ニ臨ミ第二問題ニ付四名ノ會員ニ限リ意見ヲ開  
タ事ニ報告シ置ケリ故ニ此四名ノ諸君ハ退々陳ヘテレタシ  
十一番(工藤) 本員ハ昨日事故ノ爲メ早引セシカ昨日ノ會ハ一名一名ニ就テ意見ヲ問ハ  
レシヤ

會頭(竹尾) 昨日ハ第二問題ニ付終ニ際シ時間ナク四名ノ諸君ハ未ダ意見ヲ定メ難シト  
テ今日迄延期セラレタキ旨書取テ以テ請求ニ付殘リシモノニシテ別ニ名々ニ意見ヲ問  
ヒシコアラス

三十番(小川) 本郡ニハ勸農會ト云フモノアリテ凡テ農業上ノ事ヲ謀ルハ至極便利ナレ  
ハ隨テ第二問題ノ如キ組合等ハ必要ナシト考フ然レモ一郡ノ進歩セシトテ益スル所  
少ク管内ニ通シテ之行フハ實ニ必要ナリ故ニ本員ハ元旨ヲ可トス

四番(齋藤) 本員モ昨日請求セシカ素ヨリ諮問會ノ事ナレハ充分意見ヲ述ヘサセ爰ニ四  
名ニ限ラサル様イタシタシ

會頭(竹尾) 昨日ノ續キトシ四名ニ限ルコトハ異論モアレハ各員ノ望ニ從ヒ本案ニ對シ未  
ダ發言セザル方ヨリ意見ヲ述ヘラル、トトスヘシ

十一番(工藤) 本問題ヲ不可トスル論者モアル可ダレモ先ツ凡テ營業ニハ看板ヲ要スル  
者ナリ則チ準則ヲ以テ設置スレハ一郡二郡ト退々ニ波及シ隨テ利益スル事故原案ニ決  
セン又米拵法ト云フヲ掲ケ置キタシ現ニ東京邊へ賣出サントスレハ拵法ノ粗ナルモノ  
ハ懸米ト云フテ大ニ退ケラル、モノナレハ實ニ拵法ハ必要ナリ乾燥法ノ如キハ時候ニ

關スルモノニシテ何程能ク乾サシトスルモ年ニ據リ乾燥シ難キコアリ

十四番(荒木) 原旨ヲ可トス只今十一番ヨリ米拵法ニ付述ヘラレシカ如何ニモ尤ナル事  
且ツ米ハ縣下第一ノ物産ナレハ乾燥法ノ事ハ天ニ任スル上ハ何事モナシ然レ機械杯色  
々アリト此邊ハ實驗セラル、八番ヨリ悉數述ヘラレタシ勞働時間ノ事モ一日勞働時間  
何時間以内トセラレタシ

十番(柴田) 諸君ノ説ヲ聞クニ最早可否ノ決スル場合ナリ此事タルヤ決シテ惡シキ事ト  
云フニアラス到底之ハ言フヘクシテ行ハレ難シ故ニ本員ハ不可トス縣下米作ノ改良ヲ  
計ラントスルニハ方針ナカル可ヘラス今且組合ヲ設クルヨリハ寧ロ各自實業ニ着キ居  
ルモノヲ汲合シ談話會ノ如キモノヲ澤山起シ段々改良方法等ニ付協議セシテ方得策ナル  
可シ蚕糸業組合ノ如キハ農商務省ノ準則ナリト雖モ實益アルヲ見ス害虫驅除等ノ如キ  
少々宜シトナスモ縣令何号ナリシカ害虫驅除規則ニテ差支ナレ又四番ノ説ハ害ナキ故  
ニ設置スル方宜シト云ハレシカ然ラハ益ナキ者ニ準則ヲ布キテ組合ヲ設置セシムルコト  
云フニ外ナラス實ニ策ノ得タルモノニアラス故ニ本員ハ談話會ノ如キヲ漸々設ケ度キ  
考テリ

二番(高橋) 本員ハ大体ヲ可トス幾分ナリハ組合ヲ設ケ實施スレハ矢張夫レ式クノ効ア  
リ故ニ余リ究屈ナラサルヤウ經便ノ事ナレハ宜シト云フ意見ナリ然レモ勞働時間杯ト  
云フ如キモノヲ定ムルハ不公平ナリ必竟斯ル制限ヲ設ケシナラハ罷工問題起スモノ  
ナキヤモ保シ難シ勞働時間ノ制限如何ナル必要アリヤ十八番ニ質問ス



十八番(酒井) 二番ノ質問ナルカ抑モ本員ノ考ハ勞働ノ時間ヲ省略スルト云フ説ヲ立テ  
 シニアラス則チ制限ナリ本員ハ昨日ヨリ此事ニ付丁寧反覆ニ考ヒシ事ニシテ勞働ノ制  
 限ハ庄内方面ニテ昔日ハ行ヒシ事ナリ假令ハ平日ハ朝何時前ニ起キ夕刻ハ何時后引ジ  
 トカ又休日ニアラサレハ休マスト云フ如キモノニシテ何時ヨリ何時迄時間ヲ限リ働ジ  
 ト云フニアラス先ツ勞働ノ制限トハ村中ノ働キニ付制限ヲ定ムルナリ必竟惰農ヲ戒シ  
 ムルノ策ナリ害虫驅除及勞働ノ制限ヲ設ケサルキハ最早縣下ノ農業ハ地ニ落ツ可シ縣  
 下ノ農ハ他府縣ニ比スレハ余程怠リ勝チナリ現今勞働ノ制限ヲ立テ居ル村ハ矢張取締  
 付キテ宜シク隨テ富者多ク制限ヲ立テサル村落ハ實ニ惰農アリテ貧者多キカ如シ前年  
 ノ老農會ニ於テモ勞働ノ制限ハ農業組合ニハ第一必要ナリ如何程良キ組合ト雖此制  
 限ヲ設ケサレハ益スル難シト云ヘリ本員モ尙信シテ疑ハサル處ナリ

三番(加藤) 十八番ハ能ク制限ト云フ事ヲ述ヘラレシカ休日ニアラサレハ休マレスト云  
 フ事ナリヤ我置賜郡ノ如キハ大ナル差支アリ假令ハ養蚕掃立ノ後追々操合ヒ休ムトカ  
 隨テ上籾等ニモ早晚アリ又藍作ノ如キニ至リテモ晴天アリ雨天アリ如何ナル制限ヲ設  
 ケシトテ到底一樣ニ休ムコト議論上良キモ行レ難シ故ニ本員ハ茲ニ加ヘサル考ナリ

二十九番(五十嵐) 十八番ニ質問ス段々聞ク處ニ據レハ休ムト云フコト個人ノ  
 働キニ制限ヲ付シルカ如シ然ラハ十五才以上三十才以下等ヲ區別シ置カサルヲ得ス又  
 休日ハ如何ナル事アリハ一村落休マサルヲ得ス又休日ニアラサル日ニハ縁類ノ内ニ婚  
 禮アリ或ハ何か約束アリ或ハ風雨等ノ日モ休ム能ハサル可シ是等ノ壓制ヲ設クルモ到

底行ハレサルヘシト考フ

會頭(竹尾) 十八番ニ問フ勞働ノ制限トハ農家カ一村落一樣ノ仕事ヲナシ不規則不規律  
 ノイナキヤウニナシ惰農ヲ戒ムルノ主意ナルヤ果シテ然ラハ農家ノ仕事スル規程ヲ設  
 クト云フノ意ナラン如何

十八番(酒井)然リ

四番(齋藤) 管内通シテ如何ハ知ラサレヒ庄内ハ休日等ニ付舊藩ハ大ニ干渉セシモノナ  
 リ假令ハ植付ハ何日出テ、一日休ムトカ田打ハ何日出テ、一日休ムトカ云フ如キ習慣  
 アリテ遣り來リタルカ十八番ハ之ヲ善キ事ト考ヘ述ヘラル、ナルヘシ故ニ兎角議論ハ  
 極端ニ走ルモノナルカ夫レ等ノ事ノ如キハ敢テ論スルニ足ラス本員ハ本案ニ付大体原  
 旨ヲ可トス尙參考ノ爲メ一言セン害虫驅除方ノ如キ組合ニテ行ヘハ全部ニ行ハル、カ  
 故ニ屹度宜シガル可シ若シ組合ナクシテ勉強ノ者一人ニテ行ハンカ却テ其害ヲ蒙ル  
 ニ至ルナリ又米ニ就テモ大ニ感スル事アリ明治十六七年ノ頃迄本員ハ東京淺草ノ庫ニ  
 米ヲ送リシ事アリ其際本員等ノ送リシ米ハ實ニ價非常ニ廉ナリシ然ラハ如何ナル故ナ  
 リヤト探究セシニ乾燥ノ如何ニアラス米質惡シキカト云ヘハ決シテ惡シキニアラス一  
 握ノ内ニ種々ノ米混交シ丸キモノアリ長キモノアリテ更ニ一定セサル混交米故ニ高價  
 ニ賣却スル能ハサル所以ナリ是等ヲ考フルニ充分研究シテ其地質ニ適スル一定ノ種類  
 ヲ栽培スル様致シタシ故ニ撰種法モ亦必要ニシテ乾燥法モ全シク大切ナリ元來庄内地  
 方ハ海岸ニ近キ爲ニ風多ク割合ニ乾燥宜シ二十九番ノ如キハ極メテ米ノ改良ニ從事セ



ナル、故ニ目今七八拾錢方高價ニ賣レリ又耕地區畫ノ事ハ壓制シテモ宜シトハ決シテ云ヒ難シ然レ今ヨリ發布シテ實施セシムル方宜シカル可シ假令ハ協同耕耘シテ一日一反歩耕スモノトスルモ小區畫ナレハ耕シ難シ故ニ之ハ原旨ノ儘チ可トス灌溉水ニ付水口ノ設テアレハ是等ハ素ヨリ大綱ヲ示シタルモノナレハ發布ノ節ハ主任者ニ於テ充分注意セラルヤウニナシ今茲ニ字句ノ改正杯ハ必要ナル可シ及年中行事ヲ定ムル事ニ至テハ先ツ庄内方面ノ如キニ取テハ灌溉水ノ如キ何地方ニハ何日ニ水ヲ向ケルカ又苗代播テ何日ニ爲ストカ種々ノ事ヲ豫定スレハ大ナル利ナリ右組合ヲ設置スルニ健經費ノ澤山掛ルベシト憂フルモノアルカ蚕糸業組合ノ如キニアラヌ先ツ第一事務所等ハ別ニ要セズ其名簿等ヲ備フルノヨシニテ實業家ハ降雪雨等ノ休日ニ集リ會議ヲ開ク位ニ至セハ足レリト思フナリ

二十四番(金子) 原旨チ可トス害虫驅除ノ如キハ第一ニシテ專ラ本項ノ爲ニ必要チ感ス尙米ノ調整法モ大切ナリ其他耕地區畫灌溉水等ノ事ニ就テハ九番ヨリ述シカ第三ノ問題モアレハ尙實驗シテ確メシ上其宜シキヲ得レハ勸誘ナリ獎勵ナリシテ行ハル可シ先ツ此害虫驅除法及米ノ調整法ノ二点丈ケニ方針ヲ定メ其他ハ余リ束縛ニナラサル様致シタリ

三十番(小川) 十八番ハ獎勵制限ノ事ニ付頻リニ熱心セラルカ農事ヲ改良スルニ制限ヲ立テ、出來ルモノニアラテス十八番ハ農業上ニハ一休不案内ナル可シ先ツ改良セントスレハ水田ヲ乾田ニナストカ馬耕ヲ設クルトカ作物ハ二作ニスルトカ晝夜ヲ分ダス制限

限ヲモ働ク尺ノ手數ヲ増シ勢ヒ務メサルヲ得サルニ至ル可シ制限ヲ設ケシトテ改良ノ出來得ルモノニアラテ冬ハ米播ヘ春ハ馬耕夏ハ鋤返シ秋ハ菜種ヲ植ル事トナル是迄トハ農業大ニ違ヒ制限等ヲ設クレバ大ニ進歩ヲ妨ケ可シ十八番ハ從來ノ働キヲ見習ヒ居ル故間違フナリ本員ハ飽迄モ制限ヲキヤウ致シタリ

十八番(酒井) 十九年深川ニ米ヲ送リシ事アリシカ四番ノ説ノ如ク庄内米ハ實ニ錯雜ニシテ甚クシキハ各種ヲ同苗代ニ蒔クモノアリ米ニハ各種厚薄アリ精白トスルニ當テハ方ハ搗ケ一方ハ搗ケテ故ニ雜種トシテ尤嫌フモノナリ又翌年東京芝玄米品評會ニ平田安吾氏ト申合持出シタルノ亦カ平田氏ハ種培養等ニ勉強シタル手作米本員ハ在米二百俵ノ内良種ヲ撰テ持出シタリ然ルニ本員ノ采ハ種類交リニテ到底精白ニハナリ難ク平田氏ノ米トハ大ニ違フト云バレタリ是等ハ當局者ノ參考ノ爲ニ述置カン故ニ種類ヲ同一ニスル扱方ニ付テハ十一番ト同感ナリ

十一番(上藤) 今日本至リ隨分議論アル方會頭ノ意見ハ獎勵ノ事ヲ挿入スルカ否ヤチ決セラルヤ或ハ參考ノノミ聞置カルヤ  
會頭(竹尾) 大体ニ付可否ノ表決ヲ爲ス積リナリ  
十二番(工藤) 然ラハ改メテ一言セン獎勵制限ノ事ハ規約ニ掲グル事ハ好マサルナリ是レハ一(町村)全般ニ關スル事ナレハナリ  
五番(藤藤) 諸君ノ議論モ大概盡キタリト思フ當局者ニ望テ一言ス此第二ノ問題ハ實ニ必要ノ問題ナリ當局者ハ是非勸誘獎勵セラレクニ凡テ範圍ヲ廣クシテ一般農事ノ改良



ニ付テハ可成的廣ク歐州ノ事モ宜敷事アラハ行フトカ云フ如クニ致シタシ會頭モ其當局者ニ居ラル、ニ付實際ニ効贖ノ顯ハル、様盡力セラレタレ  
 二十四番(金子) 此問題ニ付可否ノ說種々アルモ本員ノ說ハ組合ヲ設ケントセム則チ害虫驅除ト米拵トノ二点ニ付設置シ度考ナリ十八番ハ勞働博士トシテ別ナルカ十番ノ之ヲ行フ至難ト云フ說ハ不可トセン先ツ本員ハ專ラ前述ノ二点ヲ可トシ全体ヲ可トスルニアラス

八番(佐藤) 本案ヲ可トスル者多シト思フカ茲ニ參考ノ爲ニ一言セン借組合ヲ設ケルニ必要ト思フ事ハ明治廿年山形縣報告ニ田反別八萬千三百二十二丁二反七畝廿八步内作付反別七萬九千九百七十九丁三反四畝十步此收穫米百十五萬九千七百石四斗三升(反米一石四斗五升ニ當ル)苗代反別千三百三十二丁九反三畝十八步之レニ作付スルトスレハ收穫米一萬九千三百二十七石五斗五升(反米全シ)トナル近年苗代ニ仕付ルモノ聊カアリトスルモ實ニ數フルニ足ラス又苗代ヲ改良シ一反歩ニ付種粃二升ヲ減スルモノトスレハ此石數百三十三石三斗九升三合ヲ得ヘシ種粃ハ壹升ニテ粃數三万六千粒アリ故ニ田一坪ニ付三十六株(一升ニ付十本ツ)植付ルモノトスレハ其粃數三百六十粒ナリ一畝歩ニハ一萬〇八百粒ニシテ一反歩ニハ十萬〇八千粒ナリ此粃數凡三升ト見積苗代一坪ニ粃六合ヲ蒔クモノトスレハ田一反歩ノ分苗代五坪ナリ一町歩ニハ一畝廿步ニシテ則チ一畝六步六厘六毛六ナリ故ニ此割合ヲ以テ種粃ヲ調整スレハ從來ノ種粃ヨリ一反歩ニ付二升減スルモノトス故ニ是等ノ事ヲ組合ニ於テ實施セシムルナラハ實ニ其益

少ナカラスト考フ

會頭(竹尾) 可否ノ表決ヲ爲シタルニ三十四番ノ說害蟲驅除米拵ノ二点ヲ目的トシ組合ヲ設置スルト云フニ起立者三名原案ヲ可トスルモノ起立多數又各項中ニ付一番ノ說ニ米穀乾燥ノ下ニ及ヒ調整ノ文字ヲ加フルト云フニ起立者十一名

十五番(長谷川) 第三問題ニ移ルニ先チ建議シキ考案アリ此場合ニ宜シキヤ

會頭(竹尾) 問題結了後ニ致シタキ考ナレハ異論者モアル様ナレハ會場ノ意見ヲ問フヘシ

五番(齋藤) 此場合ニテ宜シト考フ之レニハ異論ナキ様ナリ

會頭(竹尾) 然ラハ建議セラレヘシ

○建議

飢饉豫防儲蓄米ヲ爲スノ件

十五番(長谷川) 本員ノ建議セントスルコトハ飢饉豫防ノ貯蓄米ヲ爲ス事之レナリ本會ヨリ此建議ヲ爲スハ或ハ不穩當ト云フ人アラン又此建議ヲ本會ヨリ爲スノ必要モナケレハ一個人ヨリ縣知事ニ向テ建議スルモ可ナラント云フモノモアラン然レトモ素ヨリ諮問會ハ相談ナリ協議ナリ知事ヨリ縣下人民ノ爲メ否ナ國家ノ爲ニ國利民福ヲ増進セント欲シテ種々ノコトヲ諮問セラル、ナルヘシ然ラハ則建議ヲナス何ソソ徒勞ナラン何ソソ不穩當ナランヤ何ソソナレハ國利民福ヲ謀ルニ只其積極的ノ増發ヲ圖ルト其消極的ノ害ヲ防クト亦何ソソ撰ハン先哲ノ言アリ兵ハ百年ニシテ不用一日モ缺クヘカラスト本建議モ之ニ同シク徒法ニ屬シ儲蓄空クシテ腐敗セシムル如キコトアラハ却テ太白チ



舉テ祝スヘキナリ又一個人ヨリ建議ヲ爲スヘシト云フモ是亦非ナリ何トナレハ凡テ物ハ皆ナ熱度ノ昂低如何ニヨリテ其結果ヲ異ニスルモノニシテ例令ハ砲發センニ火藥ノ多少ニヨリテ彈丸ノ物体ヲ貫ク力ニ強弱アルカ如ク一個人ヨリスル建議ハ砲發ハ則チ同ク砲發ナリト雖ヒ其彈丸ノ無勢力ナル推テ可知ナリ右ノ理由ニ據レハ本建議ノ徒勞ニアラス不穩當ニアラス却テ急務ノ建議ト云フモ過言ニアラサルナリ故ニ是ヨリ則建議ノ旨趣ヲ演ヘン社會ノ事ハ其顯ハレシ時ヲ以テ發シタルモノニアラサル可シ其顯ハレサル以前已ニ是ヲ發生ス然レ共人間ノ性質トシテ倫安チ好テ遠キチ慮ルノ思慮ニ乏シク爲ニ其顯レタル時ヲ以テ偶然起リ來タル事トシ周章狼狽比々皆然リ然リト雖ヒ少シク思慮アルモノハ力ノ及ハン限リ程度ノ許サン限リ事ヲ未發ニ防キ惡結果ヲシテ美結果ニ變更セシムル樣策ヲ講セサルヘカラス學者ノ說ニ依レハ地球ニ徑緯度線ノアル如ク飢饉線モ亦一帯シアルト其線タル幅員凡日本里數ニテ二三十里タル可シ此線ハ日光ニ一竿ヲ出シテ光輝ヲ遮リタルカ如ク地球ハ充分光輝ヲ受ルヲ得ス爲ニ地中大ニ冷カナリ恰モ洞中ト一般ナリト此線ハ一定シ居リ地球ノ廻轉スルニ依リ凡六七十年目ニ地球珠上必ス一會スルノ本則ナリト是レ素ヨリ無形ノモノニシテ架空ノ說ノ如シト雖ヒ無形ノ緯度線ニ寒暑ヲ異ニシ年ニ春夏秋冬ノアルカ如ク地球ノ廻轉ヨリ考フレハ空說ニアラサルヤ明カナリ經濟的ヨリ論スルモ道理的ヨリ考ルモ前述ノ次第ニテ是非儲蓄セサルヲ得サラン何チカ經濟ト云フ夫レ經濟ノ大目的ハ最少ノ力ヲ以テ最大幸福ヲ得ルニアリ亦經濟ニ遠果近果ノ二種アリ近果ハ則不生産的ヲ生産的トシ又入ルチ謀テ

出ルチ制シ餘リアルチ以テ不足ヲ補ヘ人カチ省テ天然力ヲ使用スル則目前ニアル所チ謂フ又遠果トハ一國ニ兵備ヲナシ法律ヲ設ケテ安寧ヲ保チ備荒儲蓄ヲナシテ不慮ニ備フルカ如キ各近ク損シテ遠ク益スルカ如キ皆遠果ナリ夫レ本建議ハ則チ本年度ノ程度ヲ謀リテ是レチ儲蓄セシムルハ最少ナリ依テ經濟的ニ適フト云フ又何チカ同理的ト云フ夫レ則チ飢饉ノ事ヲ誤リナカラシメハ永年ヲ俟スシテ此不幸ヲ見ルニ至リナハ如何ソ今日若干ヲ惜マン又人間ハ動物ノ靈トシテ不慮ノ備チ經卒ニスルノ理アラシヤ見ラレヨ彼猿熊ノ如キ夏秋ノ候半年ノ食チ蓄ヒ半年穴居シテ飢死スルモノナキニアラスヤ翻テ天保四年己年ノ飢饉ヲ古老ニ聞キ又書籍ヲ閱スレハ其慘狀タルヤ肌粟チ生ス夫レ中等以下ノ者ハ食スヘキ穀ナキノミナラス草根木皮又喰ヒ尽シ貧民處々ニ蜂起シテ富民チ強奪シ妻子ノ飢死スルチ省ミルニ違アララス路傍ニ尸死累々タリ其ノ狀戰爭或ハ流行病ノ比ニアラサルナリ富民モ亦獨リ安穩ナルチ得ス貧民ノ爲メニ食チ奪ハレ少ク之ヲ惜ムノ狀アレハ家屋ヲ毀タレ是亦貧民ニ異ナラス是何ノ爲ナルカ所謂儲蓄ノ充分セサルニ基ヒセシナル可シ斯ク論シ來ラハ反對論者ハ必ス言ハン儲蓄ノ美則チ美ナレ是實ニ時勢ノ變化ヲ知ラサルノ論ナラン何トダレハ昔シ鎖國ノ時ト今日各國交通ノ便アル時ト同日ノ論ニアラス今日ノ如キハ本邦食スヘキモノナケレハ英佛米各國ヨリ持來ルコ容易ナラント此論一理ナキニアラス然レ其一チ鑑テ經濟ヲ知ラサルノ論ナリ試ニ思ヘ一朝事アリ食チ國內ニ求ルモ能ハス止ムナク海外ニ仰カンカ其價容易ニアラサル可シ首ヲ回シテ目下ノ狀況ヲ見レハ四五年以來米價高直ノ爲メ農民聊カ余力



ヲ得テ例ヘハ諸興行大ニ看客ヲ増シ隨テ流行シ又店頭觀客ノ多キ諸物品需用者ノ多ク皆聖代ノ兆ヲ顯ハサ、ルナシ實ニ主聖天子ノ下ヲ憐ミ賜ヒ美政ヲ布カセラル、ノ結果ト云フ可シ又米價ノ高價モ其原因ノ一ナル可シ此余力アルノ機會ニ若干ヲ儲蓄スル何シテ生活ニ影響ヲ來サンヤ況ンヤ天保年度ノ災厄ハ多少其備アツテスヲ如此今日其備ナキ時ニ於テチャ一朝此厄ニ際セハ數萬金ヲ投セサルヲ得スシテ日本ニ拂フニアラズシテ外國ニ拂フトスレハ實ニ涙ヲ振ハサルヲ得ス故ニ今日余裕アルノ時ニ當テ人口一人ニ付一升地價百圓ニ付四升ツ、儲蓄セハ生活ニ影響ヲ來タサス知ラス識ラスノ間ニ儲ヘ百萬金ヲ前ニ拂フヘキカ千萬金ヲ後ニ拂フヘキカ縣下七十五萬ノ同胞半ケ年ノ食料糶七萬五千石實ニ是ヲ平年米價ノ倍額トスレハ十五萬圓或ハ三倍ニ至ランカ二拾二萬余ノ巨額トナルナリ實ニ一縣下ノ經濟ニ問フテ甚ダシト云フ可シ故ニ余裕アル今日ニ飽迄モ儲蓄シテ不慮ノ災厄ニ供シ以テ安眠ヲ計ラント欲スル所以ナリ

四番(齋藤) 十五番ハ飢饉豫防ノ爲ニ至極結構ナル事ヲ述ヘラレシカ抑モ是等ノ事ヲ本會ニ於テ議スルハ大ニ疑團アリ諮問會規則ヲ見ルニ第二條ニ諮問會ハ民業上公益ノ件ニ付會員ノ一致ヲ以テ知事ニ其意ヲ具申スルコトヲ得トアリ又第十條ニ意見ヲ具申セントスルモハ知事ノ許可ヲ得テ會期內ニ於テ會議ヲ開クコトヲ得トアリ然ルニ十五番ノ說ハ結構ノ專ナリト雖モ本會ニ於テ之ヲ議スルモハ生活生理ニマテ立入ルト一方ヨリ云ラモノアル可シ之レハ民業カ經濟的カ或ハ生活生理カ此區別ヲ論スレハ經澤の生活生理則チ問題外ナル可シト思フ

十五番(長谷川) 四番ノ爲ニ一言セン本會ニ於テ議スル者ニアラサル可シト云ヒシカ此諮問會ハ如何ナル爲ニ設ケラレシカヲ考ヒラレシナラハ直チニ了解セラル可シ縣下ノ爲メ斯クスレハ益アリ斯クスレハ害アリト專ラ人民ノ爲メ開設セラル、モノナレハ協議上ヨリ出テ聊カ差支ナカル可シト考フ

五番(齋藤) 此問題ニ付考案時間ヲ與ヘ午後二回ハサレダシ

四番(齋藤) 十五番ハ熱心ノ余リ頻リニ述ヘルト雖モ物ニ順序アリ制裁アリ本建議ノ如キ議シ得ラル、モノナレハ大賛成ヲ爲ス考テレハ規則アルニ拘ハラズ議スルトスレハ徒勞ニ屬ス然シ議シ得ラル、セ否ヤ掛念スル處ナキニアラス論究スル所モアレハ午後二回ハサレダシ

會頭(竹尾) 本建議ハ本會ニ於テ議シ得ラル、ヤ否ヤノ点ニ付起立ヲ表セシメントス

十一番(工藤) 本員モ至極結構ナル建議ト考フレトモ矢張此諮問會則ノ範圍外ナルヘシト考フ

會頭(竹尾) 最早正午ニ付休憩ス

一時三十分開會 出席會員二十六各

會頭(竹尾) 午前ニ續キ開會ス

二十番(林) 建議ノ事ニ付一言セン勸業諮問會則ヲ見ルニ隨分究屈ナルカ如シ是等ノ建議ハ議シ得ラル、樣致サレダシ可成當局者ハ會員ノ熱心ナル所ヲ聞取り採擇セラレン

トヲ望ム



會頭 十五番ノ建議ハ勸業諮問會規則第二條民業公益ノ件ニ入り議シ得ルヤ否ヤニ付採決ス十五番ノ説ニ賛成セテ本件ハ第二條ノ範圍内トスルモノハ起立

起立者十二名 二番 五番 九番 十二番 十四番 十五番 十六番

反對即チ第二條ノ範圍外トナスモノハ起立 十八番 二十一番 二十四番 二十七番 三十一番

起立者十四名 一番 三番 四番 十番 十一番 十九番 二十番  
八番 廿二番 廿三番 廿八番 廿九番 三十番 三十四番

右ノ結果ニ依リ十五番ニ對シ氣ノ毒ナルモ是ヨリ第三問題ニ移ラン

○第三問

各郡ニ農事試驗地ヲ設置スル件

十一番(工藤) 説明員ニ問フ各郡ニ農事試驗場ヲ設置スルト云フハ從來十一郡ノ試作地ハ廢シテ矢張茲ニ移ス積リナルヤ

説(田中) 愈々設置スル事トナレハ從來ノ試作地ハ自然其方ニ變更スル様ナル可シト思フ

廿七番(細梅) 此第三問題ハ是非各郡ニ設ケタシ併シ其設置方ニ付聊カ本員ノ考フル所ヲ述ヘ置カン我北村山郡ニテモ郡立ニテ苗木試驗場ヲ設ケタル事アリシガ良結果ヲ得ス概シテ是等ノ試驗ハ實ニ其宜敷ヲ得サル等ナリ何トナレハ先ツ郡役所ノ主任カ擔當シ一年不結果ナレハ直ニ廢ストカ或ハ主任者カ變更スルトカ其方法タルヤ實ニ軟弱ナリ故ニ試驗地ヲ設ケントスルハ其地方ノ老練家ヲ撰ンテ擔任セシメ維持法ヲ立テダレタシ我北村山郡ノ如キ方法ニテハ遂ニ益ナレト思フ

十番(柴田) 地方稅ニテ遣リ來リシ試作人ヲ廢スト云フトキハ地方稅ヨリ此度ノ試驗地ニ幾何方補助スル氣分若シクハ干涉セサル見込ナルカ説明員ニ問フ

説(田中) 是ハ郡ニ任セテ郡費ニテ適宜ニセテラレ度考ナリ又縣廳ニテハ充分監督スル積リナリ

十番(柴田) 至極宜シト考フ之ヲ基本トシテ農事ヲ改良スルハ必要ナリ然レ説明員ノ方針トハ少ク異ナレリ本員ノ考ニハ地方稅ヨリ各郡ニ補助シタキ考ナリ元來勸業ト云フモノハ其功蹟中々目ニ見ヘヌモノニシテ郡ニ任セキリニシテ若レ郡ニテ設置セサレハ却テ退歩スル事ナレハ是非地方稅ヨリ補助シテ提携以テ設置シ度考ナリ

二番(高橋) 本員ノ考フル所ニテハ本案ヲ不可トス何トナレハ本問題ハ第二問題ニ合蓄シアレハナリ是迄モ試驗地ヲ設ケ置キシモ更ニ益ナク又北村山郡々會ノ方針ヲ見ルニ個様ナル試驗地ヲ置カス原野ヲ山林ニスルトカ養苗園ヲ設ケル等ノ説盛ナレハ假令設置スルトナスモ北村山郡ニテハ行レ難シ故ニ本員ハ第二問題丈ケニテ可ナリト思フ

二十番(林) 過日或ル新聞ニテ見シカ農商務省ニテ法制局ヘ回シタルハ矢張此事ナリ則チ各郡ニ勸業會ヲ起シテ五百五十二郡ニ拾五萬圓一郡ニ三百圓ツ、チ補助スル云々之ヲ發スルハ何レ國會ノ賛成ヲ得タル上ニテ施行スルコトナラン然レ事實間違ナキヤ否ヤハ發布ノ後ニアラサレハ豫メ期シ難キケレハ先ツ本案ハ原旨ヲ可トス尙市ノ一字ヲ挿入レタキ考ナリ

卅四番(大場) 試驗地ハ之ヲ設ケル方宜シト思フ十番ハ試驗場ヲ設ケル以上ハ地方稅ヨ



リ補助セダント云ヒカ本員モ同感ナリ

四番(齋藤) 本員モ原旨ヲ可トス東田川郡ニ於テモ曾テ試験地ヲ設ケタル事アリシカ其  
后聯合會ニテ之ヲ廢止セシヨリ他日ノ準備ニ聊カ機械類ヲ存シ置ケリ一俤官吏ノ爲メ  
試験ハ概シテ好結果ヲ得ス何トナレハ其結果惡シキモ俸給アレハ他ニ苦痛ヲ感セサレ  
ハナリ故ニ試験シテ其得失ヲ究メントナラハ蓋シ其人ヲ撰ムチ第一トス又植物ハ其裁  
培施肥等ノ厚薄ニ依テ結果ヲ異ニスルモノナレハ試験ノ二字ヲ忘レテ只一時ノ好果ヲ  
見ント欲スルハ不可ナリ又十番ノ説ニテ地方稅ヨリ補助セテ遣リタシト云フカ本員ハ  
補助セサ所ノ考ナリ仮令ハ茲ニ設ケルコト決スルモ又必ス縣會ヲ經過セサルヲ得又若  
シ縣會ニテ不可トスレハ折角ノ決議モ徒勞ニ屬ス又今日ノ事ハ他ノ力ヲ藉ラス獨立チ  
良シトス故ニ本員ハ專ラ郡立ニシテ地方稅ヲ仰カサルノ考ナリ若シ成立スル上ハ各郡  
試作人ヲ廢シテ此方ニ力ヲ向ケル様致シタシト思フ

三番(加藤) 本員ハ二番ト大反對ニシテ原旨ヲ可トス從來ノ各試験所ニテ好結果無シト  
スルモ其方法宜敷チ得スシテ且ツ時勢ノ趣カサル爲ナル可シ依テ本問題ノ試験地ハ是  
非設ク度考ナリ

十番(酒井) 本員ハ本問題ヲ不可トス其理由ハ大休二番ノ説ト同一ナリ又是迄各郡ニ  
夫々試験場等ヲ設ケシモ好結果アリシヲ聞カス是レ時々至ラズト方法ヲ惡キヨヨ再  
ニキカ究竟試験場ノ結果惡シクシテ人心阻喪シテ之レヲ做スモノナレ特リ做フモノナキ  
ノミナラス内心大ニ其擯斥スル處ニナルナリ往年ハ隨分干涉モアリテ其頃ナレハ(實)

角モ今日ニ至リテハ干涉シテ強テ行ハシムルコト難シ又昨年志岐技手ノ話ヲ聞クト續々  
實地ニ試験チナス者如キ今日ニ至リテハ先ツ組合ニテ充分ナレハ余リ干涉セズ御世話  
チキ方ハ上策ナリ

八番(佐藤) 十番ト違ヒ余ハ原旨ヲ可トス其譯ハ本郡ニ何をハ適當スルトカ其種類ノ  
地質ニ適スル者ヲ撰チ一定シタク且肥料等ノ撰チ方モ大切ニ付本案ヲ可トス

二十九番(五十嵐) 原旨ヲ不可トス二番十八番ト同感ナリ東田川郡ノコニ付四番モ述ヘ  
テレシカ一度設ケテ休レ又方法ヲ改メテ設ケシニ又休レタリ故ニ郡役所採ニ任セ置ク  
ハ到底無益ノコナリ又四番採モ云フ通り官吏ノ爲メ試験ハ總テ迂遠ニシテ矢張好結果  
ヲ得難シ故ニ本員ハ不必要ナリトス

一番(加藤) 原旨ヲ可トス十八番採ハ不必要ナリト陳ヘシト雖モ本員ハ大ニ希望スル所  
ナリ南置賜郡ニテモ一昨年設ケシカ充分ナル結果ナシト雖モ素ヨリ農事ハ一年ヤ二年  
ニテ結果ヲ確メ難シ故ニ完全ナル試験場ヲ設ケ充分試シ度シ然シ田畑各三反歩以上ト  
アルチ田ハ長キモ畑ハ減シテ一反五畝歩以上ト致シ度キ考ナリ

二十番(小川) 原旨ヲ可トス廿九番ハ第二問題成立チシナラハ必要ナレトノ説ナレトモ  
本員ハ尙必要ト思フ假令ハ九州トカ越中トカ加賀トカニテ好結果アリシモノヲ聞キ極  
早稲ナリトテ取寄セ試験スルト晚稻ナル等ノ事ヲ聞キ不結果ナリトシ以テ廿九番ハ不  
可トモラル可シ然シ僅カナル試験ニテハ確ムル能ハス二三年試ミレハ其地質ニ依テ種  
々ニ變スルコトアリ是等ノ試験ハ例ヒ第二問題成立ツト云ヘトモ試ミ難シ此案ノ如キ一



郡ノ力ニ據テ立ツルトスレハ人民ニ格別影響スル事モナキコ付賛成スル所以ナリ  
十四番(荒木) 原旨ヲ可トス報告ハ善惡共ニ取纏メ報知スル積リナルカ説明員ニ質問ス  
説(田中) 無論其積リナリ

十番(柴田) 本案ニ對シ異論者ナシト思ヒシニ二番ナリ十八番ナリ勢ヒヨク述ルカ其不  
可トスル所以ヲ聞クハ第二問題カ成リ立チシ故ニ不必要ナリト云フニアリ併シ第二問  
題討議ノ節ニ現レシ如ク其方法ハ宜シキモ實施スルニ難シトセシナリ然ラハ第二問題  
成リ立タナレハトテ第三問題ヲ不用ナリトスルハ自家撞着ノ説ナリ又各試験所ニ於テ  
好結果ヲ奏セストカ又獎勵スレハ却テ害アルトカ云フハ是等ハ凡テ其方法宜シカラサ  
ルヨリノ不結果ナル可シ今後ハ充分方法ヲ講究シテ設置セハ好結果ヲ得ル疑ヒナカル  
可シ故ニ本員ハ地方稅ヨリ補助スルト云フ説ニ賛成ス四番杯ハ郡立ニテ差支ナレ故ニ  
地方稅ハ仰カスト一應尤ノ様ナルカ只郡立トスレハ其郡ノ適宜ニ據リ往々設置セサル  
所モ出ツ可シ玆ニ地方稅ヨリ幾分補助アルモノトスレハ勢ヒ設ケサルヲ得サルカ如ク  
ナル可シ

廿三番(八幡) 原旨ヲ可トス一郡ニ一ノ試験場ハ必要ナリ何レノ郡ニテモ重要ノ物産ア  
レハ隨テ試験地モ有要ナリト考フ假令ハ縣下ニ馬耕ノ輿論盛ニシテ必要ナリト云フ  
ニ至レハ先ツ郡立試験場ニ於テ實施ノ上追々一般ニ及ホス等ノ如クニ致シタシ又試作  
ト云フハ随分六ヶ敷一ト通り畑ヲ耕シ大根蒔キヲ知リタル人ナレハトテ足ルモノニア  
ラス充分氣候土質等ノトヲモ心得サルヲ得ス是等ノトヲ心得居ル人ハ實地及學理ヲ多  
ナル可シ

少知ル人ヨリ外ニナシ當郡ニハ平田氏ノ如キ京田ニハ工藤氏等ノ人アレハ我西置賜郡  
ノ如キハ實ニ其人ナシ故ニ稍々下リテ郡役所ノ雇カ役場書記ヲ以テ之ヲ充ツルモ是又  
宜シカラス故ニ時々巡廻シ得ラル、教師ヲ招キ實地勸誘セラル、様致シタシ又田中君  
ハ師範學校教師ヲ兼務セラル、由爲メニ充分ニ巡廻モ爲シ兼ヌルトノトナレハ専ラ縣  
廳勸業掛ヲ擔任セラレ農事改良ニ熱心從事セラレンコトヲ希望スル次第ナリ  
十六番(加藤) 原旨ヲ可トス

會頭(竹尾) 大低論旨モ盡キダレハ玆ニ數ヲ試ムヘシ  
四番(齋藤) 二十番ノ市ノ字ヲ挿入スルト云フ説ハ別ニ議論スル迄モナク發布ノ日ニ當  
局者ハ加ヘラル、トトシテ然ルヘシ然シ昨日説明員ハ山形及米澤市ハ商業地故加ヘサ  
ル云々ト述ヘシカ別ニ差支ナキコ付其積ニテ當局者ハ御運ヒニ相成リタシ  
會頭(竹尾) 本案ヲ不可トスル方ハ起立アレ

起立者 五名

原旨ヲ可トスルモノ多數ト見認ム就テハ是ヨリ第四問題ニ付述ヘテレダシ  
二十四番(金子) 建議等アラハ此場合ニ採用セララル、様致シタシ  
三十番(小川) 西田川飽海ノ南海岸ニ蛤「アサリ」ノ二種ヲ蕃殖セハ其利益アルコト必セリ  
故ニ此事ヲ實施セラレンコトヲ建議ス本員ヨリ此建議ヲ提出スルハ或ハ地方癖ノ嫌アレ  
ハ決シテ然ラス全ク勸業上公益ノ爲メナレハナリ然シテ此員ハ永ク生ヲ保ツモノナレ  
ハ此地ニ多ク蕃殖シ山形ハ勿論米澤邊迄モ生ノ儘運搬シタキ考ナリ而シテ此地方ニ適



スルヤ否ヤト云ラニ本年巡廻敷師山本技手ノ談話ニ據レハ此兩海岸ハ新潟海岸ト連  
コナクシテ充分蕃殖シ得ラルヘシコナリ然レテ種ハ新潟ヨリ取寄ヌル積ニテ蛤ハ五  
千個「アサリ」ハ三千個位ニ個ノ價ハ僅カ三厘若クハ五厘位ノモノナレハ此金額貳拾九  
圓前後ニテ十年ノ后ハ必ス二百圓以上ニナル算當ナリ今拾ル少ナクシテ后得ル多  
キカ故ニ茲ニ建議スル所以ナリ

四番(齊藤) 成程新宿ハ蛤ノ名産地ナル由テルガ越後ノ海岸何處ノ邊ガ最モ宜シキヤ開  
置キタシ秋田ノ舟河ト云テ處ハ灣ノ澤山アル處ニテ東海ト全シク劇浪ナクシテ底土ハ  
薄泥ト全シ以テ蛤ノ蕃殖宜シキナリ飽海西田川ノ海岸ハ他ニ比シテ隨分波ハ荒シト云  
フカ蛤アサリハ蕃殖シ得ルヤ其邊御調ハ如何兎角薄泥ノ淺瀬ヲ蕃殖最モ宜シト聞ク  
二十九番(五十嵐) 昨日建議ヲ呈シタリシカ之ハ最上川赤川適當ノ場所ニ蛸介ヲ蕃殖シ  
タキ考ナリ御採用アルヤ否ヤ

會頭(竹尾) 二十番ニ問フ二十九番ト同一ナルヤ

十五番(長谷川) 此建議ハ能ク各員ノ意見ヲ聞キタル上ニテ考案ヲ定メ度ニ付此儘トシ  
第四問題ニ移ラル、様致シタシ

八番(佐藤) 諮問會規則第十條ニ許可云々トアルハ如何ナル精神ナルヤ

會頭(竹尾) 必要ノ生シタル場合ニ適用スル爲メ掲テタルモノニシテ茲ニ提出セラル  
如キモノハ必ス第十條ニ據ル限リニアラス

卅番(小川) 移殖シテ適スルヤ否ヤ不案内ナルカ山本技手ガ水産上ニ付巡廻ノ節移殖シ

蕃殖スルヤ否ヤヲ問ヒシニ必ス見込アリト云ヘリ專ラ此言ヲ信シテ建議セシモノナリ  
二十九番(五十嵐) 蛸ハ最上川赤川等ニ適セスト云フコナカルヘシ其場所ハ何ク處位ナ  
ルヤ今確メ難ケレハ大抵五斗俵ニテ二圓位ノ安價ノモノナレハ是非澤山蕃殖致シタキ  
モノナリ

○建議 鐵道布設ニ關スルノ件

九番(大泉) 一建議アリ會頭歸縣ノ上ハ本會々員ノ意向トシテ知事ニ復命セラレダキハ  
鐵道布設ノコナリ十八年以來本縣人民非常ニ盡力セシニモ拘ハラズ種々ノ事情ニヨリ  
遂ニ今日ノ久シキニ遷延レ未ダ布設ノ運ヒニ至ラス然ルニ昨年ヨリ國營開設セラレ衆  
議院ノ模様ヲ聞クニ本縣鐵道ノ如キ往々好評アリト此場合ニ當テ秋田青森等ノ縣知事  
ト聯合シテ熱心盡力セラレンコト希望ス

二十番(林) 九番モ述ヘシカ鐵道ノコニ付一言セン夫レ山形鐵道布設ニ付テハ縣會議員  
其他各地方有志家非常ニ盡力セラレシカ事業大ナル爲メカ奥州羽州ノ競争ハ遂ニ奥州  
ニ退ケラレタリ是則チ日本鐵道會社ノ利益上ノ關係ヨリ斯ク成リシコナルヘシ然レハ  
羽州ハ兵事上ヨリスルモ布設セサルヲ得サルヘシト考フルナリ近來ハ更ニ新聞紙上ニ  
モ見ヘス政黨上ノ演說ニモ聞カス將テ羽州ニ計畫スルトスレハ利益上ノ關係ヨリ勢ヒ  
奥州鐵道ノ方ニテハ反對セサルヲ得サルヘシ幸ヒニ本會ニ建議アリシヲ以テ是ヨリ諸  
君ト共ニ大ニ盡力致シタシ諸君モ御承知ノ如ク日本海ハ冬期六ヶ月間ハ海運止マルカ  
故ニ第一國產ノ米ノ如キモ時期ヲ失シテ安價ニ賣ラサルヲ得ス又酒ノ如キ運賃ノ爲メ



ニ高價トナリ隨テ利薄ク買フモノハ高價ニ求メサルヲ得スト云フ甚敷損害アリ然ルニ  
鐵道布設セラルレハ不毛ノ地ハ開墾セラレ深山ノ如キモ薪炭ヲ燒キ出スヲ得ヘク地價  
モ騰貴スヘク其利一ヨシテ足ラサルナリ之ニ反シ鐵道ヲ布設セラレサレハ人智ノ發達  
モ遅ク或ハ運搬人夫及牛馬ノ勞力モ非常ノ損害ニシテ經濟上實ニ欠クヘカラサルモノ  
ナリ故ニ縣知事ヨリモ其筋ニ向テ充分力ヲ盡サレ一日モ早く布設アラントテ希望ス  
會頭(竹尾) 建議ノ件モ盡キタレハ第四問題ニ付意見ヲ述ヘラレダシ

第四問 米國シカゴ府世界博覽會出品惣代者渡航補助ノ件

十四番(荒木) 原旨ヲ可トス

二十九番(五十嵐) 原旨ヲ可トス

二十番(林) 原旨ヲ可トス本問題ノ如キハ政府ヨリモ幾何カ補助セラル、トナラント思  
フ目下日本ヨリ輸出スル物品中生糸ハ第一ニ位スルト云フ然シテ前途ノ有様ヲ聞クニ  
西洋各國ハ人夫賃日本ヨリ比較スルト非常ニ高クシテ人工的養蚕ノ如キハ収支償ハサ  
ル由且ツ日本系ハ造化力即チ真正美質ハ各國ニ比シ増シ居ル故製絲ノ程度ニシテ高カ  
マラハ支那伊太利ノ競争モ憂フルニ足サルナリト然ルニ英國人ハ澤山日本系ヲ買入レ  
能ク化粧シテ利ヲ刻チ伊國系ナリトシテ米佛國等ニ販賣スルトカ實ニ馬鹿々々シキ  
ト考フ是等ノヨリ海外ノ事情ヲ探究シ他府縣ト協同シテ改良ノ上輸出スルナラハ幾  
割ノ利益ヲ増スヤ必セリ故ニ本案ヲ賛成ス

十一番(工藤) 本案ヲ不可トスル所以ハ其人ノ撰出方ニ苦メハナリ又僅々タル六百圓内

外ノ旅費ニテ其目的ヲ達スルヲ難カルヘシ何トナレハ縣下ニ於テ學理實業ニ達シ外國  
語ヲモ解スル如キ兼備ノ人ナカルヘシ若シ外國語ヲ解セサル人トスレハ早ヤ已ニ通辨  
ニ幸大金ヲ擲ダサルヲ得ス故ニ巨額ノ旅費ヲ與ヘントスレハ到底縣會ヲ通過スルヲ難  
カルヘシ或ハ生糸ノ方ニ付テハ有力家モアレハ六百圓ノ旅費ニテ行クハアルヤモ  
難ケレハ先ツ農業家ニハ皆無ナラント信ス故ニ本案ノ否決ヲ望ム

二番(高橋) 十一番ト同感ナリ當局者ニ於テモ疑ヒアツテ提出セシ案ナル可シ閑テ有力  
家ヲ學理等ヲ辨ヘル實業熱心家ハ縣下ニナカル可シ假令ヒ我々ハ賛成スルモ縣會ノ許  
サハル所ナレハ本員ハ斷然反對ヲ表ス

十八番(酒井) 本員モ十一番ヲ賛成ス第一是等ノ仕事ハ政府ノ責任ナルハ明瞭ナリ然リ  
ト雖ヒ繭生系織物取調ノ爲メ派遣スト云ヘハ宜敷モ矢張十二番ノ述ヲル如ク適任者ナ  
シ且ツ若シ適任者アリトスルモ僅々タル日數ナレハ旅行ニノミ費ヲルナル可シ依テ不  
可トス

廿四番(金子) 此問題ハ問題中ノ主眼ナリト思フ縣下ノミナラス國家ノ問題ナリ十一番  
ノ反對説出テシカ十一番ハ縣會ノ議決ニ迄立入り其事ハ宜シケレハ六ヶ敷ナルヘシト  
心配シ又適當ノ人モナカル可シト此説ニ二番モ賛成セラレシカニ番十一番ノ余ト立チ  
入り過キシ事ナル可シ如何ナル人アルモ難計如何ナル決議アルモ期シ難シ凡ソ利益ニ  
ナル事ト思ヘハ是非行フ可シ本案ノ如キハ平素余ノ大ニ希望スル所ナリ

十五番(長谷川) 縣會ハ許サ、ル可シト頻リニ二番十一番等ハ述ラレ如何ナル譯カ解







一六六七百ノ金ハ受間敷又金持ニアラサレハ危険ナリト又四番ノ見積リハ充分過キルト  
思フ佞令ハ一ヶ所ヨリ補助ヲ受クル事能ハストスレハ別ナルモ縣ヨリ七百圓郡ヨリ七  
百圓ト云フニ至ルコトナキニアラス又適任者ナキト云フハ實ニ狹キ議論ニシテ縣下七  
十五萬人中ニハ必ス相當ノ人物ヲ得ラル、可ト考フルナリ

説(水野) 四番ノ説ニ本案ノ取調ハ桑港ヨリ直ニ「シカゴ府」ニ行クト述ヘラレシカ否ラ  
ス矢張「シカゴ府」ヨリ「シカゴ府」ニ行クヲ便ナリト思ヒ取調シナリ爲念一言ス  
會頭(竹尾) 論旨盡キタレハ數ヲ表セシム本案不可トスル方起立

- 起立者十一名 二番 四番 十一番 十六番 十八番 二十一番
- 二十二番 二十三番 二十八番 三十番 三十四番

- 本案ヲ可トスル方起立
- 起立者十四名 一番 三番 五番 八番 十番 十二番 十四番
- 十五番 十九番 廿番 廿四番 廿七番 廿九番
- 三十一番

是ニテ第一問題ヨリ第四問題迄了ラ告ケ提出ノ問題ハ何レモ多數ニテ成立ス第一問  
題及ヒ第二問題ノ準則等ニハ能ク注意ヲ加ヘ専ラ勸誘シテ設置セントス第三問題モ全  
シテ第四問題ノ如キハ又縣會ヲ煩スモノナリ何レノ問題モ實施ノ曉ニ至リテハ諸君ニ  
於テモ充分力ヲ盡サレダシ次ニ建議ノ三案ハ明日ニ廻シ討議ノ上意見ヲ定メ何レモ筆  
記ヲ以テ知事ニ復命ス可シ

○三十日午前中時五分開會

出席會員二十七名

二十四番(金子) 最早諮問案ハ昨日ニテ議了シ是ヨリ議スルコトハ建議案ノ事ナレハ議事  
ノ体裁ニ倣ハスニテ談話ノ体ニ爲シ起立セシテ問答スルコトシテハ如何  
會頭(竹尾) 廿四番ノ建議モアレハ其事ニ致シ起立セシテ談話セラレダシ先ツ三十番  
ノ建議ヨリ議ス可シ

建議 蛤及「アサリ」貝蕃殖ノ件  
三十番(小川) 昨日「アサリ」ノ付四番ヨリ質問アリタルカ未タ答辦セス故ニ簡單ニ  
述ベ置カン此邊ニモ「アサリ」ハアレトモ皮厚クシテ其質惡シキ故改良セサルヘカラス

本年巡回セラレタル山本技手ノ談話ニヨレハ越後ト此邊トハ格別ノ差違ナク種子ヲ下  
サハ充分蕃殖スヘシト聞ケリ

十一番(工藤) 蛤ノ付質問セン本年技手ノ來リタル片聞キタルニ牡蠣ハ淡水ト鹹水  
ト交ル處ニアラサレハ蕃殖セスト云フ吹浦邊ニテ蕃殖スルト云フハ月向川ノ合スル處  
ナル故アラシ此等水ノ關係ヲモ調ヘラレタルヤ越後ハ村上川ノ淡水交リ居レハ蕃殖ス  
ルナリ

説(水野) 本員モ本年技手ニ全行シテ巡回シタル記憶ヲ述ヘン貝類ハ凡テ淡水鹹水ノ調  
合ニヨリテ蕃殖スルモノナリ本縣下ハ一般貝類ニ乏シ若シ適當ノ場所アレハ蕃殖スヘ  
シト云ヒタルニテ此處ハ適當ノ場所ナリトノ話ハ聞カサリシナリ  
三十一番(小川) 本郡ノ勸業委員カ此事ニ熱心シ悉ク聞キタルニ宮ノ浦十里塚酒田ノ



北手最上川ノ出口等ハ必ス蕃殖スヘク又鼠ヲ關テ方面モ蕃殖スヘシト聞ケリ  
 九番(大泉) 三十番ハ三十圖ヲレハ此業ヲ起スヲ得ヘキヨリ地方税ヨリ補助ヲ得タ  
 シト云ヒシカ夫レハ保護上ノ關係ヨリ地方税ヨリ補助ヲ得タト云フノカ  
 三十番(小川) 地方税ヨリ補助シタシト云フノハ瓦金ヲ出スニ苦シムナリ又保護ノ点  
 於テモ地方税ヨリ支出シタルモノハ良ク行届ク故ナリ  
 十六番(加藤) 蛤ノ事ニ付少シク述ヘン蛤ノ最モ多クシテ其良キハ桑名次ニ新潟石川等  
 ナリ十一番ノ云フ通り水ノ調合ニヨルコトハ本員至極同感ナリ又蜆ハ越中ノ神迪川  
 ノ末流ニ澤山アリテ箕ニテ掬ケ程ナリ  
 會頭(佐尾) 十六番ニ注意ス今ハ蛤「アサリ」ノ「コ」付テノ談話中ナリ蜆ノコトハ後刻別  
 ニ述ヘテレダレ否ヲサレハ混雜ヲ免カレス  
 十六番(加藤) 左様ナレハ「アサリ」ノ「コ」付少シク述ヘタシ此「アサリ」ハ十里塚宮ノ浦  
 ニアリ尤モ此等ノ場所ハ最上川ノ淡水ノ注ク處ナリ故ニ否ラサル處ハ蕃殖甚ク大ニ敷  
 ト思フ何トナレハ是迄殖ヘタル「コ」モナク廿年前ヨリ大浪ノ濱邊ニ打寄セラル、  
 レ毎レヨリ取レルト云フコト聞カサレハ到底此邊ニハ適セスト思フナリ  
 四番(齊藤) 先刻四番モ三十番ニ問フタルカ地方税ハ水産勸誘費ヨリ出スヲホルセ  
 三十番(小川) 然リ  
 四番(齊藤) 元來ハ地方税ヨリ出スヨリモ郡費ヨリ出シタル方ハヨキモ海ニ蕃殖スル  
 ○セリハ矢張地租稅ヨリ出シテ賞度考ナリ蛤ノ「コ」就テハ本員イ考案モアレハ素白ハノ

考ト専門家ノ考トハ違フ故先ツ専門家ナル技手ノ言フコトヲ信シテ問違モアラサル可シ  
 ト考フニ体蛤ハ溝泥ノ澤山アル處ニ蕃殖シテ「アサリ」ハ砂ノアル處ニ多ク蕃殖ス又「  
 アサリ」ハ蛤ニ比シテ皮ノ厚サ杯ハ三倍モアリ之レ砂ノアル處ハ波ノ荒キ處ニテ幾度  
 モ洗ヒ去ラル、  
 コアレハ此災害ニ對シテ防禦ヲ爲ス自然淘汰ノ結果ナラン新潟ノ蛤ハ  
 信濃川ノ吐キ口即チ泥水ノ調合ヨキ處ニ多ク蕃殖ス又本曾川長柄川ノ湊合スル處ニモ  
 ヨク蕃殖ス鼠ケ關灣由良灣宮ノ浦灣等ハ適當ト思フナリ併シ「アサリ」ハ六六を敷ト思フ  
 カ是迎モ強チ蕃殖セストハ斷言シ難シ  
 九番(大泉) 本員モ三十番ヲ賛成スレモ地方税ヲ仰クヨリハ寄附ヲ募集シテ此業ヲ起シ  
 タシ而シテ種ヲ下ス歩合ハ四分ノ一ヲ「アサリ」トシ四分ノ三ヲ蛤トナシタキ考ナリ  
 卅番(小川) 九番ノ説ハ尤モナルコトナリ然レモ地方税ノ補助ヲ得其上寄附金モ募集スヘ  
 シ又此邊ニアサリハナキニハアラテ其品質惡シキ故蛤五千個「アサリ」三千個ノ割合  
 ニテ種ヲ下シ試験シタキ考ナリ  
 五番(齊藤) 別ニ反對論モナキ様ニ付早ク取極メラレタシ  
 會頭(竹尾) 卅番ノ説ニ反對モナケレハ其儘ニナスヘシ尙廿九番ノ蜆ノ説ニ付テハ如何  
 ○建議 蜆貝蕃殖ノ件  
 四番(齊藤) 十六番ニ質問ス神通川ノ落チ尻ハ充分吐キ出シアル處ナルヤ  
 十六番(加藤) 北越ノ海岸ハ兩三度モ旅行セヨカ神通川ハ富山ヲ貫通シ伏木ニ注キ充分  
 ハ吐キ出シアル處ナリ而シテ此邊ハ眞水ノ多キ所ニテ天氣ノ良キ節ハ潮ノ押シ來ル



アリ

四番(齊藤) 流レハ如何

十六番(加藤) 流レハ新潟位ナリ

十一番(工藤) 酒田邊ニテ観テ見タルコトアリ何レノ邊ヨリ取レルカ

四番(齋藤) 飽海郡ノ観出ル處ハ大字藤塚ト云フ古川ヨリ出ツルナリ此ノ古川トハ日向

川ノ川床ヲ變シタル爲メ湛ヘ水トナリテ湖水ノ如クナリタルモノ故泥ト塵芥ト交リテ

観ノ蕃殖ニハ最モ適スル處ナリ而シテ此蕃殖ノ創始ハ三十年以前ナリト云フ元來観ハ

激流ニハ蕃殖セスシテ猪水ノ如キ處ニヨク蕃殖ス先年本員ハ居村ノ清潔ナル小川ニ

三升程ヲ誤リテ水ニサラワレテ落シタルコトアリシカ程經テ近隣ノ小兒等泥溝ノ中ヨリ

妙ナルモノアリトテ拾ヒ來リタルコトアリシカ砂地ヨリモ多ク泥土ノアル川ニ蕃殖スル

モノナレハ最上川等ニハ適セサルヘシ

十一番(工藤) 観ノ如キハ何レノ地ニモ蕃殖スルモノニテ東村山郡天童近村ニモヨク繁

殖セリ其蕃殖起原ヲ尋ヌレハ文化文政ノ頃天童藩士之ヲ移植シタルニ年々相應ノ收穫

アリテ今ニ至テ尙職業トナシ居ルモノアリ此具ハ蕃殖モ速カナルカ又之ヲ取り盡スニ

至テ容易ナリ天童近村ノ如キ一ノ制限ナケレハ殆ント取り盡シテ一具ノ種タモナキ

姿トナリ最早観ノ盡キタルモノトシテ採リニ行ク人モナクナリテ后又三年モ經過セハ

何時シカ亦々大ニ蕃殖シ居ルナリ故ニ之カ蕃殖ヲ圖ラハ其季節ヲ制限セサルヘカラス

此ノ些少ノ具ヲ蕃殖セシメンカ爲メ無數ノ小川ニ取締ヲ設クルハ煩アルノミナラス前

ニ云フ如ク蕃殖速カナルモ取盡ストモ容易ナルモノナレハ之ヲ以テ普ク利益ヲ與フル  
ト云フコトハ到底出來得ヘキコトニアラス又赤川最上川ノ如キ川ニハ種ヲ下スモ恐ラクハ  
蕃殖セサル可シ

廿九番(五十嵐) 観ノコト付尙ホ述ヘンニ四番ノ説カレタル飽海郡藤塚ノ古川ニ蕃殖シ

タルハ天保年度ニテ未ダ本員ノ記憶ニ存スル事柄ナリ又同年度ニ赤川ニ新川ヲ掘割シ

クル節之ニモ全シク蕃殖ヲ圖レリ此川ノ如キ隨分激流ナルモノヨク蕃殖セリサレハ激流

緩流ニ依テ此等ノ事一定爲シ難シ尙能ク穿鑿セハ六七ヶ所ノ適當ノ場所ハ必スアルナ

ラン而シテ種観五斗俵一俵代僅カニ圓ナレハ是非是ヲ實行シタキ考ナリ

廿番(林) 廿九番ニ質問セン南村山郡邊ニテモ水勢ノ弱ハキ處ニ蕃殖シテ激流ニハ蕃殖

セサルカ如シ技川小川ニモ蕃殖ヲ圖ル積リカ又ハ赤川最上川ニ限ル事カ

二十九番(五十嵐) 何レノ場所ト云フ確定ハナシ

三十四番(大場) 観ハ置賜地方ニモヨク蕃殖スルコトナルカ激流ナラサル處ニ蕃殖ヲ計

ルハ至極同意ナルモ是程ノ事ヲ地方稅坏ト云フニモ及ハサルヘシ有志家ニテ爲スモ充

分ナラン

三十番(小川) 本員ハ諮問會ニ初メテ出席シタルコトナルカ本會ニ提出シタル建議ヲ可

決シタルキハ縣知事及縣會ニ書面ニテモ差出スヘキコトナルカ如何

會頭(竹尾) 本會ノ性質ハ知事ノ諮問ニ答フルモノナレハ建議ハ知事ニナスヘク縣會ニ

ナスヘキモノニアラスト考フ又知事へ建議ヲ出スハヨキコトナレハ本日ノ如キ事柄ハ格



別建議書ニモ及フヤ

五番(齊藤) 本員モ此事ニ付疑團アリ結局本會ハ本會ノ意見ヲ知事ニ具申スルニアリ會頭ハ知事ノ委任者ナリ故ニ會頭ニ向テ述フルコトハ知事ノ面前ニテ陳フルト同様ナレハ別段書面ニモ及フマシ只之ヲ實施セラル、ニ當テハ凡テ蕃殖ノ方法杯ハ一年ナラス二

年モ三年モ試ミサルヘカラサルモノナレハ其邊ハ宜ク御承知アラソコト  
會頭(竹尾) 從來諮問會員タル諸君ハ承知セラル、モ此度會員トナラレタル人ノ爲ニ一言セン知事コ於テモ諮問會ノ意見ヲ重セラル、ハ勿論本會ノ意向ハ出來得ル限り確實ニ執行センコトヲ期スルト雖モ本會ノ議決ハ縣會ノ議決杯ト同様ニナルモノニアラサルコトヲ御承知アレ

會頭(竹尾) 十一番ノ説ハヨキコナルモ行ヒ難シトノ意カ

十一番(工藤) 此規ノコトハ前ニ述ル通り取締リ難キコトナレハ地方稅ヨリ出スモ詮ナキコトナリ故ニ其村々ニ放任シテ可ナリト思フナリ

會頭(竹尾) 試ニ數ヲ取ル可シ十一番卅四番ノ説ニ贊成ノモノハ起立

起立 十五人

多數ナルヲ以テ本會ノ意見ハ觀蕃殖ノコトハ其地方々々ニ放任スルヲ可ナリトスルコトアル事ヲ見認ム

時ニ午前十一時四十分休憩ス

午後十二時四十五分開會

出席議員廿六名

會頭(竹尾) 昨日九番ヨリ鐵道布設ヲ早メル方法ニ付知事ノ盡力ヲ得タシ云々トノ説ヲ建議セラレシカ是レハ筆記ニテ知事ニ陳述スレハ可ナルカ

九番(大泉) 本會ノ輿論ヲ會頭復命ノ節口頭及本會筆記ニテ充分知事ニ陳述セラレンコトヲ切望ス

三十四番(大場) 本員モ九番ノ説ヲ贊成ス

三十番(小川) 九番ノ説ハ民業上ニ付至大ノ關係アリテ緊要ノコトナレハ本員モ贊成ス會頭(竹尾) 之レニテ昨日ノ續キヲ結了セリ爰ニ各位ニ一言致シ置設事ハ本會ヲ開設ス

ルハ通常一年一回ナリ然レモ規則ニ掲ケアル事柄ニ付テ必要急務ト見認ムル事柄ノ出來スルキハ臨時ニ諮問スルハ言フ迄モナキコトナカラ諸君ノ希望ヲ述ヘラレタシ即チ來會ニ提出スヘキコトニ付御見込アラハ承リ置タシ

十一番(工藤) 會頭ノ御演説ハ御尤ナレモ即座ニハ述ヘ難シ故ニ來年何月迄トカ期限ヲ定メ本會員ハ其意見ヲ縣廳ニ申出ルコト、シテハ如何

十八番(酒井) 本員ノ考ヘ居ル所ハ蚕糸業ノコトナリ此蚕糸業組合ハ諸處ノ模様ヲ聞クニ有名無實ニ歸シ居ルカ如シ此事ハ日本全國ノ問題ニナリ居ルコトニテ會員諸君モ定メテ議論モアルヘキカ來年迄御熟考ノ上本會ニ提出セラレンコトヲ望ム

○建議 南村山郡須川河水改良魚類蕃殖ノ件

廿番(林) 南村山郡須川ト云フ川アルカ高湯温泉ノ落チ尻ハ此川ニ入ル爲メ魚類ハ少シ



毛蠶殖セズ又此派ハ田畑ニモ害アリテ無用ニ屬シ居レリ然ルニ近來此川ニ鮪繁殖シテ近邊ノモノハ漁獲ニ出タルト云ヘリ之レ昔時ニ比シテ高湯温泉ノ硫黄分大ニ減セリト云ヘハ或ハ然ラン乎併シ未タ此等ノコト魚類蕃殖ト云フヘキ程ノ利益ニモアラサレハ何トカ此高湯ノ落泥ヲ他ノ方面ニ流シテ此川ヲ利用スル様ニセラレタキ考案ナリ

二十二番(伊藤) 山林蕃殖ノコト就テハ充分御調アラシメテ望ム  
八番(佐藤) 桑葉賣買ノ取締方法ヲ設ケラレタレ

會頭(竹尾) 各位ノ希望ハ尙ホ御歸宅ノ上斯々ノコトハ斯々ノ方法ニ依テ行ハシヨレト云フコトヲ報導セラレンコト望ム尤モ十一番ヨリ提出セラレタル期日ヲ定ムルト云フコトハ却テ究屈ニ感スルモノモアルヘケレハ何時モモキコトヲ致ス可シ併シ御報告ノ事柄ハ一縣ノ利害ニ關スルコト又ハ一部分ナリハ著明ナル物産ニ關スルコト等ヲ標準トシテ報告アラシメテ望ム只一村一村落一個人ニ關スルコトハ到底御相談アルモ致シ方ナケレハナリ

廿一番(菊地) 苗代ニハ一般ニ稻ヲ種ヘ付クル様ニ獎勵セラレタシ  
二番(高橋) 本會ノ問題ヲ撰フコト付テモ夫々土地ノ關係アレハ來年度ヨリ其關係アル土地ニ開會セラレタレ

五番(齊藤) 二番ノ云フ事ハ全体ニ關係スルコトナレハ之ヲ贊成ス養蚕ノコトナリ漁業ノコトナリ其問題ニ最モ關係アル土地ニ開會セラレンコト望ム

十五番(長谷川) 十八番ハ勞働ノ制限ヲ設ケタレト言ハレタルルガ之ハ職工ノ勞働ニ制限ヲ置ケル旨趣ニテズシテ全ク惰風ヲ矯正スルノ意ナレハ此事ハ本員モ同感ニシテ東置賜郡ノ方面ニテモ職工ハ晝餐後食休ミト唱ヘ休息スルノ慣習アリテ其時間一定セサルガ故ニ時間休ムモノアリ或ハ二時間三時間晝寢スルモノアリテ備主ヨリ督勵スルトキハ過酷ニ失スルト思ハシメサルガノ懸念モアリ又職人等モ不平ナルカ如キノ意アレハ通常ハ時間來レハ足踏ミ或ハ咳嗽等コト無言ニ其勞働ヲ促カスカ如キ状態ナリ然レモ尙ホ彼ノ家ニテハ斯々々々ナリ杯ノ批評ナキニアラス故ニ是等ハ準則ニ據リ組合規約等ニヨリ決定スルトキハ自然ニ善良ナル風俗ニ招クコトヲ得ルニ至ル可シ其邊ハ篤ク御調アラシメテ望ム

會頭(竹尾) 目下ノ急務ハ蚕種ノ善良ナルモノヲ撰フコト善良ナル糸ヲ製スルコト及桑ノ繁殖ヲ圖ルコトト思フカ東置賜郡ニ於テハ其方法ヲ實施セリト聞ケリ四番ニ於テハ委シク承知セラレハコトナラン依テ諸君參ル考メノ爲メ一應陳述セラレンコトヲ望ム

四番(齊藤) 會頭ヨリノ求メニヨリ其原因ヨリ簡單ニ陳述セン東田川郡山添以南山入りハ舊來由桑ヲ以テ養蚕セリ然レハ北方面ニ至リテハ桑ノ葉ヲ見ルコトカク又養蚕家總無サレシ手向邊スラ矢張如此状態ナリシナリ然ルニ明治五六年時ノ酒田縣令三嶋氏カ桑葉蕃殖ノ下ニ付帶シテ養蚕飼育ノコト考モ獎勵セラレ現今ノ大地主ハ云フヘキ人々ニ桑苗ヲ頒與セラレタルモ誰アリテ喜ブモノガク縣令ノ意ナレハヤムカトテ植ヘ置キタルニ四五年後桑ノ木大ニ成長シテ畑作ノ妨害トモナレハ皆伐採シテ薪トナセリ此等ノ上位ニアル人々ニテ已ニ然リ下民ニ至テハ養蚕ノコト杯夢想タモセサル



ハ無理ナラヌコトナリトス當時余目村ニ佐藤善治ト云フ人アリ此人ニ向テハ東西田川  
 飽海三郡ノ人ハ大ニ謝意ヲ表セサルヘカラス此人カ大ニ憤破シテ或ルニ三人ニ圖リ飽  
 迄モ養蚕ヲ隆盛ナラシメタルノ意ニテ植ヘタル桑畑ハ二反歩ナリシ而シテ養蠶ヲナ  
 シ初メテ糸ヲ製シテ人ニ見セタルニ人々初メテ驚ヨリ如此糸出テタリヤト云フテ喜ヒ  
 タル程ナリシ之レ明治十四年ノ事ナリ其后ニ至リ最上川端谷地ヲ開キ十六町歩ヲ植ヘ  
 タリキ否ラサレハ滋嶺等ニ先ンセラル、ハ無論ノコナレハ尙ホ町村聯合會ニ提出シテ  
 此事ヲ獎勵センカ爲二千圓ヲ支出スルヲ議決セリ而シテ其要旨ハ一人三百圓トシ此金  
 ヲ借りタルモノハ必ス三反歩ニ桑苗ヲ植ヘルコトシ其返濟ノ方法ハ六年目ヨリ四朱ノ  
 利ヲ附シ五ヶ年賦ニ返濟スルコトセリ然ルニ返濟ノ時ニ至リ調ヘタルニ更ニ桑ノ木ナ  
 カリシ有様ナリ依テ其後ハ取締ヲ充分ニシ一家ニ貳拾圓ツ、百戸ニ貸シ付ケ此金ヲ借  
 リタルモノハ必ス二反歩ノ桑畑ヲ仕立ツルコトセリ之ニヨリテ今ハ大ニ成效アリ昨年  
 ハ又四萬本ヲ植付ケタリ尤今日ニテハ人氣ハ大ニ養蠶ニ傾キ來リタレハ桑ノ栽培日ヲ  
 追テ隆盛ニ至ルヘキナリ

十八番(酒井) 十五番ノ説ト同感ナリ

會頭(竹尾) 養蠶製糸及桑葉ノコトニ付テハ尙諸君ニ於テ考ヘ置レンコト望ム借本會モ之  
 ニテ終テ告ケタリ諸君ニハ遠路ヲ參會セラレ數日ノ勞ヲ厭ハス誠實ニ意見ヲ吐露セラ  
 レタルハ本員ノ満足致ス所ニシテ本會ノ輿論ハ勸業ノ事務ハ凡テ勸誘ヲ主トシ干渉ニ  
 過クルコトナキヤウ爲スヘシト云フニアルコトヲ見認メダレハ歸郷ノ上口頭及ヒ筆記

ニテ知事ニ復命ス可シ又本縣ニ於テハ勸業諮問會ハ一タヒ中絶セシモ爰ニ再ヒ之ヲ開  
 設スルニ至リタルハ自今勸業上ノ施設ハ本會ノ輿論ニ依リ着實ヲ旨トシ縣下ノ福利ヲ  
 増サンコトヲ期セサルヘカラス而シテ本會ヲシテ縣下勸業上ノ施設ニ付實効アラシムル  
 ハ偏ニ諸君ノ精神如何ニ存スルコト信ス本員諸君ノ贊助ヲ得テ本會ヲ閉ツルニ望ミ切  
 ニ諸君ト共ニ縣下殖産事業ノ發達ヲ希望シ玆ニ一言ス

時ニ午後二時三十分閉會一同退散ス

明治廿四年十二月廿八日

出版

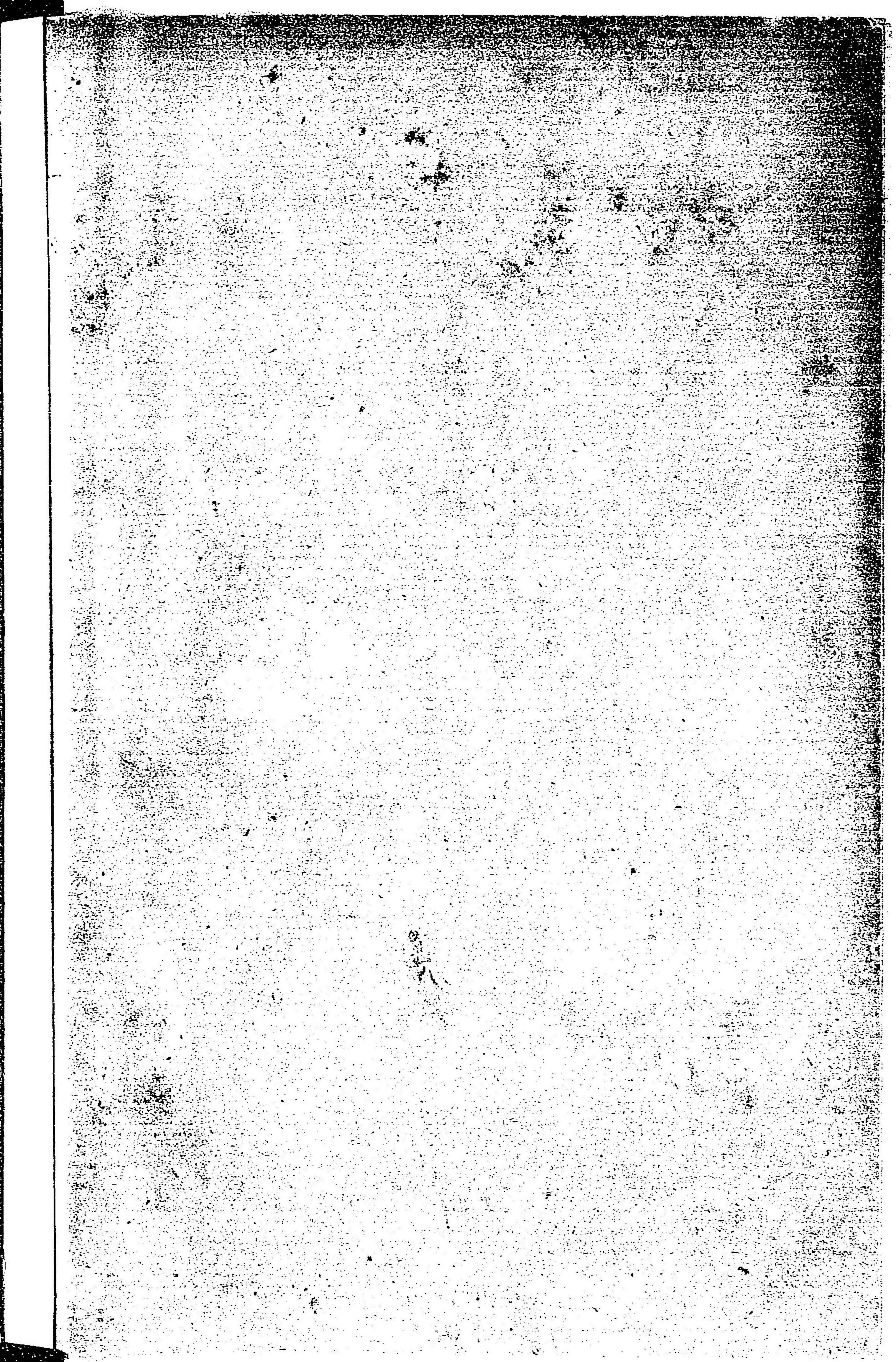
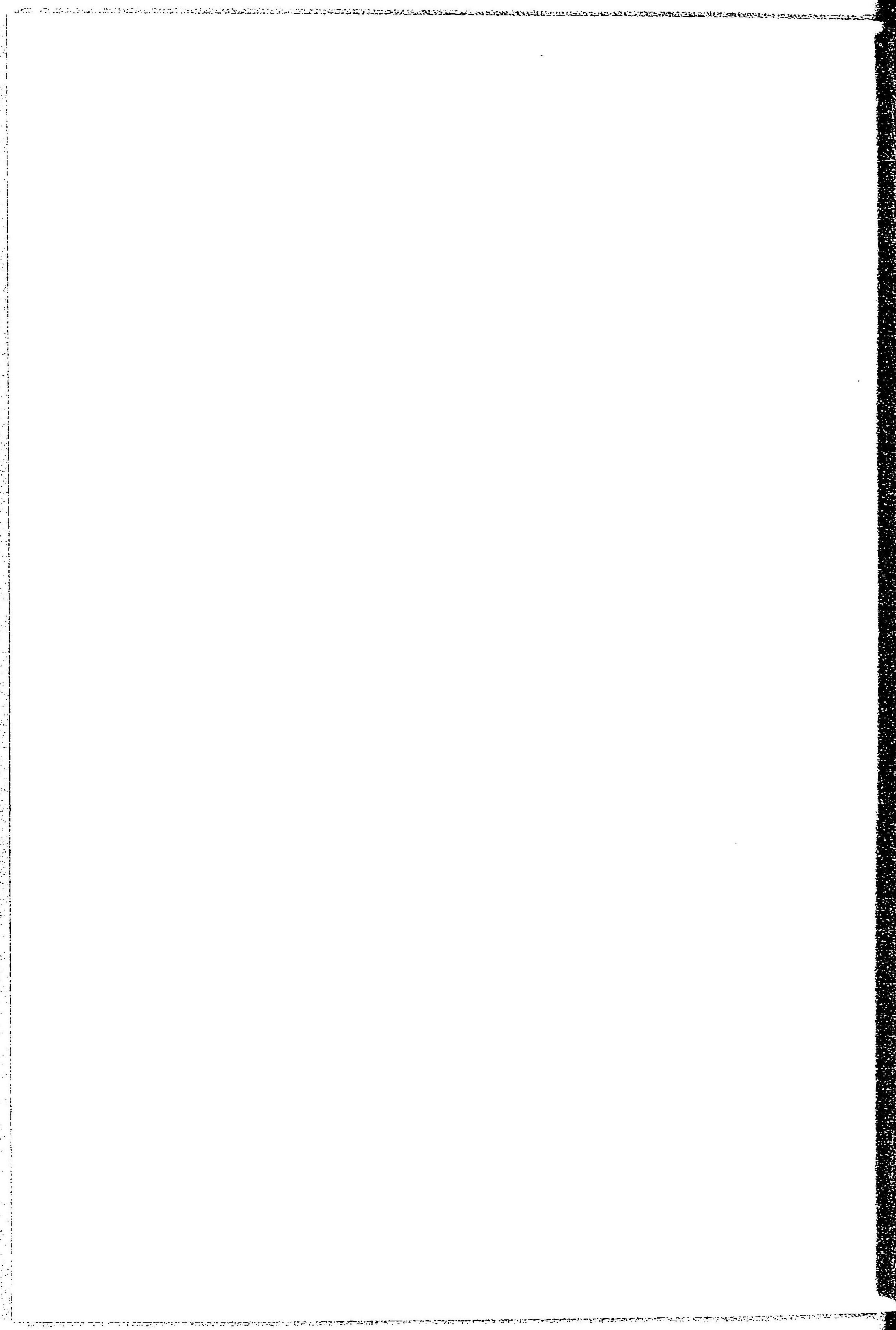
山形縣內務部第二課

山形縣山形市横町百八十三番地  
 印刷所 山形印刷會社

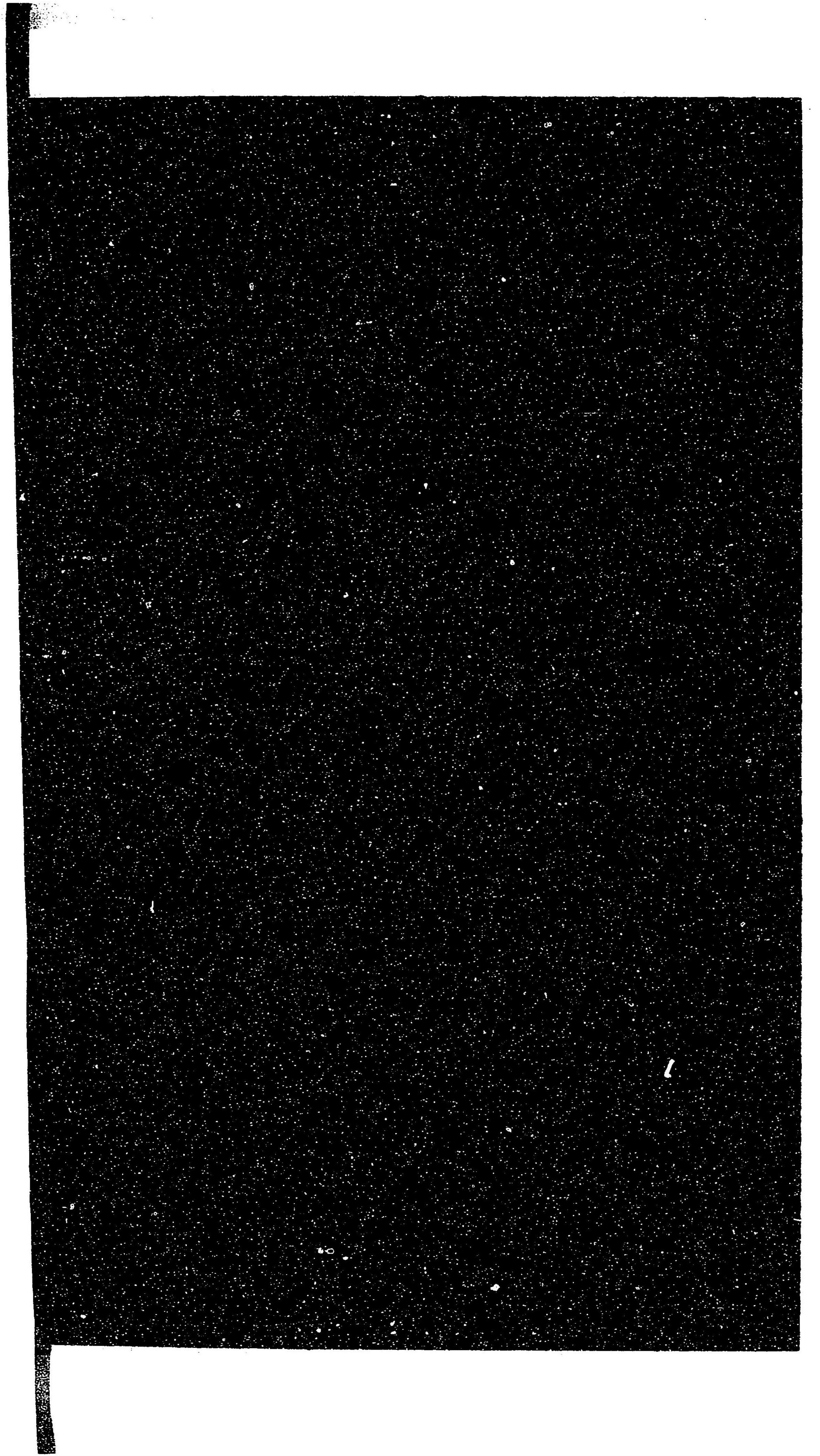














特28

410

山形県勸業諮問会日誌

明治24年

国立国会図書館